愛婦女

九月號

第二號

定價金拾錢

三月二十日第三種郵便物認可
毎月一回一日發行
大正五年十月廿日印刷納本
（九月號）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人部趣意

世の中は男ばかりの世界ではなく男ばかりで保つて行くものではありません。人間の半分は女で、女の心懸けやう、働きやう一つによつて、此世をば明るくもし、暗くもすることが出來るのであります。友愛會は勞働の品位を高め日本の勞働者の境遇を改めやうとして起つた團體であります。がこれまで重に男の人達のために働いて參りました。併し男と同じやうに工場や其他の所で働いて居る婦人、又は男を助けて家庭の内で働いて居る婦人方のために、何事か致さねばならぬといふ感じが此頃特に著しくなりました。そこで茲に友愛會に婦人部を設け、追々といろ〳〵の事業をしたいと思ふのであります。

友愛會婦人部規則

第一條　本會は之を友愛會婦人部と申し本部を其中心とし各支部分會内に其地方々々の事務所を置くこと、致します。

第二條　會費は之を十錢とし、本部に八錢を送り二錢を支部に殘し種々の費用に當てること、致します。

第三條　本會は左の如き事業を行ひます。

一、出版部　雜誌「友愛婦人」を毎月一回發行し其他有益な書物を出版致します。

二、講演部　少くとも毎年春秋二回講演會を開き餘興を加へて會員の修養娯樂の便を圖ります。

三、人事相談部　會員の爲めに手紙又は面會等の方法に依り種々の相談事に應じます。

四、表彰部　會員中にて人の模範になる行ひをした人のある時は或は賞金を贈り或は雜誌に寫眞を掲げて其名譽を表彰致します。

五、内職奬勵部　家庭内の婦人の爲めに種々の内職の教授又は奬勵を致します。

第四條　本會に入會を望む方は入會申込書に會費を添へ幹事又は其他必要ある時は右の外諸種の事業を創めることに致します。委員まで申出でられたいのであります。

第五條　右の外は友愛會の本則に基いて行ふこと、致します。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

申込所　友愛會本部

勞働及産業

定價一年分十錢　二錢一圓卅錢　九月號　第六月一回一日發行　每月十一號

九月「第二工場法號」目次

■漸く實施期に入れる工場法……友愛會長　鈴木文治
□工場法施行規則を評す……法學博士　堀江歸一
■工場法の施行と勞働者……大阪府知事　男爵　大久保利武
□工場法に基く勞働者扶助問題……京都帝國大學教授　山本美越乃
■工場法施行に關する注意……東京印刷組合書記長　豐原又男

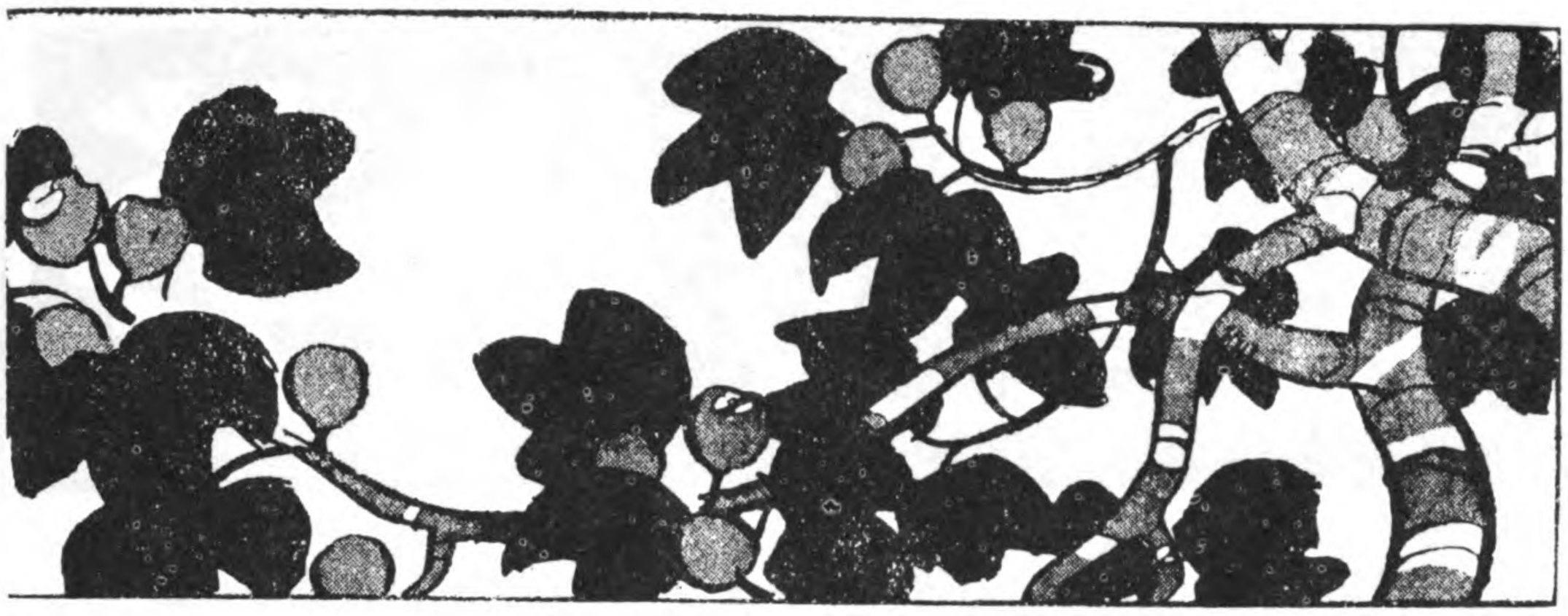
工場法規

1. 工場法
2. 工場法施行令
3. 工場法施行規則
4. 右に關する諸規定

全文を掲載す

■工場法施行と工場内部設備……專賣局技師　神田孝一
□我輩は工場法に反對である……政友會議員　大岡育造
■工場法は産業界の憲法也……立憲同志會幹事長　富田幸次郎
□工場法施行記念として『勞働會館』建設の議……和田三郎
■工場法の實施に就いて……工場監督官　河合良成
□世界各國の工場法比較論……勞働及産業編輯主任　坂本正雄
■米國通信……吉松貞彌
■横濱の勞働戰……友愛會主事　板倉定四郎

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



『友愛婦人』第一號目次

口絵　夏……和子

本欄

世間的智識を弘めること　友愛會長　鈴木文治……(二)

子守歌……と　し　ざ……(六)

お互に尊敬せよ……理學博士　長井長藏……(八)

働くほど尊いことはない……至誠病院長　吉岡彌生……(一一)

日本の女は困つたもの……東京驛長　高橋善一……(一五)

伯林の婦人勞働くらぶ……友愛會教育部長　油谷治郎七……(一八)

お月様の兎(オトギバナシ)……(二一)

家庭で爲べき秋口の用意　日本女子大學校教授　手塚かね子……(二四)

手輕なお料理……記者……(二七)

初秋の子供の衞生……醫學博士　瀬川昌世……(二八)

喜劇　貧乏退治(三)……平澤紫魂……(三〇)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

電車の中……（四三）
初秋の歌……坂本正雄……（四四）
歴史物語 大阪落城……稲葉あい子……（四五）
氣の毒な私娼達……秋野もと子……（四九）
女工さんの生活（富士瓦斯紡績程ケ谷工場）……平澤計七……（五三）
手紙の書き方（二）……記者……（五九）
安くて面白い染物……若原榮代……（六三）
美人になる秘訣……あさみどり……（六九）
教育奇談 奇人北齋……三浦樂堂……（七二）
活動寫眞案内 ルチア物語……記者……（八四）
はなしの種（内外時事）……坂本正雄……（八九）
友愛婦人文藝（新體詩と和歌）……（九二）
友愛會婦人部新入會員の人名……（九四）
編輯局より。讀者倶樂部……（九六）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診　察　毎朝及毎夕(但祭日及日曜之他)
院長診察　月、金、木、午前及午後六時
林、峯間兩副長は目下當院に在勤

東京麹町區三番町三十番地（市ヶ谷見附内）

東洋内科醫院

電話番町六一二番

院長　醫學博士　高田畊安

南湖院

電話ちがさき二二番

神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

院長診察　土曜日午後入院診察應需

診　察　毎朝(但祭日及日曜之他)

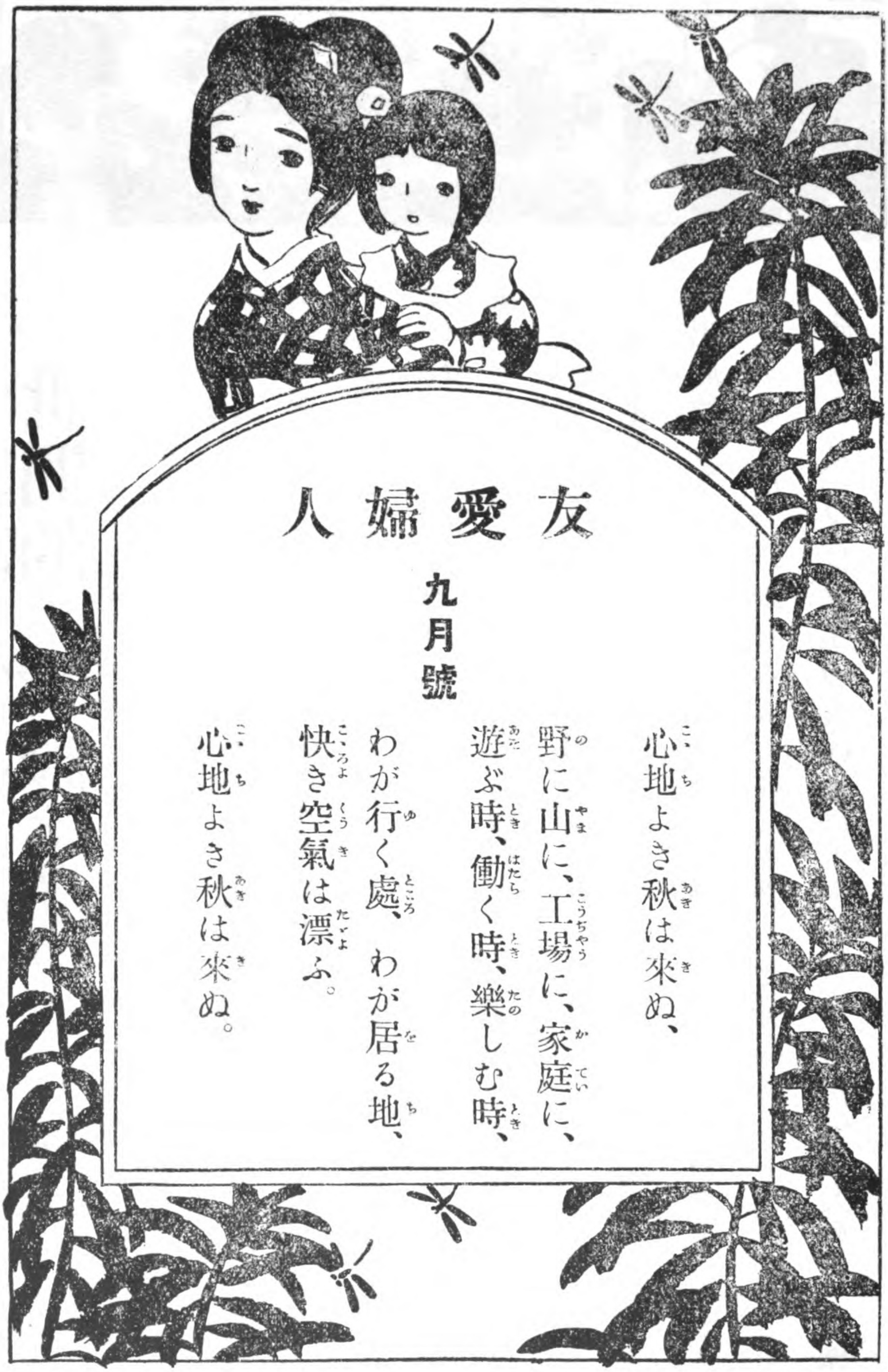
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

董子和　　夏

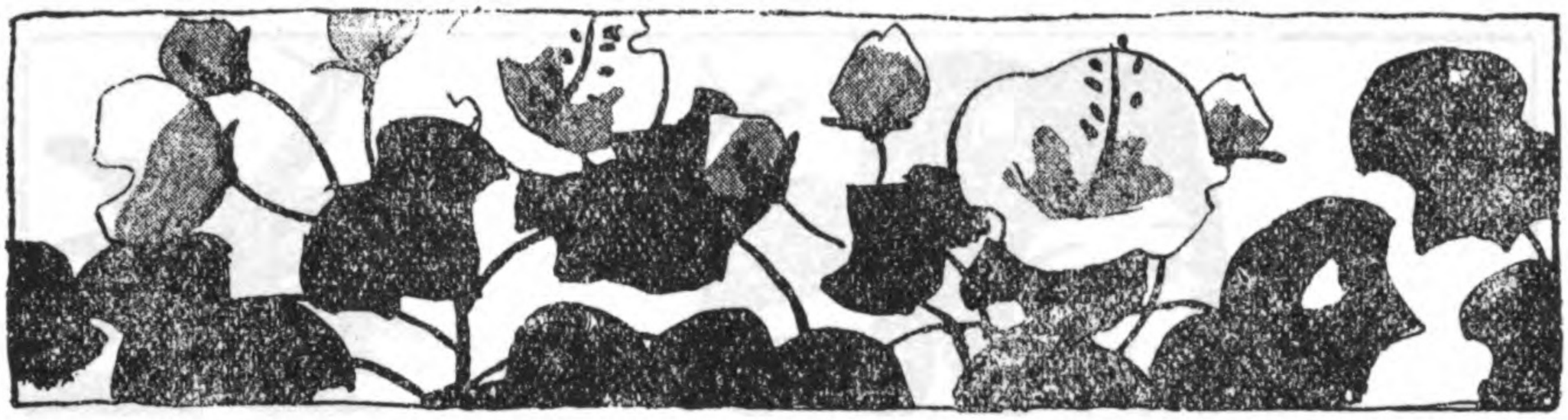
Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



世間的の智識を廣めること

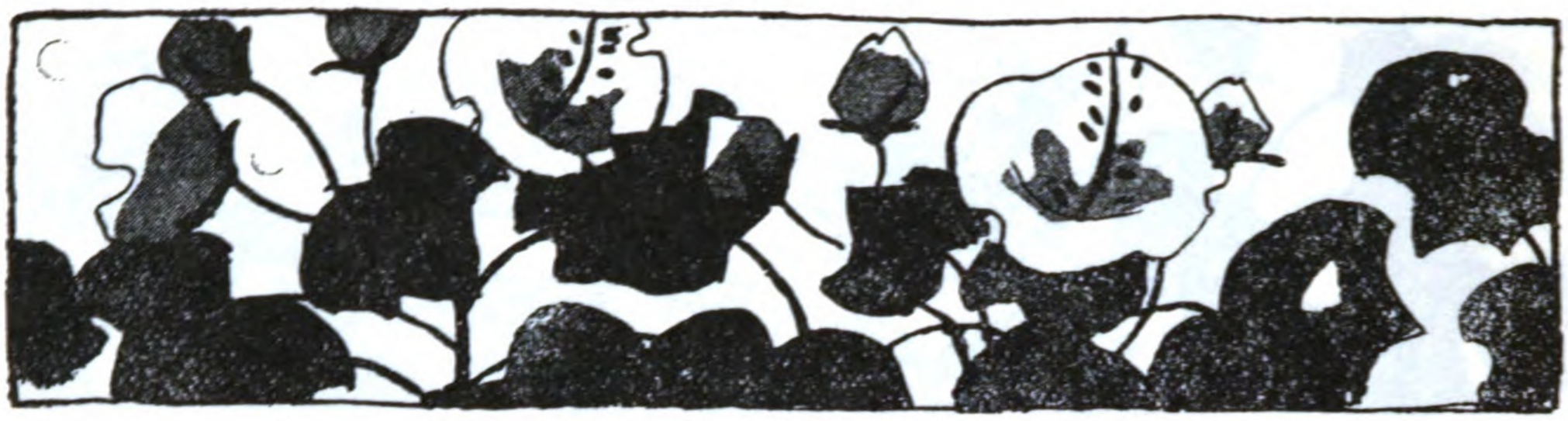
鈴木文治

二

世の中ではよく女といふものは、家の中のことさへして居ればよい、その外のことをするのは生意氣者のやうにいふ風がありますし、勿論、女としては縫ひ物、煮炊、其他一通りの女藝は心得て居なければなりませぬけれども、併し私はこれから先の良き妻、賢い母としては、是非共讀み書き十呂盤、さては世間の事もあらましは心得て居て欲しいと思ひます。

私は昨年秋、日本の勞働團體友愛會を代表して、米國の勞働大會に出席致しました。其大會の出席者の中には、澤山の女も居りました。その女といふものは、會に出席した勞働者の人の細君もあり娘もあり、又は女工の人達も居りました。女が勞働大會に出席

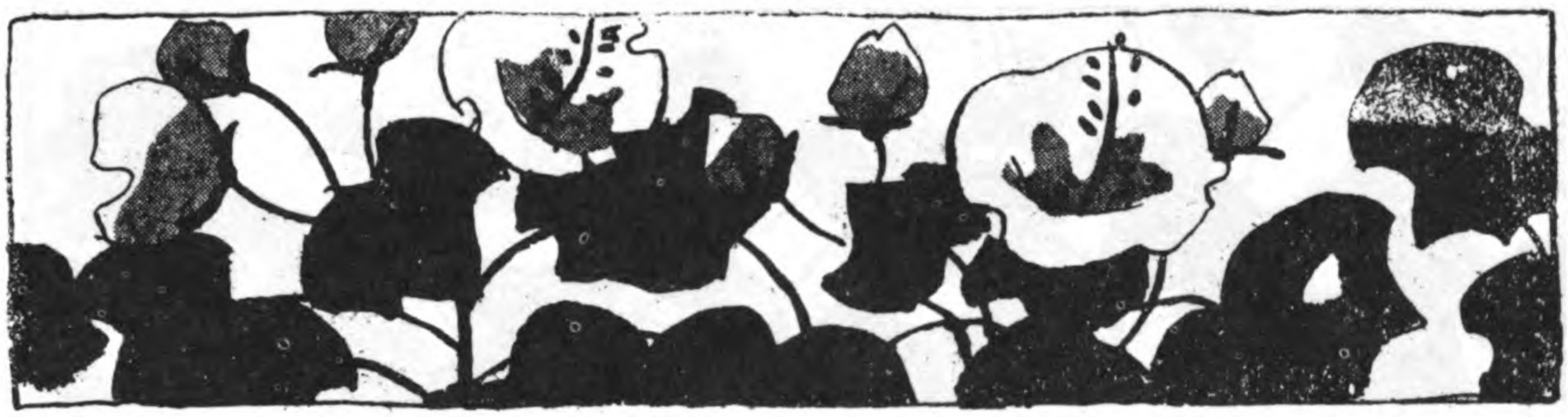
Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



するといふのは、餘程珍らしいと思ひまして、私もいろ〳〵と注意して見、又時々談話をもして見たのですが、實に其女の人達の智慧の發達して居るのには驚くの外はありませんでした。其人達は別に決して高等教育を受けたのではなく、せい〳〵高等小學校を卒業した位が關の山であります。それにも拘らず、その物知りであること、世間の道理に明いこと、世界の出來事に注意して居ること、物事を筋道を立てゝ考へることの發達して居ること、到底我國の中流、否、上流の婦人も及ばない位であるのを見たのであります。これ、つまり其平生の修養が違ふからであります。或一人の婦人の如きは加州の勞働大會に於て、婦人服裁縫組合を代表して、堂々と演壇に立つて演說をし、次いで男子と討論して、之をへゝまして仕舞ひました。演說の趣意といひ、態度といひ、實に申分がありませんでした。これが三十歳あまりの女工さんであつたのであり

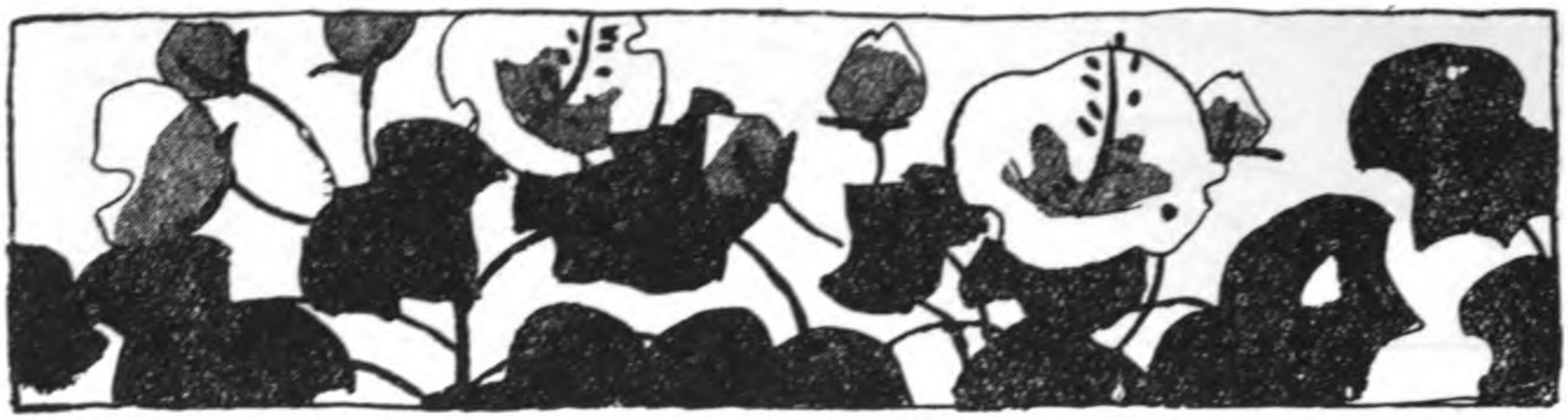
三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



ます。それから米國全體の勞働大會に於て、一日代表者一同桑港の灣内を船遊びをしたことがありますが、その折一人の婦人が、私の知り合の男子の紹介によつて、日本の婦人勞働者の狀態は如何であるかと尋ねました。勞働時間、賃銀、休日、休憩時間、それから産前産後の時の工場主の手當、小兒の乳養教育等のことまで、恰も勞働問題の專門學者のやうな、細かな質問をしたのに驚きました。そして日本には未だ勞働保險法（勞働者の病氣、怪我、老衰、死亡等の場合の爲めの保險）が設けてないかなども尋ねたのであります。この人は同じく女工出身の人で、加州の婦人界に大勢力のある人で、丁度その折設けられやうとして居た、加州の社會保險法（勞働保險）の調査委員（委員の數は五人でいづれも立派な人々ですが、中一人丈けが女）に擧げられたのだといふことでした。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



女といふものはたゞ家の中にのみくすぶつて居べきものではありませぬ。世界の人間の半分は女であります、社會の進歩とか發達とかいふことに對する女の働きは大したものであります。女は男の大事な相談相手ともなり、慰め手、勵まし手ともならねばなりません。それだのに世間の事には一向暗く物の道理が分らなくては、どうして婦人の使命を果すことが出來ませう、どうして男子の愛と尊敬とを得られませう。新聞も三面記事ばかりでなく注意して讀むべし、雜誌なども暇々にお讀みなさい。講演會なり、音樂會なりなどへも都合してお出かけなさるがよろしい。下等なお芝居や、寄席藝人の話や、活動寫眞などで喜んで居るやうでは、まだ〳〵日本の婦人も駄目です。婦人は家庭の花、光、男の爲めには大事な杖、柱であります。其智慧、其心意氣の高く潔くなるとならぬとは、國の爲にも男の爲にも大變な相違があるのであります。

五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新版子守唄

ねん　ねんおころり　おころり
よい　子の坊やは　ねんこし
おめ　んめが覺めたら　乳貰ひて
お乳をもらひに　出掛ければ
鎮守の森から　月が出て
越後の方から　雁がくる
ねん　ねん坊やは　おころり
よ』

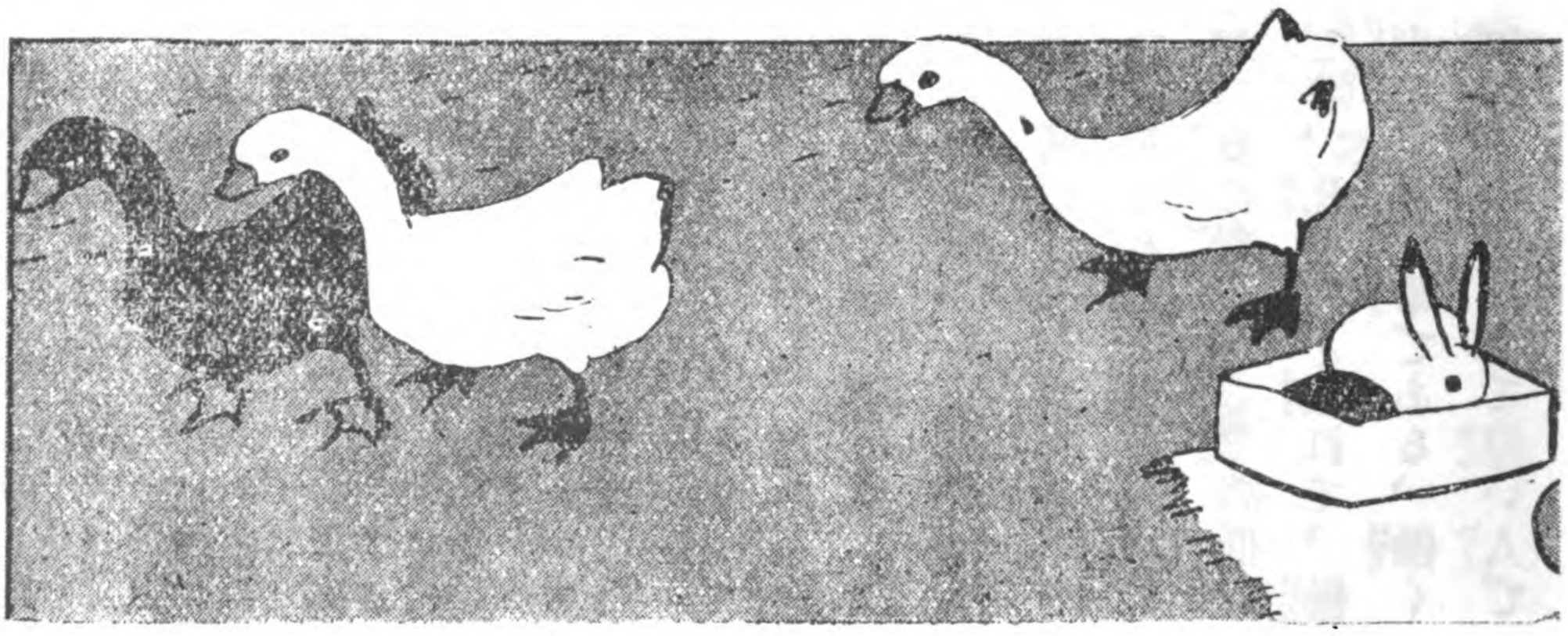
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□

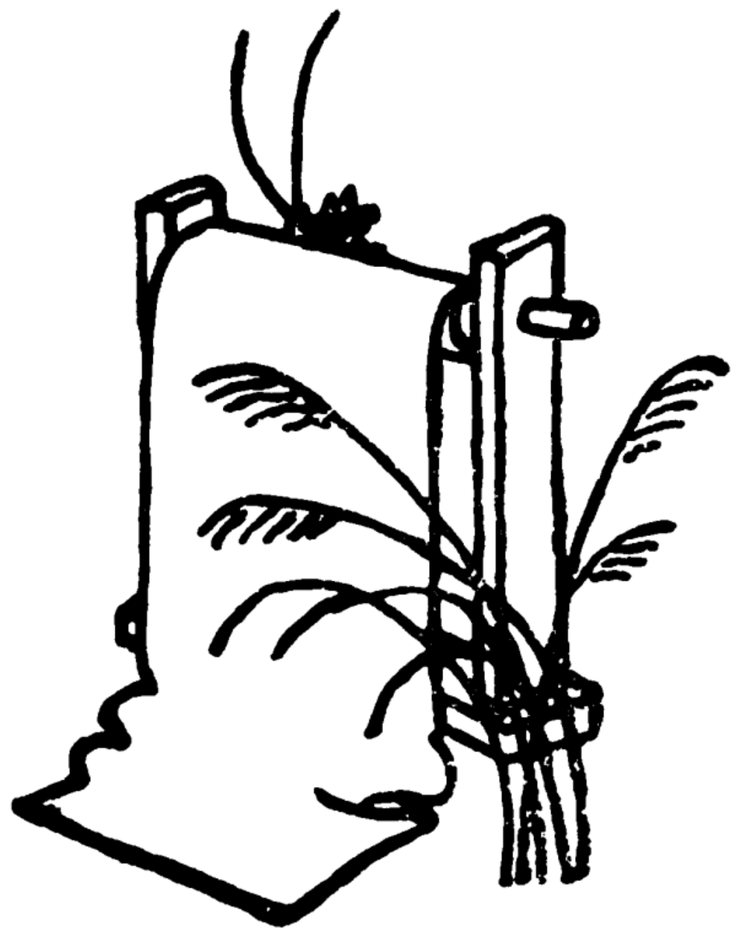
坊やは好い子だ　ねんねしな
坊ちやんのお背に　畫寢して
母ろいお手々が　日に燒けた
し　いじな可愛い　おてゝゆる
だ　いて寢かしましよ　兩の手に
背にア寢かさず　これからは
抱やはよい子だ　ねんねしな

『――としざ作――』

七



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



お互に尊敬せよ

藥學博士
理學博士　長井長藏

女工と聞くと懷しい

「友愛婦人」は女工さん方が澤山お讀みになるのですつて？　女工！　女工といふ言葉は私にとつては眞に懷しい感じを起させられます。その方々がお讀みになるならば、私は喜んで何かお話いたしませうなぜそんなに懷しく思つて居るかといふとこんな話があるからです。私は長らく西洋に行つて居つたが明治十七年に漸く日本に歸つて來て、京橋區木挽町に政府と人民と共同資本で設けた大日本製藥會社につとめ、製造の方を專ら受持つ事になりました。その頃、日本では女工といふものが極々少く、只、大藏省の印刷局にいくらか勤めて居るだけだつたのです。けれども私は考へるところがあつて、その製藥會社に職工を雇ふ時、男工よりも女工の數をずつと多くしました。當時の人達のいふ處によると、女は身體も弱い、又、男と女と一所に仕事をさせると、いろ〳〵面倒な悶着が起つたりなどして困るといふ之を聞いて私はその人達が、女に對する考の低い事を誠に殘念に思つたのです。凡そ人と生れて、働くといふことは男女の區別なく尊い事である、働くといふ女があればそれは實に感心なそして偉い人で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ある、そんな人に大いに働いて貰はなければならないのです。女だといつても取扱ひやうによつては、男工に劣らないだけの働きが出來るものである、又男と女と人り混つて同じ場所に働いても、決して他人から批難を受けるやうな事はないであらう、必ずそんな事はないに相違ない、けれども只左樣おもふだけで無く、私はそれを實際の上に證明したいと考へまして、女工は三十名男工は二十名位を入り混ぜて使ふ事にしました。使つて見るとどうでせう。矢張り私が最初思つた通り、決して他人が心配したやうな事はありませんでした。却つて女工は眞面目で我慢が強く、仕事をずるけたり、飽いたりするやうな事がなく、こつ〳〵一生懸命遣つて居る、又、氣がこまかく手先が器用なので、仕事に粗忽が無く、きれいにきちんとかたつくのでした。その時私はどんなに喜んだか知れませんでした。女工といふ言葉をきいて大層なつかしく思つたのは、三十年前にあの女工達が眞面目に熱心に働いて呉れた時の嬉しさが、まだ心に深く殘つて居るからです。

親子兄弟が別れるやうやがて私は餘儀ない事情があつて、其の會社を去らなければならなくなりました。で、一同を集めてその事をいふと、男工も女工も親に別れるかのやうに悲しがる、それを見ると私も可愛い倅や娘達を置去りにするやうな氣がしてならぬ、名殘りを惜んで泣き別れのやうな別れ方をしたのでした。どうしてこんなにお互に親子のやう、兄弟姉妹のやうに睦まじく仕ながら、事業のために盡す事が出來たか、その唯一つの理由と思ふのは、仲間のものが、どんなに親しく馴染になつても、お互に相手の人を尊敬する事を忘れなかつたからであらうと思ひます。男工女工達は私に對して親のやうになつかしがりました、けれども亦親のやうに尊敬して呉れました。職工同志でも年下の者は年上の者に向つては兄や姉のやうに親しく思ふと同時に、兄姉に對する

九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

禮儀をちやんととつて居りました。年上のものも年下の者を可愛がるなかにも輕蔑する事などなく立派に禮儀を守つて居つたのです。人に左樣するばかりで無く、各自も他人に輕蔑される事のないやうに氣を付けて居なければ、あんなに立派な具合には行かなかつたでせう。

私はその會社に居る時、機會のある毎にいろ〳〵左樣いふ心得を聞かして居つたのです。當時十二三歳の少女であつた女工が今も猶續いて藥劑業をなし大層立派になつて居る人もあります。

今の女工の有樣はどうか

その後、女工を使ふ事がだん〳〵廣まつて來て今は、女工を使はぬ工場は無いといふ位になりました今頃の新聞や雜誌を見ると、男女一所に働く工場から、誠に遺憾千萬な事が仕出かされるといふ事がちよい〳〵書いてあります。實に嘆息の至りです。そんな事の出來る原因は何かといふと、他でも無い、即ち前に述べた通りお互に尊敬仕合つて禮儀を守るやうに仕ないからです。

嘆かはしい事の起るわけ

一體日本では昔からの惡い習慣で、女は一種貧弱な天性の者で、男よりも人間が下であるといふ考がある、であるから、女の方では男を尊敬しても、男の方では女に向つて尊敬して相當の禮儀をもつといふ事が誠に少いのであるから、種々面倒な事が起り易いのでせう。大勢の若い男女をあづかつて居る工場主は、女よりも男の方に、これらの注意を充分に與へて頂きたい。嘆かはしい事の起るのは、多くは男の罪で、女の罪にする場合は少いのであるが、前に申しましたやうに、各自自分の威嚴を保ち、又他人の威嚴を傷けないやうに氣を付ける事は、男も女も大切な事で、ぜひ左樣しなければなりません。

＊　＊　＊　＊　＊　＊

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

働く程尊い事は無い

日本女子醫學專門學校長　吉岡彌生

△遊んでゐる人が偉いと思ふ支那

からどれ程澤山の黴菌が入るか知れません。貴方は黴菌をわざと殖やすやうな事をしていらつしやると申しますと、その支那人は「之は私一人ではありません、私の國では、身分のよい人は皆爪を長くしてゐます、つまり支那の習慣なのです」といふ。「妙な習慣があつたものですネ、一體どうしてそんな習慣が出來たのでせう」とだん〳〵聞いて見ると、かういふ譯があるのです。支那の身分のよい人は毎日何もせずに、書物などばかり讀んで居る、凝と遊んでゐるから手の爪も長くなります。處が支那といふ國は書物を澤山讀む人程學者だといつて尊敬される、爪の長いのは本ばかり讀んで居るからである、あの人は學者だといふ事になる、一方一生懸命立ち

つひ先頃の事ですが、私の病院へ一人の支那人の患者がまゐりました。その人は手の爪を大層長くのばして居るので、私は吃驚して「貴方、そりやどうなすつたんですか、私達は爪を長くのばして置く事は大禁物で、いつも爪は綺麗に切つて置きます、そして仕事を始める時、濟んだ時には、ちやんと手を洗ひます。それは爪の間から黴菌などの入らない爲です。貴方のやうに爪を長くのばして置くと、その間

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

働いて居る人は爪が長いと仕事の邪魔になるので、短く切つて仕舞います、するとあの人は本を讀まない人だ、つまらない人だといふ事になります。ですから、金持ち、學者などゝいはれる人になるには爪を長くしなければならぬ事になつて來たのであります。こんな事から働く人はつまらぬ人間、遊んで樂をしてゐる人は偉い人といふ考へが支那全體の人の頭に浸み込んでまゐりました。

△百姓のお内儀さんは偉い

その支那人の話を聞いた時私は、支那といふ國はまア何といふ間違つた事を考へて居るのだらうと驚きましたが、よく考へて見ると、之は支那人ばかり笑ふ事は出來ません。現に日本でも、働く人を尊敬しない人が隨分澤山あるのでございます。

私共から見ますと勞働する人ほど尊いものはないと思ひます。あの百姓のお内儀さん達を御覽なさい。朝は他人より早く起きて御飯を炊いたり汁を養にたり、又、家の掃除をしたりして、ちやんと朝の用意を整ひます。夕方には、又、夕飯の仕度をしなければなりません。夕飯が濟むと茶碗や鍋釜を洗つて片つけるそれが終ると直ぐ針箱を出して、夫や子供、舅姑それから自分の着物を縫ふ、子供があればその養育も自分がしなければなりません。斯樣に衣食住育兒の事一切を自分が背負つて居るほかに、晝は夫や他の男達と同樣に畑に出て朝から晩迄働きます。あの人達は男の二倍も三倍も澤山の仕事をして居ります。それでゐて身體も丈夫です。又、育てられた子供達は實に立派なもので、徵兵檢査の時に、檢査員から譽められるのは殆んど之等田舍の若衆達といふ有樣です。仕事も澤山出來、身體も丈夫になり、子供も立派に育てるといふ事は、何といふ偉い働きではありますまいか、こんなに働く人こそ大いに譽めなければなりません。又、働く方の人も自慢をしてもよいのです。

△職業をいふのをはづかしがる

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

それだのにどうでございませう。女の人で、百姓をしたり、工場に出て稼いだりしてゐる事を立派な事だと思つてゐる人は誠に少いのであります。私の所に身體を診て貰ひに來る女の方で、私から「貴女はどんな仕事をしていらつしやいますか」とおたづねした時に、「私は百姓をしてゐます」「私は女工です」とお答なさる方は殆んどありません。恥しい事でもしてゐるやうに言ひ澁ります。

斯樣な考は早く退けたいものでございます。親の世話にならず自分で稼いで食べるといふ事だけでも感心な事です。進んで親や兄弟に仕送りするといふやうな人は實に偉い人だと思ひます。又、世の中が進んで、どんなに立派な機械が出來ても、機械だけでは仕事が出來ません。それを動かす人が無ければ駄目です。それを動かしてやる人は即ち女工さんです。女工さんは自分で生活を立てて居る上に世のために働いて居るのであります。世の人の爲になる！どんなに尊い仕事でありませう、さういふ風に立派な働きをする事を人に隠す必要がどこにございませう。大びらで働くがよろしいと思ひます。大びらで事をするとまことに愉快で、苦しい事も少くそして墮落の道に誘はれるといふやうな事も少いものであります。私は本ばかり讀んで偉い顔する人よりも、働いて自分で生活し、又、世のためになる人が一人でも多くなる事を願つて居ります。

東京至誠病院と院長吉岡女史

△働くには身體が大事

けれども人間の體は神樣でありませんから、只、無性に働くばかりですと、大事の身體を損けるやうな事が

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

あります、何をするにも身體が源になるのですから之には出來るだけ氣を付けなければいけません。それに就て少しお話を加へませう。

肥料の無い土地には、よい作物は出來ないと同じやうに、人間の身體も肥料、卽ち食物が充分で無いと立派な身體にはなりません。東京の人は、「京の着倒れ、京都の人は食べるものも食べずにおしやれする事を考へてゐる」などゝ笑ひますが、當節は着倒れは京都の人許りでなく東京の人も各地方の人も、よい着物が着たい着たいで、食べるものを減らしてもおしやれする事を考へて居る樣です。之は大變間違つた考へです。いくらよい着物を着て居ても、顏色が惡く弱さうな身體をして居ては、人は決して美しいとは見ません、着物は粗末でも丈夫な活氣に滿ちた顏の方がどれ程美しく見えるか知れません。然し、物を食べるにも、度を過ごしたり不規律な食方をしますと却つて身體を惡くしますから、三度の食事の外は、買食などは成るべく避けたいものです。

△眞個の身體の休め方

又時々身體を休める事が必要でございます。眠る事も結構な事で、之は美味い食物をとるに劣らない效があります。夜ふかしなどはせず、適當な睡眠時間をとつたが宜しうございます。終りに一つ付け加へてお話致したいのは、自分の仕事に面白味を持つと云ふ事であります。仕事は、面白くないと思ひ出したら、實に堪らぬ程苦しいものです、一生懸命眞面目になつて働けば、仕事も澤山出來る、さうすれば上の人もよく思つて呉れる、それだけでも氣持ちのよいものです、上の人もいつ迄默つて見てはゐりませんでせう、給料も多くなり、賞與も澤山下さる、さうなると自分も嬉しい、親兄弟も喜びます。又、前にも申しましたやうに世の爲めに働いて居るのだといふ考へを持つと持たぬとは、仕事に就ての面白味に、大分の影響を及ぼして來るものである事を忘れてはなりません。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本の婦人は困つたもの

東京驛長　高橋善一

毎日かうして、此東京驛に出張つて、日に何千人となく出たり入つたりして居る人を、凝となながめて居ると、そりや實に種々樣々な人が目に止りますよ、今、天子樣や皇后樣が立派なお馬車に召し、金の菊の御紋の御旗を先立てゝお出でになつたかと思ふとそのあとから學生やら百姓やら商人軍人華族がいり亂れて押しかけて來る、西洋のハイカラの本場の人達が觀光か何かで大勢、今の列車から降りたと思ふと、今度はその列車に入れ代つて、東京見物を終つたちよん髷の爺さんや白髮のおばアさんがどや〳〵と乘込んで、又、山奥に歸つて行くといふ有樣、此驛は世の中のあらゆる階級、あらゆる社會の人達が姿を見せてゐます。だから、之はすばらしいとか珍らしいとか、やれ〳〵氣の毒なと思つて見るやうな事は隨分ある。が、そのなかでも、つく〳〵考へさせられるのは御婦人方の樣子ですネ、どうも、私は驚きますよ、まづ一日でもよいから此驛に來て見て居て御覽なさい。どの御婦人もどの御婦人も、みんな別嬪に見えるでせう、私は何も美人だから不可いといふのぢやない、美人は結構、日本國中の女が皆、美人になつてもよい、只、感心が出て來かねるのは、美人に見せたい爲に、身に無益な金を澤山かけて居る事です。身分の高い人とか、金持ちとかならば、身分相應でまづ仕方が無いと思ふが、此驛に來る人は、だれも彼れも、身分の高い人金持ちの人といふ譯ではあるまいと思ひます。御婦人　殊に若い御婦人は殆んど絹の着物を着て居る、それもまア〳〵仕方がないとする、色の華やかなのは生活狀態が四疊半式のちゞこまり主義と

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

違つて廣い所に出て活動的になつて來た結果、自然と左樣なつたと見ることが出來る、まあ都會思想さネ、けれども、私には何と考へても飲み込めぬところがありまして。これは此頃殆んど大方の婦人方が着て居られるあの夏コートとやら言つて蟬の羽のやうに薄い地にちよいちよいと花や水の流れなどの模樣を出した上着です。あれは涼しげに見せるためのものださうだが、私共が見ては少しも涼しくなく、むしろ暑苦しさうに見える聞けばわれ一枚が十圓も二十圓もするといふ、そんな不經濟なものを、汗を流しながら引かけずとも、ほかに涼しく見せ、又、自分も涼しく感じる方法があるだらうと思ふ、白つぽい着物を着て、帶でもきりゝとしめて居れば、可也すが〳〵な感じがするものです。

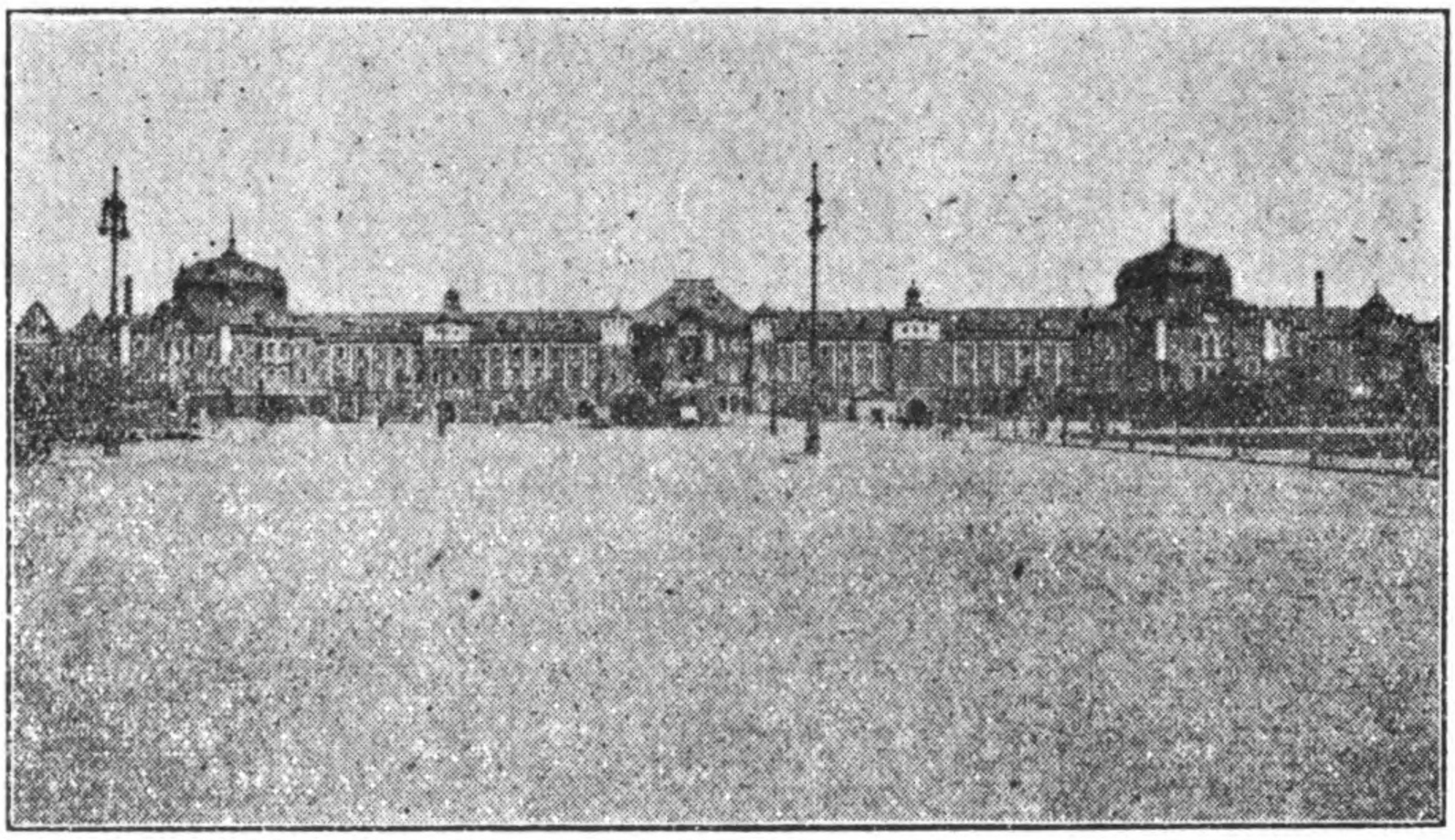
今年の夏はあまり見ないが、昨年の夏あたりは、薄い紗のやうな肩掛が流行つてゐた、あれなどもコートと同じやうに暑くるしく不經濟なものだと思つて居ました。どうしてあんな無駄な事が出來るであらう。ネ、私はいつも、此驛に働いてゐる婦人事務員達にも言つて聞かして居る事だが、日本人は今、女も子供も一人で五十圓づゝの借金を背負つてゐる、それをどうして返すかといふのです。遊んでゐたり、贅澤をしてゐたりしては金はたまらず減るばかりである、外國と競爭するにしても、金が無ければ、空腹で駈つくらすると同樣で力が入らない、國を強くするにはどうしても金をこしらへなければ駄目です。金をこしらへるには實際に手足を動かして稼がなければ出來ない。

この事は、今はじまつて思ひついたのではなく、何十年か前から考へてゐたのです。之からの女は今迄の女のやうにぶら〳〵遊んで居るのはいけない、女も働くがよい、さうすれば國のためになるし、女も偉くなれると思つて、私は二十年前、即ち前の新橋驛に女の事務員を置く事にしました、その頃は女が外に出て働くといふ事が極〳〵少かつたので、女自身もあまりすゝまなかつたし、又、私より上の役の人達のなかにも隨分反對の意見を持つて居る人がありました。けれども私は堅く信ずる所があつたので、その反對意見に復さず、とう〳〵女事務員を置く事にしたのです。仕事をさせて見るとなか〳〵役に立つ。驛の切符賣は現金を取扱ふのであるから正直な

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人でなければ困る、この方面から見ると女は男よりも誠に堅い、又、女は氣がこまかいから、金を勘定するにも違ふ事なく丁寧にちやんと勘定します。客扱ひの仕事であるから、荒くれ男よりも女の方が萬事なめらかに行つて誠に見合がよい、この分で遣つて行つたならば可也ものになる又、當人達も相當に金がたまつて行くと思つて喜んで居たが、どうも日本の女は物事を仕遂げやうといふ張りが無い、綺麗な着物でも着た人を見るとつひ自分も眞似をして見たくなる、一二年も一生懸命働いたかと思ふとそれから先はだん〳〵氣がゆるんで來るのです。

尤も私はかうも考へて見ました。若い人達の事であるから、身の治まりのつかない内は、しつかり氣をおちつけて働く事が出て來ないかも知れない、最初は獨身者ばかり置く事にしてゐたが、その規則をやめて、結婚した者でもよいといふ事にしました。それには驛員同士結婚するがよからう、お互に、してゐる事がよくわかり合つて居るのだから都合がよいであらうからと思つて結婚させて見ました。妻も夫も心得がちがふ、家を持てば獨身の時とちがつていろ〳〵な用事も湧いて來るでせう、然したつた二人の暮しで、妻が一日家に引込んで居なければならぬ程の用事はありますまい。



東京停車場

又、親とか兄弟とかゞ居れば、それらの人達に手傳つて貰つて早く用事をかたつける事が出來る、けれども、日本の女は結婚するとすぐ夫にもたれて仕舞つて働く事を止めにする、之は女ばかりの罪でなく、夫となつた者も不心得であるからです。此事はよく〳〵考へて貰ひたいと思ひます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

伯林の勞働婦人倶樂部

友愛會教育部長　油谷治郎七

女も人であります、犬や馬のやうに見らるべきものでありませぬ。働く女も人であります、器械のやうに扱はるべきものでありませぬ。人であります、故に人らしき待遇を求めると共に、又人らしく身を修め心を養ひ誰にも恥しくないやうに共々に勵みましやう、と云ふのは婦人倶樂部の土臺の考へです。

ドイツの婦人は、近頃までは三つのキの外は心を注ぐ要はないと思つたのです。三つのキとはキュッヘ（臺所）とキンダー（小兒）とキルヘ（敎會）とを云ふので、即ち臺所で料理をすること、子供を育てること、そうして敎會に詣ることゝの三つを婦人の三大事のやうに心得て、其他のことは顧みないでもよいものと思つたのであります。此三つは固より大切なことです、婦人の大事な務めであります。

されど世の中は變りました。婦人は誰も彼も家庭で氣樂に暮してゐるわけにゆけなく、幸か不幸か、男子と並んで腕に力を入れて世の中の仕事に當らねばならぬやうになりました。三年前即ち歐洲大戰爭の起らぬ前には、ドイツの國では、學校の敎師や音樂家や郵便電信の事務員や電話の交換手となりて働いてゐる婦人の數は五十萬人、會社や銀行や商店の帳場でタイプライターや計算器を動かしてゐる婦人の數は四十八萬人に上つてゐます。是等の職業婦人のほかに、工場で働く女工の數は二百六十八萬人の多數でありました。今日は更に男子に代つて働いてゐる婦人は增してゐますから三百萬人以上もあるでしやう。

勞働婦人のうちには、同じ職業に從事するもの同

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

志、又は仕事は違ふが同じ地方で住むもの同志、互に氣脈を通じ共に勵み勵まされるために、心を協せて婦人の倶樂部のやうなものを結んでゐます、全國にある其倶樂部が統一されて大團結をなしてゐますが、其會員は五十萬人を含んでゐます、デイー・ヒルフエ（補助）とて、日々に働く婦人の爲に有益にして趣味ある週刊新聞を出して各會員に配つてゐます。

伯林にある勞働婦人倶樂部は、西暦千九百二年卽ち十四年前の二月に組織されたもので、未だ若いものです。最初は僅かに七十人で成つたものですが、今日は隨分多くの會員になつてゐます。立派な倶樂部の建物もあり、其うちには、集會場も食堂もあり、圖書館も讀書室も備はり、音樂堂も應接室も整つてありまして、テニスを遊ぶ運動場もあります。

ベルリンの勞働婦人クラブ員

勞働婦人倶樂部は、政治に嘴を容れることを目的とするものではありませぬ、又勞働組合のやうに勞働してゐる婦人の實際生活上の問題を解かんとする經濟上の團結でもありませぬ日々働く獨身の婦人が、互に交りを厚くして慰め慰められ、勵まし勵まされて、共に智慧と品藻とを磨かうとするのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

此處には月に何回か音樂會が催されます、倶樂部の音樂部で練習したる手並を示す會員もあれば專門の音樂隊も來ます、日頃會社や工場の單調な騷がしい機械の響に疲れた心も、獨吟や合唱の麗しき歌に全く活々とする、バイオリンやピアノに奏でらるゝ妙なる曲に、我を忘れて限りなき樂みを感ずる。清らかな、且つは、優しき音樂に合はしてダンスは初まる、男子の影はないが、夢中になつて舞ひ踊る。

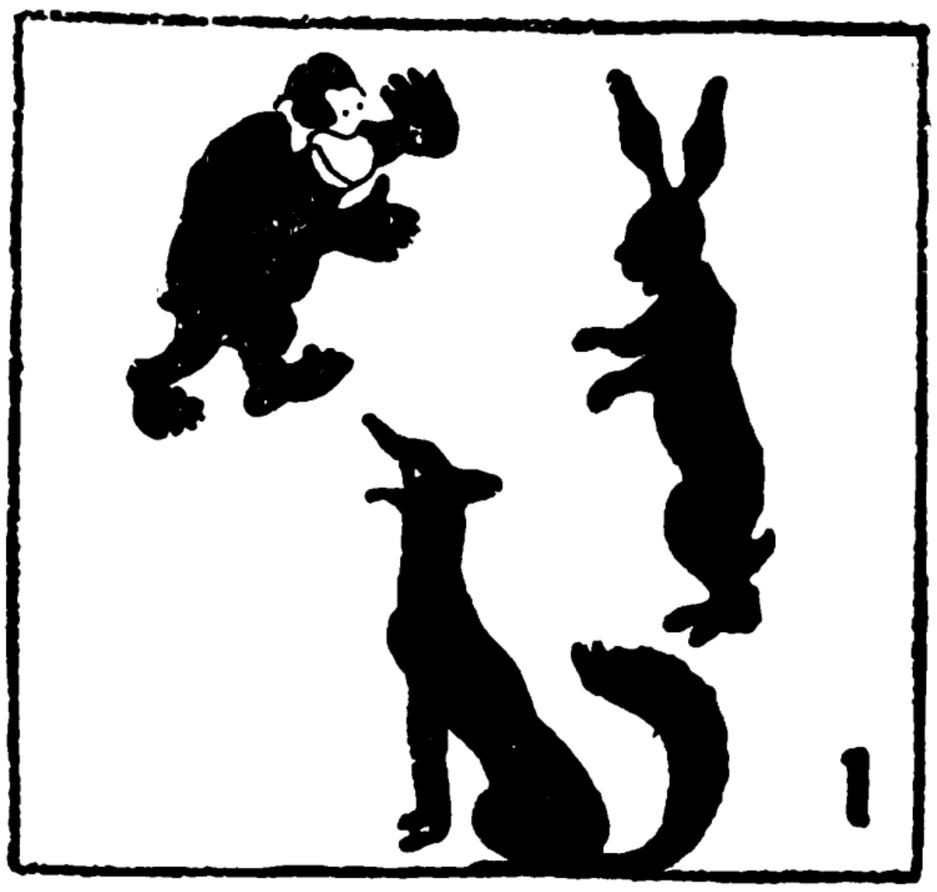
此處には毎月第一と第三の水曜日の夕を期して講演會は開かれる、第一の水曜日は「近世獨逸文學」の十回講演で、第三水曜日は「家庭に應用せる科學」の七回講演と云ふやうなもので、種々の有益な面白い題を數回續けて細やかに講義を聽くのですから、兩三年のうちには中々の學問が出來るわけです、別に語學研究會があつて英語を稽古してゐます。

伯林の婦人等は、日々働きし時間の餘りを以て、かやうに智慧を磨き氣品を養ふに勤めてゐますが、其ればかりではありませぬ、毎週土曜日の午後と日曜日は大概は休暇でありますから、團隊を組んで遠足に出かけます。殊に夏や冬には此遠足は多く行はれるやうです。スカートを短く穿いて、身輕な裝をして、合財囊のやうなものを肩から腋にかけて、勇ましく徒歩で附近の名所巡禮をいたしたり、又は調おもしろく歌を歌ひつゝ郊外散歩します。一週間室内の勞働に弱れる身も忽ち是がために甦へつたやうに壯快になるでしやう。總じてアメリカやイギリスやドイツの勞働婦人の顏面には憔悴した色はなくて、元氣は極めて盛んであつて、氣分は飽くまで快活であります。それは其國民の性質や體力や生活の有樣にもよるが、工場の衛生が行屆き、又勞働する婦人たちが衛生を重んじ、品行を慎みて、我身を大切にする心掛がよいからであります。

働くのは女の恥でありませぬ、されど働くために身を傷め心を害して惡い風に染まるやうなことがあり、日夜に智慧も磨けず品德も修めることができぬならば、其働きは實に悲しむべきものであります。

何時働く婦人のうちに斯やうな友愛倶樂部は生れるのでせう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



お月様の兎

『一』

むかしむかし静かな野原に、猿と狐と兎とが住んでゐました。ふだんから喧嘩一つした事もなく、朝は露にぬれた草をわけて餌を捜しに出掛け、晝は暖かい日向に寢ころんで色々のお話をし、夕方になると連れ立つて巣に歸り、まことに仲よく暮してゐました。野原には色々の鳥や獸もゐましたが、こんなに仲のよい仲間は他にはありません。

『二』

この猿と狐と兎との仲の善いお話が、天の神様のお耳に入りますと、神様はそれは珍しい事だ、そんな善い心掛をもつてゐる獸なら一度見ておかうと仰有つて、神様は見すぼらしい乞食爺さんのやうに姿をお變へになつて、たつた一人の供をも連れず、雲に乘つて天から野原へ下りて來られました。見ると噂に聞いた通り、狐と兎とは柔かい草の上に寢そべつて、側にゐる猿から面白いお伽話を聞いて喜んでゐます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

『三』

神様はその近くへお寄りになつて『何か面白いお話がある容子なのに、お邪魔をして濟まないが、私は旅の者で、お腹が空いて困つてゐる、何か食物があれば頒けて下さるまいか』と申されました。すると、猿と狐は『お安い御用だ』といつて直ぐ立ち上り、猿は後の森へ入つて木の實を拾つて歸り、狐は前の河へ往つて鮒を啣へて來て『さあ〳〵お食り』といつて、夫を乞食爺さんの姿をした神様の前に出しました。

『四』

猿と狐とがこんなに爲てゐるのに兎は何處へも食物を捜しに出掛けないで、草のなかをぴよん〳〵飛んでばかりしゐるので、神様は大層お腹立になつて『兎の懶けもの』とお叱りになりました。兎は素知らぬ風ににこ〳〵笑つて『おい兄弟分、お蔭で鮒と木の實と揃つたから、尋でにお猿さんはも一度森へ行つて柴を拾つて來てくれ、そしてお狐さんはその柴を焚いて、鮒と木の實とを燒いてくれまいか』と申しました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

『五』

猿が森へ引きかへして柴をどつさり拾つて來ますと、狐はそれを焚いて鮒と木の實を燒きにかゝりました、兎は相變らず子供のやうに草のなかをぴよん〳〵跳ねてゐましたが、柴が眞赤く燃えあがつたのを見ると『さあお爺さん、まづからうがお腹の足しに私の肉を食べて下さい』と言つてきなり火の中へ飛び込みました、猿と狐は驚いて引とめやうと手を伸ばしましたが、もう遲うございました。

『六』

乞食爺さんの姿をした神樣は、兎が自分の生命を捨てゝまで盡して呉れた心ざしにしみ〳〵感心せられました。神樣は涙をはら〳〵お流しになつて、お前達の親切は皆有難いが、とりわけ兎の心は忘れぬと仰有つて兎の死骸をその儘胸にお抱きになり、雲に飛び乘つてまた空へ歸られました。そして泣く〳〵美しいお月樣のお宮に兎をお葬りになりました。今もお月樣のなかに兎の形が見えるのはその故であります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭ですべき秋口の用意

日本女子大學校教授　手塚かね子

着物の手入

もして置かなければなりません。その手入と用意について之からお話いたしませう。先づ着物でございますが、汗ばんだもの、よごれたものは今の内に奇麗に洗つて置きませんと、地質が變つて仕舞ひます。襦袢などならば、只、洗つただけでも宜しうございますが、着物になると其位にして置く事は出來ません、解いて、洗張りをして、ちやんと仕立て直して置きたい、いかにも手がかゝるようでありますが、着物を損ぜず長もちする上から見て、どれほど德用であるかわかりません。又、秋になつて、さつぱりした體裁のよい着物を着る時之からだん〳〵涼しくなりますと、野菜など澤山出來、そして大層おいしくなつてまゐります。肉類も身がしまり脂肪が多くなります。酢、醬油、酒の類も黴が出なくなる、すべて食物の方は樂になつてまゐります、然し着物其他の道具類は、ちよつと手のかゝる時期でございます。即ち、今迄用ゐてゐた單衣、蚊帳、夏座蒲團、簾、提灯のやうなものは、不用になりますから、夫れ〳〵手入をして仕舞はなければなりません。又、秋や冬に必要なものゝ用意

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の氣持ちよさを思ひば、少し位の手間は何でもありません。ちよい〳〵着ならば、袖口や襟などの汚れた部分だけ揮發油で洗ひ、裾のやうな揮發油ではおちないところは石鹸でもつけて洗ひ、火熨をかけて置くが宜しうございます。絹物でも、たび〳〵着たものですと、其儘にして置くと矢張り惡くなりますから洗つて置くがよろしいが、之も丸洗ひよりは、面倒でも解いて縫ひ返した方がよろしうございます。白い襦袢の袖の燒けたのは、來年は見苦しくて用ゐられませんから、染め直して、袷の時の袖にすると結構です。白地の單物でも、形のぬけかゝつたのなどはその儘なげやりにせずに、其上に型を置くと可也新しいものとして、又、來年の夏着る事が出來ます。染め返しも出來ないようなものであつたら、よく洗つて敷布にすればようございます。大方の人は、夏は暑いからよく乾くといつて、蟲干をしますが、實際は夏は空氣のなかに水氣を含んで居りますので、着物に濕氣がつく事があります。秋になると空氣がよく乾いて居りますから、この方が蟲干に適して居ります。干しますにも。日光にあてますと色が變る事がありますから、風通しのよい座敷でした方がよいのです。

手塚かれ子女史

着物の仕舞ひ方

着物を仕舞ひますには先づ、簞笥なり行李なり其他の入物をよく掃除して干して置く事を忘れてはなりません、着物を重ねますときに、赤や紺、白など樣々あつて他に色が移る恐れがありましたならば、着物と着物の間に白い布を一枚敷いて置くのです。白い布と申しても金巾の新しいのなどは漂白粉が殘つてゐたり、糊がついて居たりしますから、よく洗ひ晒してから用ひたがよろしい、前

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に申しました、白地の浴衣の古いのを、洗ひ晒したのなど、解いて適當の大きさに切つて間に挾んで置いたら、なか〳〵工合がよいでせう。又、絹物などで、袖付や腰の邊に折目がついて、見苦しかつたり、地質がいたんだりする心配のある時には、眞綿を裾綿の古いのか、柔かい紙に卷きつけて、折目のところに挾んで置くと見苦しいあとがつきません。簞笥や行李の下にも白い布を敷き、入れたもの全體を包みます。蟲よけにはいろ〳〵な藥がありますが、何といつても樟腦が一番よいやうです。蒲團は是非とも今の内に洗つてよく干して置かぬと濕氣が仲々とれません。

蚊帳や簾

蚊帳は濕氣を吸ひ易いもので、雨戸の隙などから入る夜氣に濕つぽくなつて居ります。毎日干せば結構なのですが、何處の家でも左樣はとゞき兼ねますです。ですからいよ〳〵仕舞ふといふ時に、天氣のよい日を選んで、二三日よく干し、折目と折目とをよく合してたゝみ、輪は丁寧に紙で卷いて置き、着物と同じやうによく洗つた布で包んで置きます。蚊帳のやうに目の荒いものや、麻のものは、洗濯する時、うつかりごし〳〵揉むと絲がよれますから、石鹼をつけたブラシでしづかに撫でるやうにして洗ふがよろしい。簾は箒かはたきで、間のほこりをよく除き、よく〳〵汚れてゐる時は、石鹼をつけたブラシで縱に撫で、清水で幾度も注ぎますと、新しく買つたやうになります。干す時は濡れたまゝ干さずに兩面をきれいに拭いてからにしなければなりません。洋傘は石鹼水をハケにつけて洗ひ流し、矢張清水で幾度もそゝぎますと大方はきれいになります。白い洋傘などは染め返すと秋に使用する事が出來ます。提燈はほこりを拂つて日に干し紙に包んで置くだけでよろしい。蚊帳、簾、提燈、すべて仕舞つて置くものには樟腦を入れて置く事を忘れてはいけません。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

手輕なお料理

記者

石燒豆腐

燒豆腐を適宜な大きさに切つて、煮汁、砂糖、醬油で煮て置きます。別に鍋に煮汁と醬油砂糖を入れて汁をこしらへ、前の燒豆腐を椀にもり、汁をその上にかけ擂生姜をそへて出す。

ごぼうの油煮

ごぼうを五六分位に切り、ごまの油でいため、大分に色か變つて來たところへ、松魚節のかいたのをもみながら加へ、砂糖と醬油を入れて露のなくなる迄煮込みます。

茗荷と玉子のつゆ

玉子に鹽と砂糖を加へて薄く燒き、短冊かせんにこまかく切つて椀に盛り、別に茗荷だけをこまかくきざみ、煮汁と醬油でつゆをこしらへ、その中で煮てすくひあげ、玉子とも一合せて煮汁をかけます。

蓮根の梅あへ

蓮根を亂切にして、酢を入れてゆで、ゆであかつた時、砂糖と鹽で再び煮ます。別に梅干の種をとり、實ばかりをよく擂り、その中にさつま芋のゆでたのを少し入れてまた擂りまぜ、砂糖を加へ、食紅を入れて桃色にそめよくくすり合せ、之を衣にして前の蓮根を合はせます。

ほうれん草の海苔卷

ほうれん草を鹽湯に入れてゆで、水でよく洗つて揃へ、水氣をしぼり醬油を少々かけて下洗ひをなし、しぼつて、海苔に卷き、五分位の長さに切つて出します。

きぬかけ芋

里芋の皮を去り、大きなのは二つに切り、小さいのはその儘にして、鹽を入れた水でゆで、置く、一方味噌をすり、砂糖だしを加へてゆるめ鍋に入れてざつと煮る、芋を鉢に盛り、味噌をかけ、生姜をこまかくあられに切つて水で洗ひ、上より振りかけて出します。

鰯のおろしあへ

鰯の頭、中骨を取り、鹽をふり、板へ並べて輕い壓をして置く、之を洗つて酢につけ、皮をむき、三つ位に切り、別に大根をおろして水で洗ひ、よくしぼり、前の鰯をまぜ、二杯酢をかけ、井にもる、茗荷の子を細かくきざんで鹽でもみ、酢で洗つて交ると結構でございます。

鯖丸づけ

鯖を脊開きにして、中骨をとり、小骨をぬき、鹽をして壓石を置き、之を水で洗つて、酢につけて置きます。酢から出し、皮をむき、酢を布巾でふきとり、之へ酢の御飯を身の方にのせ、兩側を折り返して包みこみ、壓石をなし、すゝめる時に適宜に切り、酢生姜をそへて出します。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

初秋の子供の衛生

醫學博士　瀬川昌世

一、初秋は油斷が出來ぬ

九月に入ると、もう秋になつたと思つて、つひ心に緩みが出て來ます。成程朝夕は大分に涼しい、然し日中はまだ殘暑去らず、仲々暑うございます。この氣溫の變化は、子供にとつては誠に危險な事であつて、之がために病氣を招く事が往々にあるのであります。今迄夏の暑さで身體が弱つて居るところですから、病氣にとつかれるとみる〳〵重くなつて行きます初秋の衛生に就ては充分氣を付けなければならないのであります。

二、胃腸病が一番多い

初秋に罹り易い病は何であるかといふと、先づ第一に胃腸等の消化器病をあげなければなりません原因は果物などの食ひ過ぎ、熟さないものを食べた事などに多いのです。極く輕い食あたりならば下痢があつたり、腹痛があつたりするやうな狀態でありますが、子供は其子が丈夫な子であると癒る場合がありますが、多くはその位では濟みません。ひどいのになりますと疫痢若くは疫痢のやうな狀態で、急に熱が出て、今迄元氣で遊んでゐた子が、急に熱を出したり、ひきつけたりいたします。ひきつけのはげしいのには十二時間か一日位苦しんで死んで仕舞ふのがあります。

以上のやうな病氣は重に果物を食べた場合に多く起るのであるが寢冷も亦大層關係するのであります。ですから夜寢前に過食したり寢冷をしたりする事のないやうに氣をつけなければなりません。

三、手當はどうするか

病氣に犯されたと思ふ時、一番注意する事は、子供に熱があるか無いか、子供の元氣が平素のやうであるかどうか、便の性質が變つてゐるか居ないかといふ事であります。子供に熱もなく、元氣も變

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

らず、便もまじりものでも無ければ左程心配するには及びませんが熱があるとか、元氣が失せてぐつたりしてゐて樣子がをかしいとか、大便のなかに血や其他のまじりものがあるといふやうな時は重いのであつて、見た處では何でもないやうでも、重い症狀を起す前兆ですから、一刻も猶豫せずに醫者に診せるが宜しうございます。醫者に診せる迄の手當はどうしたらよいか、この病氣は、食べたものが胃や腸のなかに滯つて變敗する結果でありますから、かやうな症狀を起した時には一日か半日何も食物を與へないのがよろしい、斷食をさせるとよいのです。胃や腸を空にして休養させる事が

肝要です。寢冷の用心に腹掛をかけるとか腹を卷くとかする人がありますが、只腹ばかりでなく足の先も冷さないやうにしたいものです、昔から頭寒足熱といふ言葉がある通り足を暖かくする事が大事です。

四、癒りかけてからの養生

良くなつたらばスープなどを少々與へ、それから食慾が起つて來て、大便の回數も減つて來た時は、おもゆか薄い粥を食べさせ、一日位樣子を見てだん〳〵濃くしてゐります。

そして玉子、豆腐、麩、やはらかい魚といふ樣に次第に普通の食物に移らせます。癒つたからとて、急におもゆから普通の食物に移りますと、直もりかへす事があります。それが幾度か重なると慢性になつてなか〳〵癒らない、總て最初に充分注意して、すつかり癒して仕舞ふ樣にしなければいけません。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

花ちやんは幸福になりました。工場から歸る次郎さんをいそ〳〵と出迎へする嬉しい日が暮れると、心の底の底迄打明けて、のち〳〵の事を語り合ふ嬉しい夜が來ます。嬉しい夜が明けると、晴れ渡つた曉の青空のやうに元氣よく工場へ出勤する次郎さんを見送る嬉しい朝になります。昔の苦勞を夢と見て冬には冬のしんみりした氣持で此世の中の幸福を味ひ、春には又春の華かの氣持で世の中の喜びをうけました。

又夏がめぐつて來ました。涼しい青葉の蔭で少しの曇りもなく、光り輝いてゐる夕空を次郎さん夫婦は兩人きりで見てゐましたら、思ひも寄らぬ地の底から、恐ろしい眞黑な入道雲がもく〳〵と湧き起りました。

『まあ、雲が出ましたワ、あら〳〵、ねえあなた降りませうかしら。』

『さあ。』と云つて次郎さんも暫時雲を見てゐましたが、やがて靜かに、

『世の中と云ふものは、此うつり變つてゆく空のやうなもの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

さ。いつ迄もお天氣でゐればいゝと思つてゐても、いつの間にやら思ひもよらぬ所から眞黑な雲が現はれる。時が來れば雨も降る。風も吹く。大暴風雨になる事もある。』

『あなた、暴風雨になりませうかしら。』

『暴風雨になつたら什麼する。』

『？……』

何の事やら花ちやんにはわからなかつたので、默つて夫の顏を見ると、

『暴風雨になつても泣いたり何かはしないだらうねえ。』と不思議の事を次郎さんは云ひます。

『あらあなたの云ふ事何の事やらわかりませんワ。』と花ちやんは正直に云ひますと、

『ハ、、、、』と次郎さんは笑つて、

『わからなくつてもいゝさ、わかる時が來ればわかるから、さあ手をお出し。』と次郎さんは花ちやんに手を出させて、其眞白な小指に自分の小指を搦ませて、

『私の可愛い奥さん、暴風雨が來ても泣いてはいけません。』と、子供のやうの事をします。花ちやんは何だか狐につまゝれたやうに思はれて、馬鹿らしくもあるが、何だか又氣懸りにもなるので、

『ねえあなた。何か心配の事でもあるんですの、』と聞いたが、次郎さんはもう何も云ひません、眞面目くさつて空を見てゐます。雲がいつの間にやらすつかり空の光を包んで仕舞ひました。

其翌日の夜の事です、おとり膳で兩人が睦じく食事をしてゐますと、遠くからだん〳〵と騷々しい人聲が聞えてきます、何だらうとお花ちやんが耳を澄すと、人聲足音はだん〳〵と近附いて、宅の前迄來たと思ふと、どや〳〵と大勢の人間が宅の中へ飛び込んで來ました。眞先の人間は吉田さんです、吉田さんの眼は血走つてゐます、息を喘ませてゐます、其聲は怒鳴るやうに荒々しく、

『さあ野村組長、とう〳〵君の力を借りなきやならなくなつた。おいみんなお願ひしろ』と後の人達を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

顧ると、數十人の人達はみんなペコ〳〵と頭を下げます。野村組長とは次郎さんの事です。花ちやんは恐くも又何の事だらうと思つて夫の顏色を覗ふと次郎さんは平氣なもので、にこ〳〵笑ひながら、

『それでは什麼してもやつゝけるか、それも面白いだらう、で、什麼云ふ風にするつもりだ。』

『什麼するも斯樣するもありやしない、工場長の野郎が惡いんだから野郎とつゝかまへて殺して仕舞ふんだ。』と吉田さんが怒鳴ると、みんなも其後についてて、口々に叫びます。

『左樣とも左樣とも、野郎の宅を叩壞して仕舞へ。』

『宅へ火をつけろ。』

『やつゝけろ、やつゝけろ。』

『もつともだ。』と、次郎さんはみんなの叫喚が終つてから靜かに云ひました。

『もつともだ。皆樣の左樣怒るのはもつともだ、工場の衞生の設備が惡いので皆樣が病氣になつたり怪我をしたり、工場を休まねばならなかつたり、さんざん苦しめられるのだから、皆樣のお怒りになるのはそれは全〳〵もつともだ。然し』と次郎さんは言葉を改めて、

『然し今度の事はよく〳〵愼密に考へてから事をせねばなりますまいと思ひます。やり方が拙いと皆樣始め工場も役員も總てが飛んでもない目に逢はねばならないのだから、工場を打壞したら工場も困るが其次に困るのは皆樣自身ですからね、で、全體皆さんは何の爲めに今度の此騷ぎをするのですか、それをはつきりと云つて下さい。』

『工場長をやつゝけるんだい。』と氣早の若い男が叫びました。

『打壞しよ。』と續いて、何人かゞ怒鳴りました。

『だからね、』と次郎さんは手をあげて、みんなのが、や〳〵云ふのを止めて、

『だから打壞しをやつたり工場長をやつゝけるのは何の爲めにするのかと聞いて居るのです。工場長をやつゝける爲めにやつゝけるのでなくて、何か目的

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

があつて、何かして貰ひたい事があつて、其目的を貰ぬかう爲めにつまり打壊しをやつたり工場長をやつゝけたりするんでせう。』

『それあ左樣さ』と吉田さんはうなづいて、

『何の理由もなくて同じい人間の工場長を打殺さうてんぢやないんだ、よく〳〵勘忍ならねえ事があるから野郎打殺さなきあ此腹の蟲が承知しねえや』

と怒鳴ると、

『左樣だ、左樣だ、』とみんなは口々に騒ぎます。

『で、其目的と云ふのは何です。』と次郎さんは靜かに聞きます。

『其目的と云ふは、』と吉田さんは少しまごついたが

『其目的つて奴はよ、工場の中をもう少し風通しをよくして、それから廣くして貰ひていや、それから煙なんかゝ工場のなかをまごつかねえやうに、とつとゝ追ひ出して貰ふやうにして貰ひてえや、それからよ、役人の奴等の口のきゝやうが癪に觸らあな、此奴も什麽かして貰ひてえ。』

『傳手に工場長の面も什麽かして貰ひたい、彼奴の面を見るに俺あ鎚でも投げつけたくならあ』

と誰だか云ふと、みんなは哄乎と笑ひました。

『つまりね、』と一人の男が進み出で、

『つまり俺等は工場が良くない爲めに身體を壞して仕舞ふし、第一面白く仕事が出來ないんだ。』

『成る程。』と次郎さんはうなづいて、

『面白く仕事が出來ないから面白く仕事の出來るやうにして貰ひたいといふのだね、工場の設備が惡くつて身體を壞すから身體の壞れないやうにして貰ひたいと云ふんだね、身體を丈夫にして、面白く一生懸命働いて見たいと云ふのだね、もつともの話だ。それに職工が身體が丈夫で面白く働くと云ふ事は、つまり仕事が早く良い品物が出來る事になるのだ、故にだ皆さんの要求は工場の爲めにもなる事だ、私も大贊成だから、及ばずながら出來るだけ骨を折つて見ませう。』

『有難い』と吉田さんが喜ぶ。みんなは顔を見合せ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て、笑ひ合ひました。

『では斯様しませう。』と次郎さんは少し考へて、

『明日私ともう一人此なかゝら御苦勞様でも出て貰つて、兩人で皆様の代表者としまして、工場長に御面會を願ひ、親しく意見のある所を申し述べて工場の衛生其他について皆様の御滿足になる事を取り計らひませう。日本にも、いよ〳〵工場法が出來ますから工場長も私等の意見は大部分聞いて下さるでせう尤も、工場法が施行されてからならば法律の力で工場の設備は改善されるでありませうが法律の力に依つて工場の設備を改善すると云ふ事よりも、工場自身の立場から自分の工場をよくすると云ふ事は善い事です、で、皆様は今晩は此儘お歸りになつて明日もいつものやうに工場へ御出勤を願ひます。そして、いつもの通り、或はいつもよりも以上にお働きを願いたいと思ひます、左様すると私等が代表者として工場長へ話すにも大變話しよいと思ひます、』

『へえ——。』と人達は窃に顔を見合せました。暫時經つてから。誰かゞ呟くやうに、『ぢや打壊しは止めですか。』と云ふと其後について初めは小聲で、だんだん聲を高めて人達はがなりだしました。

『そんなまぬるい事で工場長がうむと云ふもんか。』

『べらぼうめ工場長のしやつ面が癪に觸るんだい。』

『打壊せ、打壊せ。』

『ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ』

『？ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。』

『まあ默つて下さい。』と次郎さんは手をあげてみんなを止めて、

『甚だ恐れ入りますが暫時靜かに私の意見を聞いて下さい。』とみんなの顔を見廻し、

『全體皆様は工場の内が風通しのよくなるやうに、煙なんかゞ工場内にまご〳〵してゐない事を望まれるのであつて、人間同志が喧嘩をしたい爲めではないのでせう。それならば靜かに穩かにおやりになつた方が自分達の目的が貫せるわけぢやありますまい

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

か、打壊しはいつでも出來ます、打壊しは最後の手段です、打壊しは惡い事です……。』

『何云つてゐやがるんだい、べらぼうめ』と大勢の人達のなかゝら顏の黑いた、めつかちの四十位の男が呶鳴りました。

『此奴は工場の廻し者だ。』と次郎さんを罵つて、

『組長なんかにア打壊しは出來ねえやな、みんなの爲めよりも自分の身が可愛いゝだらうよ、ヘン賴まねえや。』

『左樣だ左樣だ』と血氣に喘つた若い人達が叫びます。

『俺等は食へるか食へねえかの境だい、組長をして工場から困らねえやうにして貰つてゐる人間だア違ふんだ。俺等は貧乏人だ。』と獅子の頭をした男は怒鳴り續けます。

『左樣だ、左樣だ。』と若い人達は相槌を打ちます。

『さあ俺が眞先になつて打壊をして見せらあ、みんなついて來い。』と云つて獅子の男は飛び出しました

『やれ〳〵、やれ〳〵。』と叫びながら、人達は續いて走り去りました、什麼しやうかと考へてゐた人達もみんなが次第と行くものだから、それにつり込まれて一人行き兩人行き遂にみんな飛び出して仕舞ひました。次郎さんは默つて、凝乎と腕を拱て天井を睨んでゐます、花ちやんは什麼なるかと思つて氣が氣でありません。

『ねえあなた、ねえ。』と頻りと次郎さんに縋るやうに話しかけますが、次郎さんは眉氣一本動かさずにいつ迄も默つてゐます。花ちやんは女氣のとゝ〳〵堪まらずに次郎さんの膝に縋つて、

『ねえあなた、』と云つたはづみにホロリと涙を次郎さんの手の上へ落しました。

『暴風雨が來たのだよ。』と次郎さんは呟くやうに云ひました。昨晩の言葉を花ちやんは電光のやうに思ひ出しました。（暴風雨が來ても泣いてはいけないよ）と次郎さんの云つた言葉を思出しました。とう〳〵暴風雨が來たのだ、とう〳〵暴風雨が來たのだ。

三五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

遠くで人達の叫び怒鳴る聲が聞えます。次郎さんは瞿然と立上つて、ものをも云はずに軒口の自轉車にひらりと飛び乘ると、矢のやうに走り出しました、お花ちやんは不意をくらつて、暫時ぽかんとしましたが、屹度覺悟をきめますと、次郎さんの後から矢庭に驅け出しました打壞をしやうとする人達の荒々しい叫び聲が聞えます、荒々しい人達の打壞のなかへ飛び込んで行つた次郎さん夫婦の運命は什麼なる事でございませう。

五

夜になつて眞黑の闇が此世の中を包んで仕舞ひます。

眞黑な夜の底に眞赤な火が燃えてゐます。眞赤の火のあたりから一人の人間が飛び出しますと、其後から大勢の人間が追ひかけました、逃げる人間は暗い溝の傍の路だの明るい商賣屋の前だのを力限り逃げ廻りましたが薄暗い工場のなかへ迄追つて來た大勢の人間にとり圍まれました。其處へ又一人の男が飛んで來て、逃げた人間を後へ隱して屹乎追つかけて來た人達を睨みました薄暗い光でも其男らしい姿が次郎さんであることを知られました。逃げ廻つた人間は工場長です、追つて來た人達は職工等です。職工等は口々に怒鳴りま

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

『おゝ野村組長、邪魔しちや駄目だ。』
『邪魔する奴は打殺せっ。』
『疊んで仕舞へ、擲りつけろ。』
然し誰でも次郎さんに近づくものがありませんでした、次郎さんの顔には奥底の知れない深い決死の覺悟が現れてゐるのです、暫時經つと又別の職工等が飛び込んで來ました。
『什麼した什麼した。』
『やれ〳〵。』
とう〳〵無茶苦茶の喧嘩が初まりました、擲る蹴る怒鳴る。次郎さんは力限り工場長を助けたけれども、兩人の間は職工等の爲めにだん〳〵遠ざけられて、工場長は踏んだり蹴たり、ひどい目に逢つてゐます。此時、絹を割くやうな女の聲で
『大變です大變です、お巡査さんが來ました。』と叫んだものがあります、お巡査さんと聞くと職工等ははつと思つてばら〳〵と逃げ出しました。
次郎さんがやつと工場長を見出した時には、工場長は工場の煉瓦の壁際に倒れてうん〳〵唸つてゐました。
『しつかりなさい、しつかりなさい』と次郎さんが抱き起すと、工場長は眼を開いて次郎さんを見て、
『水、水』と云ひます。
水が無いかしらと次郎さんは思つて、あたりを見廻しますと、丁度一人の人が水を持つて來ました、見ると花ちやんです、工場長は水を飲み終ると、
『巡査は？』つて聞きます。
『お巡査さんはお出になりません』と花ちやんが答ひますと。
『今誰かゞお巡査さんが來たつて云つたやうだが。』と不思議がつて次郎さんも聞きました。
『えゝそれは私が云つたんですは、實は嘘なんですけれど、策略を用ゐたんですわ』
『左樣か其奴は大出來だつた。』と次郎さんは花ちやんを賞めて、工場長に、
『巡査は來てはゐませんが私がお供してゐますか

三七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ら大丈夫です、什麼です、痛みますか。』

『有難ふ、そんなでもないやうだ。』と工場長はだん、だん正氣づいて。

『ひどいめに逢はせやがつた、此返報はきつとしてやる。』と怒つてゐます。

『返報とは何をなさるつもりですか。』

『警察へ云つて奴等を牢屋へぶちこんでやらねばならん。』

『工場長殿』と、此時次郎さんは悲痛の言葉で叫びました。

『工場長殿、甚麼か彼等の罪をゆるしてやつて下さい、お怒りになるのは重々御もつともでありますが彼等は何にも知らないのです、自分のする事が善か惡かよくわからないのです、彼等は罪のない人間です、たゞ工場の中があまり暑いので、其暑さの爲めに彼等の頭が亂暴になつたのです、彼等は惡い、けれども彼等の頭をそんな風にした暑い工場の熱が一番惡いのです、熱の爲めに頭が狂つて亂暴した人間を牢屋の中へ打込む法律があつたならば、人間の頭をそんなに狂はせた、暑い工場の熱をふんじばつて牢屋の中へ打込んだ方がいゝ、彼等には私からもよく云ひますから什麼か今度の事は穏かにすまして戴きたいと思ひます。』と熱心が顔に現はして云ひますので。『ふむ』と工場長は其熱心にうたれてゐましたが、『左樣ですか、外の人の云ふ事なら勘辨出來ないのだが私を助けた君がそんなに迄云ふのだから、萬事は君にお任せする事にする。』と云ひました。

『有難うございます。』と次郎さんは躍り上つて喜びました、夫が喜ぶので花ちやんもほつと吐息を洩して喜びました。工場長の頭から血がたら〳〵と流れてゐます。花ちやんは靜かに優しく其手當をしてゐます。騷ぎはすつかり鎮つたらしく、四邊はひつそりとしてゐます。

六

自分の目的を果す爲めには他人を打つたり擲つた

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

りしてはとても駄目であります。自分の目的を果す爲めには自分のする事をしつかりとしてゐて、そして道理のある事を說いて、正しい曲らないお願ひをしたならば、其願ひと云ふものはきつと貫されますたとひ一時其願ひは何かの都合の爲め貫らない事がありましても、遂には必ず果たされるものであります、たとひ自分の云ひ分がよくつても、それを貫そうとしてのやり方が間違つてゐましたら、他人も自分も飛んでもない目に逢はねばなりません、職工さんたちの希望は正しい事でありましたが、それを達する爲めの方法が間違つてゐましたので、危く牢屋のなかへ打込まれる所でありましたが、次郎さんの熱心な取り計らひで穩かにすみました。

或る晩、次郎さんは大勢の職工さんに集まつて貰つて、眞實の職工の生活をする事について相談しました、そして、眞實の職工の生活をするには、職工が世の中に對して、いろ〳〵と、爲て貰ひたい事があるもう少し人間らしい生活の出來るやうに金も貰ひたい、今迄のやうに馬鹿にされてもゐたくない、然し其前に職工自身が先づ人間らしい人間にならねばならない、くだらない、遊びや大酒を飲む事なぞは止めねばならん、左樣して眞面目に仕事をしやう、左樣したならば自然

三九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と金もとれるやうになる、世の中からも馬鹿にされないやうになる、だから先づ第一には職工自らが良い人間にならう、今晩集まつただけの職工は言ひ合せて、助けつ助けられつ、良い職工にならうと相談をしました。

其職工さん達の歸つたは十時過ぎでした。月の美しい夜で、夢のやうの光が此世の中を美しいものにしてゐました、ほろ〳〵と何處やらかから蟲の鳴く音が聞えてゐます。次郎さんは縁側に出て、小さな庭ながらいろ〳〵の花の咲いてゐるのを見るとも無しに見ながら、永い間默つてゐました。夫が默つてゐるので花ちやんもいつ迄も默つてゐます、川波が可愛い聲でちよろ〳〵と唄つてゐるのが聞えます。

『お花、私は今晩お前に折入つてお願ひがある。』と突然次郎さんはしかつめらしい聲で云ひました。

『えゝ、』と花ちやんは吃驚しまして、凝乎夫の顏見ますと、次郎さんはやゝ云ひためらつたが、

『思ひ切つて云ふがね、お前は私と當分別れて貰ひたい。』

『えゝッ』と花ちやんは全く吃驚して仕舞ひました。

『さあ〳〵左樣驚くのはもつともだが、什麼しても分かれねばなるまいと思ふ。』と次郎さんはきつと云ひ放ちます。

『それは何故でございます』花ちやんは涙くんで、

『妾、何もそんな惡い事をした覺えはありませんが惡い所があつたら、どこが惡い此處が惡いとはつきりと云つて戴きとうございます、妾氣がつきませんから、お氣に入らない所もたくさんありませうが、……』

『いや、そんな事ではない、お前に惡い所なんかあるわけぢやさら〳〵無い。』

『えゝ、それぢや又何故であります、あんまりであります、あんまりであります。』とわつと泣き出しました。

『さあ其恨みはもつともだが、私の云ふ事をねようく聞いて呉れ。』と次郎さんの聲もどこやらに涙を含

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

んでゐます。

『私はねお前によく御禮を云はねばならない、今迄口に出してはあまり云はなかつたが、心のうちでは絶えずお禮を云つてゐた、私はね、弱いつまらない男であつたのだ、それが兎に角職工組長になつてそしてさまざまの事がわかつて來て、しつかりと強い人間らしい心を持つやうになつたのはみんなお前の爲めだ、而して兩人はお互に深い愛情を持ち合つて樂しい月日を送つてゐたのだが、今度の此騒動で私はすつかり考へさせられて仕舞つた。世の中にはね苦しい辛い生活をしてゐる人はいくらもあるのだ。其苦しい辛い生活からさまざまの惡い事が出來て來るのだ、私は自分等だけ樂しい生活をしてゐても、大勢の人の苦しむさまを默つて見てはゐられなくなつた、自分はどんな苦しい目に逢つても、自分は、』

『それには什麼なさるのでありますか。』

『私は自分だけの貧乏は退治した、之れからは世の中の貧乏を退治しなければならないのだ。』

『それで什麼して私と分れねばならないのでございませう。』

『ふむ。』と次郎さんは唸つたが、

『世の中の貧乏を退治すると云ふ事は仇や愚かの事ではないのだからね、私の生活をすつかり替へなければならない、今迄は自分等の爲めに活きてゐたのだが、之れからは他人の爲めに活きてゐなければならない。他人の爲めに活きると云ふ事はどんな苦しい事でもしなくばならない事もあらうし、三度食べる食事を二度に減らさねばならない事もある。』

『私にそれが出來ないとでも被仰るのですか。』

『さあ、出來ないとは云ひませんが氣の毒だからなあ、私は私の思つてする事だからどんな辛い事でも忍ばれやうが、其爲めに假令自分の妻にでも迷惑を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

かけたかアないからね。』

『あなた。』と花ちやんは叫んで夫の手をしつかりと握りました、眼に涙が一ぱい充満つてゐます、熱い涙がはら〳〵と次郎さんの手の上へこぼれました。

『あなた、妾はあなたの妻ぢやありませんか、あんまりですあんまりです、私等は諸共に死なうとさへ思つた事があるぢやありませんか、分れるなぞと云はずに私がそんなに頼みがひのない人間だとお思ひだつたならは、何故死んで仕舞へと被仰らないのです。世の中の貧乏退治をする爲めには邪魔な女だと思はれたつて事は私のいたらない事なのだからつゆ恨みはいたしませんが、それならば何故私に死んで仕舞へと被仰らないのです、私あなたに分れて活きてゐるやうの女ぢやありません、私つまらない女ですけれど、あなたの爲めになら今直ぐにでも死んで仕舞ひます。』

『わかつた。私が惡るかつた。』と次郎さんはさめざめと泣き沈む花ちやんの肩に手を當てゝ。

『私がお前を疑つたのは惡るかつた。左樣だ他人行儀らしい、兩人は一人だつた筈だのに。それを別々のやうに考へて、私がやらうとする事をお前にやらせるのは氣の毒だと思つたのは惡るかつた所は謝罪るが、改めて私がお前に頼む、私等はね、此世の中の苦しんでゐる人達の爲めに自分の幸福を無くしても、貧乏退治をやらうぢやないか自分達の爲めに大勢の人の爲めに活きてゐようぢやないか。』

『えゝ嬉しうございますは、』と花ちやんは涙で濡れた眼でしげ〳〵と夫の顔を見上げます。

『ぢや私の云ふ事を聞いて呉れる。』

『私嬉しうございますわ。』と又繰り返して花ちやんは涙の眼でにつこり笑ひました。

『おゝ有難い。』と次郎さんは力強い聲で叫びました。

ころ〳〵と蟲が鳴いてゐます、庭面を月が美しく照してゐます。貧乏退治！

次郎さん夫婦はどんな事をするつもりでせう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

お嬢さんと女工さん

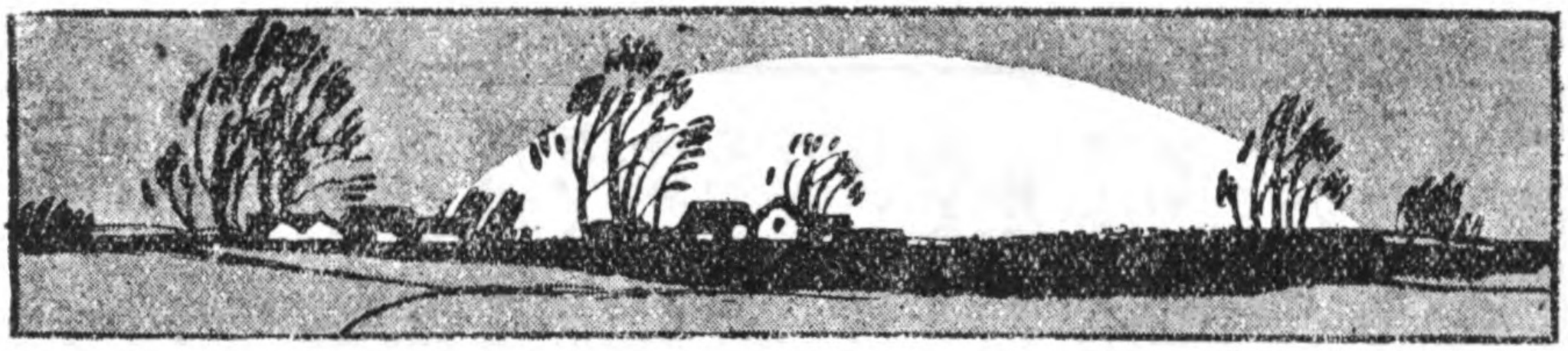
或る日電車に乗りますと、直ぐ私の前に袴をはいてお下げに結た可愛らしい十四五のお嬢さんが頬りと美しい少女雑誌を讀み耽つてゐました。此世の中の知識が氣持よく此お嬢様の頭の中へ沁み込んでゆくらしく、時々は微笑みながら、さも〳〵面白相に顔色をはれ〴〵とさせてゐました、直ぐお隣りにゐた外家の小母さんらしい人が、ほれ〳〵と此可愛らしいお嬢さんの顔を見てゐます。

其同じ電車のなかに一人の矢張十四五の女工さんらしい人が乘つてゐます。此女工さんは可哀相にお嬢さんのやうに本なんか讀んでゐませんでした、ぼんやりとして顔色も曇つてゐましたから、多分工場の仕事が辛いなんぞと考へてゐたのではありますまいかと思はれました。

大勢乘つてゐた人達は誰も此女工さんに眼をつける人はありません。

私は常々こんな事は見倦きる程見てゐるのではありますが、此女工さんの爲めに思はず泣かずにはゐられませんのです。同じ人間に生れて來て、同じ年頃の同じ若い娘さんでありながら、一人は學校へ行かれる境遇に置かれた爲め、一人は工場へ行かねばならない爲め、同じ電車に乘り合しても、其氣持はまるが違つてゐるお嬢さんはそれだけ悧巧になりますが、何にも讀まないで女工さんはいつ迄經つても知識を得られませんが、どうかこんな女工さんたちにもせめて本だけでも面白く讀ませたいものです、私等は其爲めに働いてゐるのでありますが、世間の情深い人達も甚麼か女工さんたちが喜んで本を讀めるやうに取計らつて貰ひたいものです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



初秋の歌

坂本正雄

なつかしきおん母ぎみの姿とぞおもひながむる庭の白萩

白菊の花の一輪いちりんに天地のまことこもるなりけり

夕ざれば庭の老木にかなかなと蜩なきて人の戀しき

かなかなと又かなかなと蜩の聲する庭にかなしみ漂ふ

ふるさとの妹背ケ橋を草負ひてわたる子おもふ蜩きけば

初秋の朝に霧の立ちこめし富士を見るこそ神秘なりけれ

駿河なる松原行けば高空にほゝえみて立つ富士も見られる

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大阪落城

稲葉あい子

『おゝ綺麗だ。』

『綺麗よりも嚴しいわい。』此有

『應、大阪の如何な豪傑もであ

様を見たら見事膽をつぶすらうがよ。』

『お主、大阪方から何奴が來る

と思やる』

『晴の場所、大事の使節である

程に、全身皆智略と云はれた眞

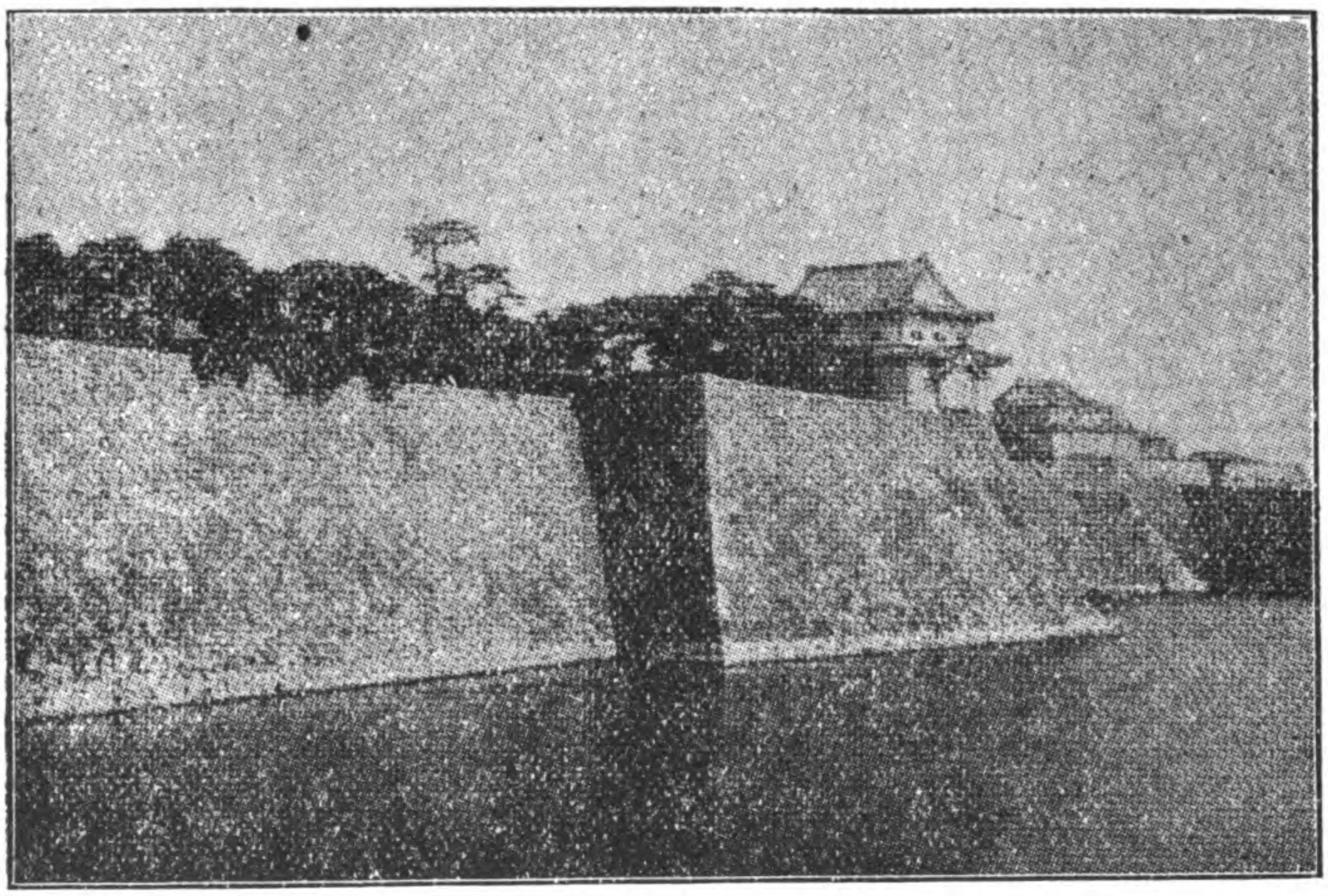
田幸村か。』

『但しは又千疋の虎を張り殺す

と云ふ後藤又兵衛基次か』

『何しろ一騎當千の兵士どもを

引き連れて來るであらうがよ。』



『それとも千萬人の軍卒に堅固さ

れてか。』

『ほ――面白いは、早う來たがい

いわい。』と侍共は口々に騒いで

ゐます。侍共の眼路の限り、劍

やら鎗やら長刀やら、鎧冑などが

星のやうに又花のやうに、銀色の

冬の日の光に輝いてゐます、慶

長十九年十二月二十一日の事です

大阪城を守つて居た豐臣秀頼と、

それを攻めてゐた德川家康との間

に和睦がなつて、昨日は家康の方

から板倉重昌阿部正次と呼ぶ兩人

の強い侍大將が秀頼方の城に入

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

つて、戰爭を止すと云ふ誓書をとつて來た。今日は豐臣方が德川方へ來て、誓書を持つて行く日なのです。どんな豪傑が來るかは知れぬが、關東方の威勢を見せてやれと、陣所々々へ下知をして、大威張りに威張つて居るのです。

『應。來た來た。』

『待て、お主間違えであらうかよ、一騎、二騎、三騎、十騎に足らぬ小勢だは。』

侍等が不思議に思つて、鎧の袖翳してよく〳〵見れば、いかさま城方から馬を揃へて驅け來るは千騎ではない、百騎でも無い、五十騎でもない、鬼と呼ばれた後藤又兵衞基次でもない。茶臼山の御陣所間近へ來て、ひらりと馬から飛び下りたは、僅かの家來を從へた、二十歳ばかりの花恥しい美少年であります。

『應、あれこそは木村常陸介の一子長門守重成だは。』

『ふむ。』と一人の髭武士は唸つて、

『天晴膽太の若武者よ。』

長門守重成は鎗長刀に圍れた敵の大軍のなかをもおめずおくせずしづ〳〵と打通つた。玄關から奥は德川家康の勇士の面々、大阪方の使者は如何なる豪傑ぞと數百數千の燃えるやうの眼光で睨みつくるを冷やかに見やつて一禮もせず、重成はたゞしづ〳〵と歩み通つた。板倉重昌は重成を家康公の遙かの下座で禮をさせようとしましたが、重成は聞かぬふりして家康公の間近くぴたりと着座すると、靜かに秀頼公の御口上を申し述べた。並み居る關東の大名等はひたッと呆れ果てゝ何と云ふ大膽にも又失禮の男であらうと思つた。それも其筈です、重成はもうすつかり決死の覺悟でゐるのです、隙があつたら家康の狸老爺め、一太刀にやつゝけてやらうと思つたから、落着いてゐても眼が恐ろしく血走つてゐます。流石は家康、早くも其顏色を見てとつて、うんと下ッ腹に力を入れました。それを又見てとつた長門守此奴は駄目だわいと思ふと、する〳〵と辷るやうに座を下つて、兩手をつかへ首を垂れて、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

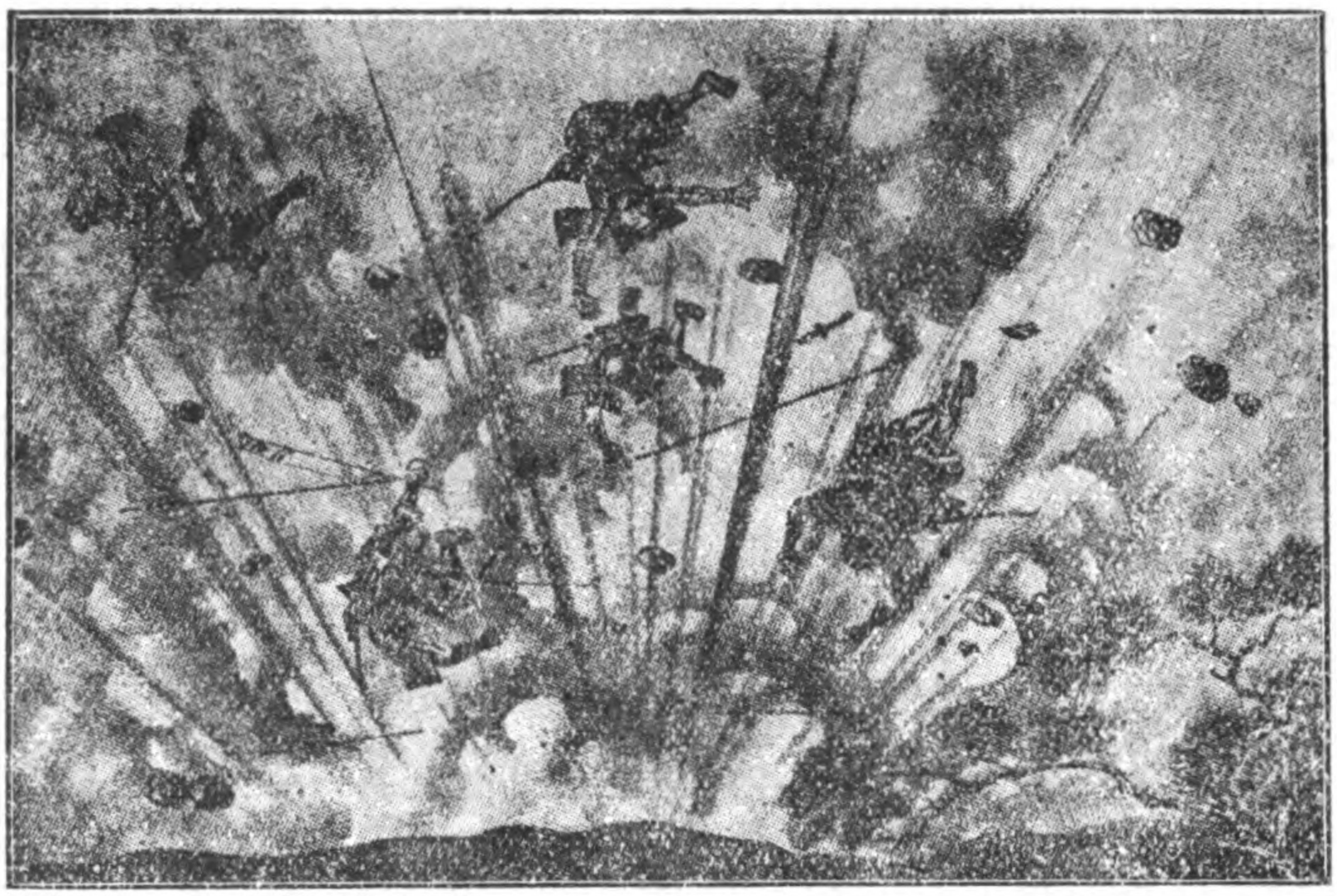
『大御所にはいつも御壯健、重成恐悅に存じまする』と申し上げた。何の恐悅の者か自分が今殺しに來たのぢやありませんか。家康公は又に、こりと笑つて、

『ほう常陸介の倅、勇ましい成人したのう、家康滿足に思ふ。』と被仰つた。何が滿足なものか、兩人はごまかしつこをしてゐるのです。

やがて家康公は誓書に血判を爲さうとして、中指をおさうとして、中指を嚙みになつたが、お年を召してゐるので血が思ふやうに出ませんでした。

『ほう年をとつて血が薄くなつてのう』と家康公は重成に血が薄くも許して呉れと云ふやうに謎をおかけますけれども重成は先刻のやうに聾のまねをしてゐます。家康公は重ねて被仰るので、並居る諸將は氣が氣でありませんが、重成は相變らずの聾です。隨分便利の聾もあつた者です。仕方がありませんのでで家康公はとうとう痛さを堪へて、舌の先を嚙み切られて其血で血判をしました。重成は其誓書を押し戴くと、すると御座所を辷り退りました。諸將は其有樣に怒りもし呆れもしましたが、家康公は御自分の舌の痛みも忘れて重成を見送り給ひ、

『あゝ見上げた若者である』と敵の若武者をお賞めになつた。大阪一の美男子と呼ばれた重成は又大切な場所に使して使命を辱しめなかつた偉丈夫であつたのであります。



大阪より方の關東名將方眞地田雷幸火村にのかい奇計る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

併し徳川家康公と呼ぶお老爺さんはなか〳〵づるいお老爺さんです、秀頼公と和睦をしたのは、實は大阪城が什麼しても攻め落せないので、和睦したやうに見せかけて、大阪城の外廓を毀ちお濠を塡めてから後に、〳〵、〳〵、らく〳〵と秀頼公を攻め亡さうと云ふ謀計だつたのであります。ですから本多正純と呼ぶ家來に密に命じて、秀頼公と約束した大阪城の外廓を毀ち外濠を塡めて仕舞ひますと、約束をしない内濠迄塡めやうとしました。之れを見た大阪方は驚いて仕舞ひました。さあ大變だとあつて秀頼公の母君亡くなられた秀吉公のお妾の淀君に申上げると、之れを聞いた淀君、青くなつたり赤くなつたりしまして早速御傍にゐたお玉と呼ぶ侍女を本多正純の許へやつて其事を止めさせやうとしました。

お玉は木村長門守の母君です、年歳こそやゝとりましたが、重成の母の事とて、なか〳〵の美人であります。大急ぎで正純の許へ駕籠を急がせますと、正純は待つていもゐたやうに、お玉をちやほやおもてなしをし、御馳走をしました。

『大變御苦勞樣でござつたが、あゝおん許は世にも珍しい美人でござる。』とさもはれ〳〵とお玉の顔を見てゐます。お玉は賞められたので女氣の嬉し相に〳〵ぽつとしまして、やゝ經つて、後大切の使命に氣がついて、それを正純に話した時にはもう内濠もさんざん塡められて仕舞つて、昔の俤はなかつたのでられて圖に乘る女のあります。眞に愼む可きは賞め淺墓の心であります、お玉の此淺墓の心から、〳〵、とう家康の計略通り關東と大阪とは、又和睦が破れ忽ち戰爭を初めたのでありますが、外廓も毀され外濠も内濠も塡められた、大阪方は何で守りきれませう。〳〵、とう〳〵慶長二十年の夏大阪城は落城しまして、淀君も秀頼も使命を全うした長門守も、使命をやり損じたお玉も、焔々と燃える火焔の中で自害をしたのであります。

＊　＊　＊　＊　＊

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

氣の毒な私娼達

秋野　もと子

撲滅は當人のため世のため

新聞などで大分やかましく騒ぎ立てゝ居ります私娼を廢めさせるといふことも、仕はじめてからもう小半年になります。東京で彼等の最も澤山居るところは千束町、神明、郡代などでありますがその中でも千束町が一番多く、昨年あたりは二千名も居りました、女として最も恥しい商賣をしてゐる此等の婦人を救つて眞人間にして遣りたい、又、こんな人達に商賣をさせて居ると、世の中は益々惡い風儀になつて仕舞ふ、出來るだけ商賣を廢めさせる事につとめなければならぬといふので淺草の象潟署では今一生懸命になつて居ります。

警察の骨折り

私はまづ私娼を殖さぬ方法として、之から新しく銘酒屋を開かうとする者、其處に奉公をしようといふ婦人を許さない、現に商賣して居る女でも廢めたいといふならば、警察から女の故郷に通知して、親達に引渡し、二度とこんな恥しい場所に落ちこんで來ないやうに説諭もし、又親達に監督させる事にして居ります、まだ居殘つて居る者は毎日一人々々警

四九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

察に呼び出して、今ある場遇のどんなに恐ろしいところであるか、又いつ迄もぐづ〳〵してゐると、どんなに酷いはめに陥るか知れない、年も若く、身も丈夫な内に廢めて正しい道に歸らなければいけないと諭し聞かせて居ります、しみ〴〵とさとされて漸く心の目が覺めた者、病氣で苦しさのあまり眞人間らしい心が湧いた者、左樣いふ人達は今迄に凡そ四百三十餘名、何れも商賣をやめて國に歸つたり他に堅氣の奉公に出たりして居ります。

羞恥も何も忘れて仕舞ふ

女として墮ち沈まれるだけ沈んで仕舞つた彼等程氣の毒なものがありませうか、最初は泣きもしませう、悶えもしませう。自暴酒をあをつては、自分の身の上をのろひ他人を嘲けり、身も心も置き場所に困り、一心焦れ狂つて居るうちは、まづ〳〵いくらか人間らしい心が殘つて居るのですが、嵐の後の靜けさのやう、泣きもせず笑ひもしないやうになつたらお仕舞ひであります。慾も德もなく。おいしいものでも食べて、その日〳〵身一つが生きて行かれゝばよいといふやうになります。恥辱と罪と惡のなかにもまれぬいた彼等の頭には、人前だの恥羞だのといふものは全くありません。署長の前に呼び出されて懇々と說諭されて居るとき、普通の人間ならば堪へられぬ恥しさに身もちゞまつて仕舞ふ所を、最初二三分間は殊勝らしく頭を下て聞いて居ても、だん〳〵飽きて來て、足を出して見たり、身を搖すつて見たり、丸で幼稚園の生徒が、窮窟な敎場で先生の長談義に飽いたと同じやう、流石の署長も驚いて「十分や二十分のつゝしみが出來なくなつたとは情ないではないか」と嘆息する事があるさうです。

なぜ東京近在の者が多いか

彼等の故郷を調べて見まずと、東京が一番多い、それから千葉、埼玉、神奈川、茨城といふ順、あと

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は全國に亙つて少しづゝ來て居ります。なぜ東京近邊の人が多いでせうか、之は一つは生活の困難から來て居るのであります。ずつと田舍であると金は無くても田や畑があつて食べるだけのものは充分にとれます、東京近在ではさう安樂に構へて居る事は出來ません、金が要る場合にも融通がきかないのであります、仕方が無いから娘を東京にでも遣つて一稼ぎ稼がさうといふ事になります、娘の方も、都會の人の華やかな生活振を聞いたり時々見せられたりして居るので、自分も東京に行きたいといふ考へがひそんで居るので、早速承知して出て來るのです。又、極く、田舍の人は道義の觀念が強うございますが東京近邊の人は割合に恥知らずが多く、金にさへなればといふあさましい考へから惡い場所と知りながら、大事の娘を出して寄こすのがあります。

どんな教育と境遇を經たか

少しでも教育を受けた人間なら、あんな商賣はしますまいものを、一體あの人達はどの位の教育を受けて居るかと調べて見ると、全くの無學が四百九名尋常小學にも行つて片假名綴りながら手紙位書ける者が五百七十餘名、高等小學に居た者が百五十餘名高等女學校に居た者が四名、あとは簿記や電話事務所に居た者達であります。

私娼になる前にはどんな仕事をして居たでせうか酌婦あがりなどがさぞや多いでせうと普通の人は考へられませうが、實際は豫想外で、自分の家に居て家事の手傳へをしてゐた者が六百二十五名、女中が三百四十九名、女工が六十八名、酌婦が六十二名、新聞縱覽所が十五名、看護婦が五名、あとはいろいろな方面から來て居ります。

兩親のある者が一番多い

又、こんな所に流れ込んで來る程だから、家も餘程面白くないであらう、繼親か、養父母か、何れに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

してもあたゝかい愛情に浴する事が出來ない家であらうとは、誰しも想像いたしませう、けれども之は大層な間違ひで、兩親の揃つて居るものが千百十九名、繼親が六十四名、養父母が二十四名、あとは親戚か他人に養はれた者でございます。誰でもわが子の可愛くない人はありますまい、それだのにかうして親ある者が不幸な目に會つて居るところを見ると可愛には可愛くても、眞個に子の爲に計つてゐる親の少い事を思はせられます。

人賴みと怠惰から墮落

それから、又、どうして千束町などに來るやうになつたのでせうか、一番多いのは、銘酒屋の主人と知り合ひなので、行けば滿更見ず知らずのやうな事はしまい、必ず親切にそしてお金をもうけさせて呉れるでせうといふ考へから來たのが二百七十名、汗水流して働く事が嫌ひて、綺麗な着物を來て、おいしい物を食べて、面白く暮したいと思つて來たのが百十九名、口入屋にだまされたのが五十五名、嫁に行く支度をこしらへるつもりで來たのが二十一名、このほかに晝間何處かの學校に通學させてもらう約束で來たといふ世間知らずの者もあります。

魔窟に來ぬ前に氣をつけよ

一度此の社會に身を墮しますと、泥の中に足を突込んだと同樣に、なか〳〵以前の清い世にぬけ出る事が出來ないのであります、惡い病に苦しんでゐる事は公娼よりひどいもので、病氣なしの女は殆んど一人もないと申してよい位でございませう。よしや堅氣になる積りで世の中に出ても、ありつたけの氣儘氣隨にもち崩した身には、窮屈でたまらない苦しい思ひをして僅かのお金をとるよりは、獸と笑はれても譏られてもよいから前の古巣に歸りませうといふ氣を起す樣になるのであります。墮ちたが最後、まづ浮ばれないと思はなければなりません。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

富士紡績會社程ヶ谷工場

女工さんの生活

友愛婦人記者　平澤計七

『なる程此仕事は女でなければ出來ない仕事である。』と女工さん達の手品師のやうな巧な手先の早技を見てしみ〳〵と感じました。

『これは然し西洋の女には出來まい、日本の女でなければ出來ない。』と云ふ事が直ぐに又感じられました。お裁縫を女の表看板にしてゐる日本の婦人は、お母さんのお腹の中にゐる時からもう手先の技の巧いやうに出來てゐるのです。それが成人してから紡績の仕事で磨かれるのですから堪りません、厭でも應でも仕事が巧くなるわけです日本の一番主な工業が女工さんの働いてゐる織維工業であつて、一番主な輸出が矢張生絲や織物であつて、其爲めに外國からお金をどつさり日本が儲けられると云ふ事は、不思議でも何でもありません、けれど日本はまだ〳〵どつさりとお金を儲けて金持の國にならねばなりません、其爲めには御苦勞樣でも女工さん達にまだ、、、うんと勉強して貰ひたいものです。然したゞ勉強しろ、もう、、、ちつと働けと云ふのは無理な注文です。女工さんに働いて貰ひたいならば、女工さん達の待遇をもつとよくせねばなりますまいと思ひます。それでは現在の女工さんはどんな生活やうをしてゐるか、それを知つてそして其の知つた事を世の中にお知らせすると云ふ事が、記者が程ヶ谷の富士紡績工場を訪れました第一の目的で

五三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

あります。

大正五年七月二十六日、雨が煙つて、多くの、そして大きな工場を、濛乎と夢のやうに見せてゐる日です。御親切に工場内を細かに案内且つ説明して下さいました職工係の遠山宗謙さんは、其足で直ぐ食堂を通つて寄宿舎に記者を連れて行つて下さいました。

程ケ谷紡績工場の職工さんは、七月二十五日の調査に依りますと現在數五千八百八人です。その中男工千二百九十九人、通勤女工七百二十一名、寄宿女工三千七百八十八人と云ふ多人數です。

『こんな繰絲工場としては、自慢ではないが、まア世界一でせう。』と遠山さんは御自慢をなさいましたが無理もない事と思ひます。特に面白くも驚いたのは日本全國の人達が集つてゐる事です。宮城、青森新潟、諸縣の人達が最も多數ですが、朝鮮からも三人來てゐます、樺太からも一人來てゐます。

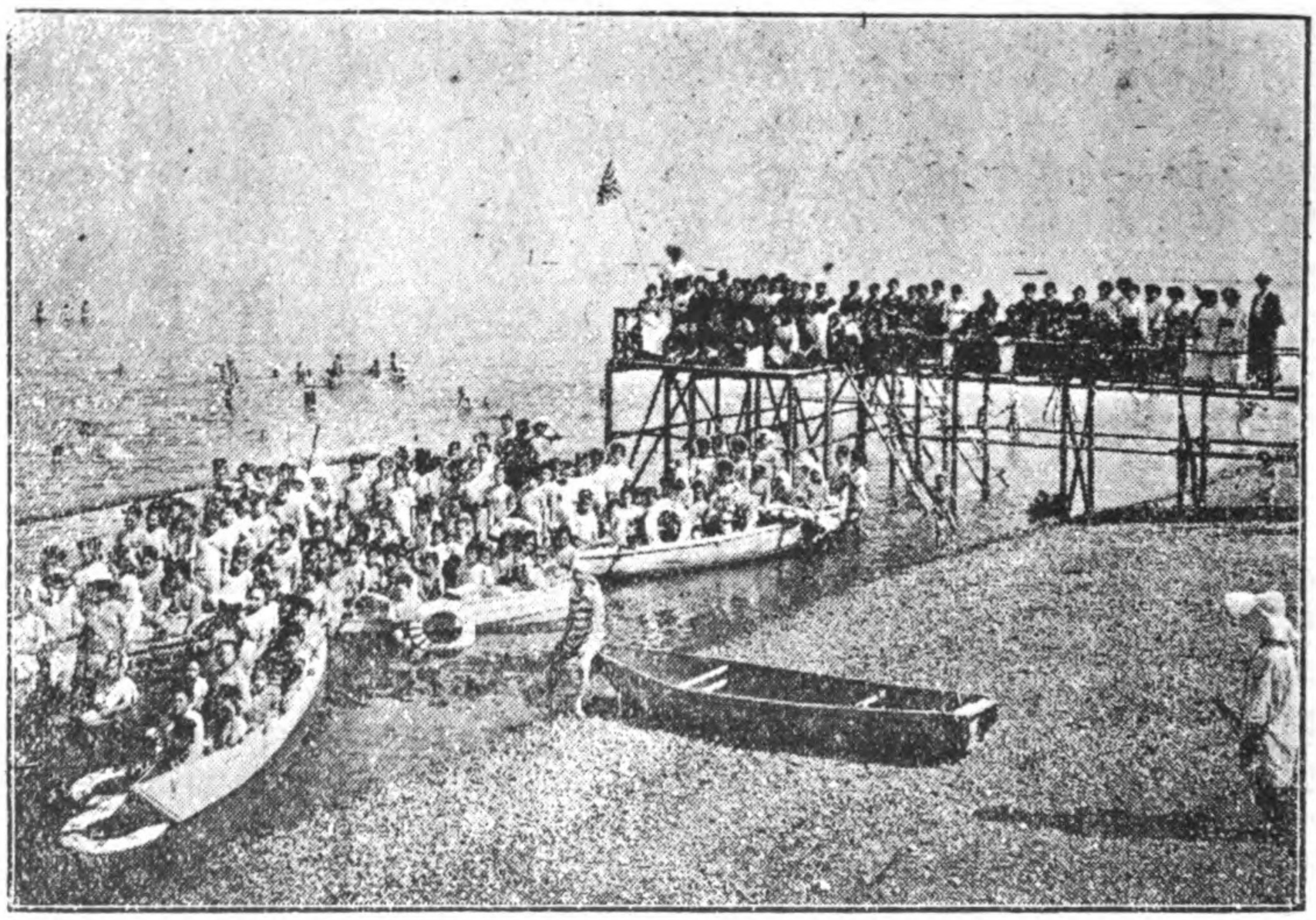
三千七百八十八人と云ふ多人數を收容してゐる寄宿舎は、思つて見るだけでも其大きさが想像出來ませう。然し記者の最も愉快に感じたのは其寄宿舎の大きい事よりも、其設備が次第によくなつてゐると云ふ事實です。最初の寄宿舎の建つたのは明治四十年、工場と共に出來たのでありますが、工場の大きくなるに從つて寄宿舎も建て增して。一番後から出來た舎は西洋風に硝子戸なぞが美しく光つてゐて、中流以上の綺麗な建物です。衛生の設備も略完全に近いと見ました。此建物を見てからは、四十年時代の古ぼけた寄宿舎は厭になりました。願はくは比較的不衛生な古い建物は速かに打壞して、そして新時代に適應した大正式の寄宿舎ばかりを興さかな日の光に輝かして貰ひたいと思ひました。

廣い寄宿舎の眞晝は、ひつそりとして靜かです。試みに部屋の戸をあけて見ますと、二十疊位の室内に十四五人の女工さんがすや〳〵と眠つてゐます。多分故郷の夢でも見たのでせう、一人の女工さんが眠りながら何やら分らない事を云ひました。其有樣

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を凝乎と見まして、記者はいじらしさに胸一杯になりました。浴場は三百人位入れませう、清潔に淨められてあつて、湯が沸々と養えたぎつてゐました。湯殿の直ぐ傍には髪を結ふ部屋がありますに一日の勞働を溫い湯に洗ひ落して、仲よしの友達同志が、數知れずある鏡に向ひながら睦じく髪を結合ふのだな、ねえ其處に並んでゐる鏡諸君、いつでも元氣よくニコ〳〵樂しげに笑つてゐる女工さんの顏ばかり寫してくれ給へ、賴みますよと記者は鏡に向つて懇にお願ひしました。女工さんの便所へ行つて見ましたどんな落書がしてあるかと思つたからです。處が驚いた事には他所の男の便所にあるやうな猥らな畫や文句は一つも書いてありませんでした。ある便所の壁には こんな文句がありました。『里離れ三室の月を横に見て……』『下の句は書いてありませんが横に見て什麼したつてんでせう。『一生懸命働きます』とでも云ふんぢやないでせうか、兎に角無名詩人が女工さんの中にゐるから面白いぢやありませんか。

寄宿舍の中庭には色とりどりの樣々な花が咲き亂れてゐました。雨がシト〳〵と降つてゐます。ある所ではたくさんな布團が雨に晒してありま



程ヶ谷工場女子水泳部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

月夜の晩なぞには、女工さん等は生れ故郷の人毎に手に手をとり合つて盆踊りをやる相です。お月さんは微笑みながら其故郷戀しい踊つ子の群を見てゐらつしやる事でせう。女工さんたちが時々はお月さんを見上げて故郷の事を思ふやうに、故郷の人達も矢張同じお月さんを見ては、旅稼ぎをしてゐる可愛い人達の事を思ひますでせう。

可哀相に病院には數十人の女工さんが病んで寢てゐました。病院の設備は陸軍の衞戍病院にも一寸見た所では劣らないやうに思ひましたが、どんなに親切にして戴いても旅の空で、病氣になれば、悲しい淋しい事がたくさんありませう。一人の女工さんは寢床に起き上つて凝乎と手に持つた團扇をみつめてゐましたが、其淋しい横顔よ!!記者は思はず涙ぐまずにゐられませんでした。以前此工場でチブスが流行つた事もありましたが、其後非常に衞生に就いて注意を拂つたものですから、此頃は傳染病はまるでないとの事です、お目出度い事です。

食事は一飯四錢ですが記者も試みに食べて見ましたら麥飯ではありますが、なか〳〵御馳走があります東京割烹學校長秋保益實氏が一昨年から御馳走の方をお敎へになつてゐる相です、南瓜を碎いて味をつけた洒落た御料理は、お恥しながら記者は初めて食べて見ました。寄宿舍主任の松下平助さんと被仰る方はいつでもニコ〳〵笑つてゐらつしやる樣な人懷しい情深いお爺さんです。私はお爺さんから、女工さんしながらお裁縫を習つて今はお裁縫の先生をしてゐる方の話やら、お金を貯めて歸つて村中の賞め者になつてゐる人の話やら、會社では女工さんを慰める爲め三日、十一日、十九日、二十六日の夜と晝との交代日には、活動寫眞を見せたり、此頃ならば海水浴に連れて行つたり、横濱見物をさせたりして慰めてゐると云ふ良いお話も聞かせて貰ひました。お爺さんにお願ひしますが、どうぞ相變らず女工さんを可愛がつて、立派な人をたくさんこしらへて下さい、お賴み申します。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

記者が寄宿舎を歩いてゐまして一番悲しく思つた事は、廊下なぞで逢ふ女工さんは、工場で活々した顔で働いてゐる女工さんよりも顔色が惡いと云ふ事です。これは夜働く女工さんは身體の惡いと云ふ事を證據だつてゐる事だと思ひますが、或る統計に依りますと、夜業すると目方が百六十匁位減る相です。と云つた所で今が今、夜業を止すなぞと云ふ無茶な事は云はれませんが、眞實に國家を憂へる人達は眞面目に熱心に考へて、此重大な問題に就いて良い方法を見付けて戴きたいと思ひます。

工場に働いてゐる女工さん等に就いても面白い現象を記者は見ました。

女工さんたちのお作法

それは年の幼いもの程、汚い着物を着て髪は荒れるに任せ、其顔も大變いじけてゐますが、大きな人程、着物もいいのを着、髪も綺麗に結ひ、其顔も美しくなつて愉快相に働いてゐると云ふ事です。これは一面日本の農村がいかに困つてゐるかと云ふ事を示してゐるものと思ひます。つまり貧乏の爲めに顔迄もいじけてゐる小さな女勞働者が、紡績へ入つてだん〳〵腕も出來金も從つて得られるので、だん〳〵其顔迄が活々して來るのだらうと思ひます。

工場長の朝倉毎人氏は職工保護に就いて常に考へてゐられる方です。今年の五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

月二十日から工場内に赤兒收容所を設けられまして僅かの金で通勤女工さんの小兒を預かるのであります。記者が赤兒收容所へ行つて見た時には兩人の保母さんに守られて大勢の赤ん坊がまる〳〵と肥つて喜んで遊んでゐました。國家の爲め、斯かる社會事業には充分に御努力下さいます事を謹んでお願ひします。

程ケ谷紡績は我が程ケ谷支部の幹事長小林竹次郎氏、其他多數の會員が熱心に働いてゐる所である。益々工場が盛んになるやうにと窃かに祈つて門を出ました。

紡績工場と云ふ所は果して世間の思つてゐるやうに恐ろしい所ではない。昔は知らず此頃は職工を大切にすると云ふ事が工場の眞實の利益だと云ふ事が衛生慰安其他に就いて確かにわかつてゐるらしい。深い注意を拂つて來ました。もしも世間の思つてゐるやうに紡績工場が恐ろしい所であるとしたならばそれは工場の設備よりも女工さんの氣持にある。其不安な女工さんの氣持を安心させてやらねばならん、心から喜んで働く人となつて貰はねばならん、其爲めには矢張女工さんに親切な心からの同情を表はして、女工さんのいじけた心に尊い自覺の火を點してやらねばならん、其自覺の火。それをつける人間は誰だ、我々だ。我々の責任は實に重し、然しそれだけに又愉快で

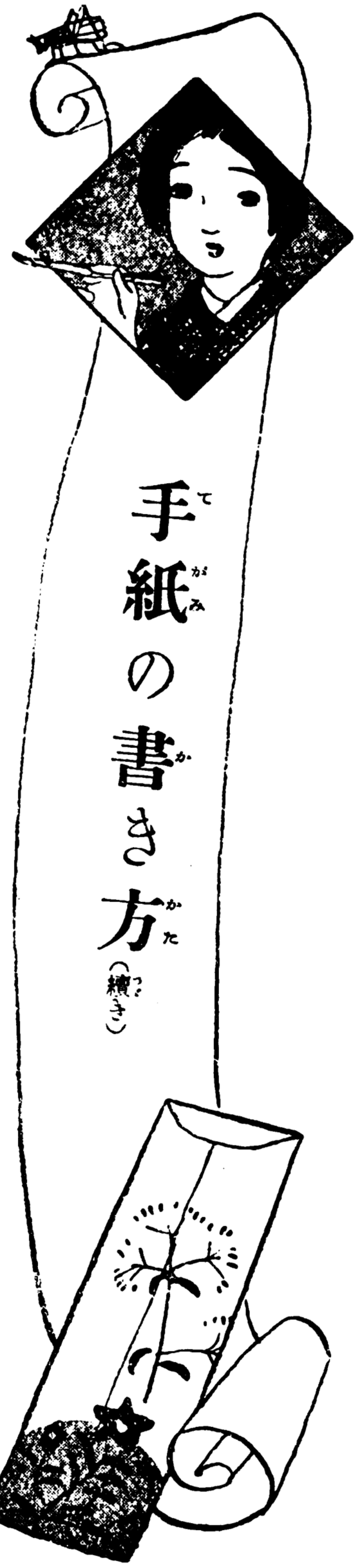
雨のぬかり路を車に搖られながら記者の心が火のやうに燃えてゐた時、ぱ――――と工場の三時の汽笛が鳴り響きました。

笑ひ話

■涼ちい〳〵

午下り。御母さんが「まア風鈴でも鳴るやうだと涼しくて好いんだがね。」といかにも暑さに被云ました。すると急に隣りの室で、チリン〳〵と風鈴の音がし出して、達坊が可愛らしい聲で「涼ちい、涼ちい。」と仰山に云ふのが聞えました。「オヤ風も無いのに!!」と御母さんが覗いて見ると、まア達坊が一生懸命に團扇で風鈴を煽ぎ乍ら「涼ちい〳〵。」を云つてゐるんでした。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



手紙の書き方（續き）

三、眞實を書く事

世の中には手紙の文句と云へば、偉ら相な事や、むづかしい事を書かねばならないやうに思つてゐる人もありますが、之れは飛んでもない間違つた考へであらうと思ひます。手紙の文句は眞實を書くと云ふ事が一番必要なのであります。だから平常偉い事やむづかしい議論をしてゐる人がむづかしい文句や、偉ら相の手紙を書くのは當然でありますが、何も知らない人が知つたふりで手紙を書くならば、其手紙は嘘の手紙でありますから、どこかに間の抜けた所が出來て、人に笑はれるやうになるのです。眞實の事を書くと云ふ事は、皆樣のお心持を其儘に書くと云ふ事であります。皆樣のお知りの人で或は手紙を書けない人があるかも知れませんが、啞の外にはお話の出來ない人はありますまい。お話が出來て、そしてかな文字の書ける人ならば、誰でも手紙は書けます、ただこんな事を書いては笑はれはしまいかなぞと、とり越し苦勞をしてゐるといつ迄經つても手紙はうまく書けません。思ひ切つて自分の思つた事を、其儘に書く事です、正直に眞面目に手

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

紙を書くならば、だん〳〵と目に見えて上手になります。全體學問手紙は其人の心の鏡です、學問のある人の手紙は學問のある人でなくば書けません、だらしのない人は其手紙も矢張だらしなく書けてゐます。ですから良い手紙を書かうと思つたら、自分が良い人になるのです。學問の籠つてゐる手紙を書きたかつたなら自分が先づ學問をする事です、人情深い手紙を書きたかつたならば自分が人情深い人間にならねば駄目です。人情深い人になれば、其人の手紙は自然と人情深く書かれます。偉い人になれば其手紙も矢張偉い文句を書いた手紙になります。

四、友愛婦人を贈る文

手紙は前に述べました通り眞實の氣持を書く事が一番いゝのであります、手紙を送る對手の人に依つて其文句はいくらか違つてゐます。皆樣はお母さんに話す言葉と、お友達に話す言葉と、妹に話す言葉と、知らない人に話す言葉と、みんないくらか宛違つてゐませう。ですから其人達に宛てゝ書く手紙も、いくらかづゝ違ふわけです私は今「友愛婦人」を送る手紙をいろ〳〵の人に宛てゝ、違つた書きやうをして見ませう。

イ、お友達に宛てた手紙

モシモシあなた春ちやんですか、わたしお君ですよ、あなたさまはお變りありませんか、ずゐぶん暑くなりましたわねえ、だけれどわたしぴん〳〵してゐてよ、モシモシ今度ね友愛婦人と云ふね、面白い雜誌が出來ましたからね、一部今お送りしましたわ、此雜誌はね、友愛會と云ふわたしらみたいの働く人を助ける會から發行してゐるのよだからねまるでわたしらの思つてゐる事を其儘書いてある所もあつて隨分そらあ可愛いのよ、まるで自分の子供のやうに思ふは、あらおかしいなぞと笑つては厭よ、春ちやんだつてご覽になれば屹度そんな氣がしてよ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

モシモシ、あなたも友愛會に入らない？お入りなさいよ、そうしてね諸共に勉強しませうよ、遠く離れてゐても、同じい會へ入つて同じい本で勉強してゐればまるで直ぐ傍にゐるやうに思ふは、會に入る規則は「友愛婦人」に書いてあつてよ、あ、モシモシ、ではお身體御大切に、あんまり氷水なぞ飲んではいけないはね、何ですつて、あなたでないから大丈夫だつて、まあ隨分口が惡くなつたわ、ホ、、、、、切りますよ、左樣なら。

チリンチリン

口、お母さんに宛てた手紙

昨晩手紙を差上げたばかりですけれども、今朝又手紙を書きます、わたし大變嬉しいんですの、昨晩の手紙にもちいつと書いた「友愛婦人」つて本を一息に讀んで仕舞つたは、面白くつてね、そして懐しい本ですのこんなにわたし等の爲めを思つて書いた本は今迄に一冊だつて無かつたんだもの、お母さんにも早くお目にかけて喜ばせやうと思つて早速此手紙と同時に送ります。これからは毎月送りますからね、わたしの心が籠つてゐると思つて可愛がつてやつて下さい。大急ぎで書きましたから惡い所はごめん下さい。

ハ、妹に宛てた手紙

東京へ來たいつてそんなに云ふものぢやありません、嘸お母さんを困らせてゐるんでせうしやうのないやんちやんだねえ。そんなにせがまなくつたつて、もう少し年をとるとわたしが連れて來ますから安心して默つてわたしの分迄もお母さんを大切にしてゐて下さい。くれぐれも此事は願ひますよ。それから東京へ來たつて言葉がまるで山出しぢや人樣に笑はれますからね、此手紙と同時に一友愛婦人一と云ふ御本を送りましたから、よく〳〵氣を付けて讀んで善い事を覺えると共に言葉も覺えて下さい。此御本はたいていい東京の言葉で書いてありますから、田舍にゐても一生懸命に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

讀むならば東京の言葉を直ぐ覺えられます。そしてわからぬ所でもあつたら云つてよこして下さい。わたしにもわからなかつたならば此本をお出しになつてゐる友愛會の本部から聞いて、そして敎へてあげます。花ちやんが東京が戀しいやうにわたしはお國が戀しくつてなりませんだから兩人は五分五分ぢやありませんか、だけれどもお父さんやお母さんのお傍にゐられる花ちやんの方が矢張り幸福よ。

今頃什麼してゐらつしやるでせうねえ、お父さんにもお母さんにも皆樣に宜しく云つて下さい、それから親孝行するんですよ、それから身體を大切にして

ね、ぢやあ又此次に、花ちやん

も手紙を下さい。

＊　＊　＊　＊

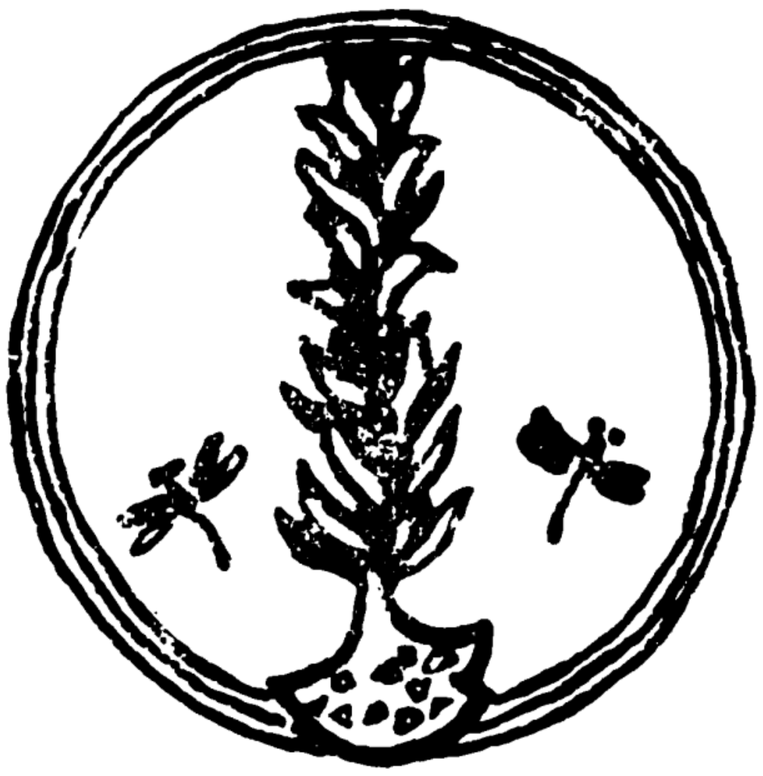
イの手紙は極く交情のいゝお友達に宛たのですから電話をまねて面白く書いてあります、口の手紙を讀むとお母さんに本を讀ませやうと思つて大急ぎで書いた娘さんの心が思はれるでせうハの手紙を讀むと故郷を懷しんだり、父母や妹を戀しく思ひながら、妹の爲めに本を送る姉さんの氣持がうなづかれるでせう。ですから同じい本を贈るにしても其對手に依つて氣分と書きやうの違ひます事がおわかりでせう。

＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊

□□□懸賞募集□□□

皆樣も多分「友愛婦人」をお國其他に御贈りであらと思ひます。どのやうな手紙を添へて御送りでありましたか、其手紙を友愛會本部へも投書して下さい。良く出來た人へは賞品を送りまして、其手紙を「友愛婦人」十月號へ發表いたします。が、たとひ文章は拙くとも眞實の心を書いた眞情の溢れた御手紙を歡迎いたします。字は丁寧に書いて下さい。〆切期日は九月十日迄です。賞品は良く出來た人にはどなたへでも差上げます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



面白くて安い素人染物代

若原榮

廢物を利用せよ

秋は染物をするのに一番よい時期でございます。夏に使つて、もう人前に來て出られないやうに古くなつたり、色がさめたりした白地浴衣や、半襟、襦袢の袖、帶などは、今、別な型でも置いて染め直せば、新しくなつて、又一しきり用ひる事が出來ます染めますにも紺屋にやりますと隨分高くかゝります自分で染めれば安くもつきますし、自分の好きな模様をつける事が出來てよろしうございます。一つは慰みにもなる事ですから、お友達などゝ寄合つて、是非遣つてごらんなさいませ。

染法の種類

染色の仕方には種々な種類があつて、夫れ〴〵面白味を見せて居ります。どんなものがあるか、先づ之からお話いたしませう。

(イ)、浸染法、染料液の中に布を浸して染める法

(ロ)、捺染法、布に型紙をあて、其上から糊をつけ、乾いてから糊を落すと色々の色があらはれる、友仙や更紗形などはこの方法で出來たものです。

(ハ)、引染法、布に防染糊をつけその部分だけ染液が沁み込まないやうにして置いて、布を簇子で張り、刷毛で染料液を塗るのでありまして、紋付、小紋形などはこの方法でつくられます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

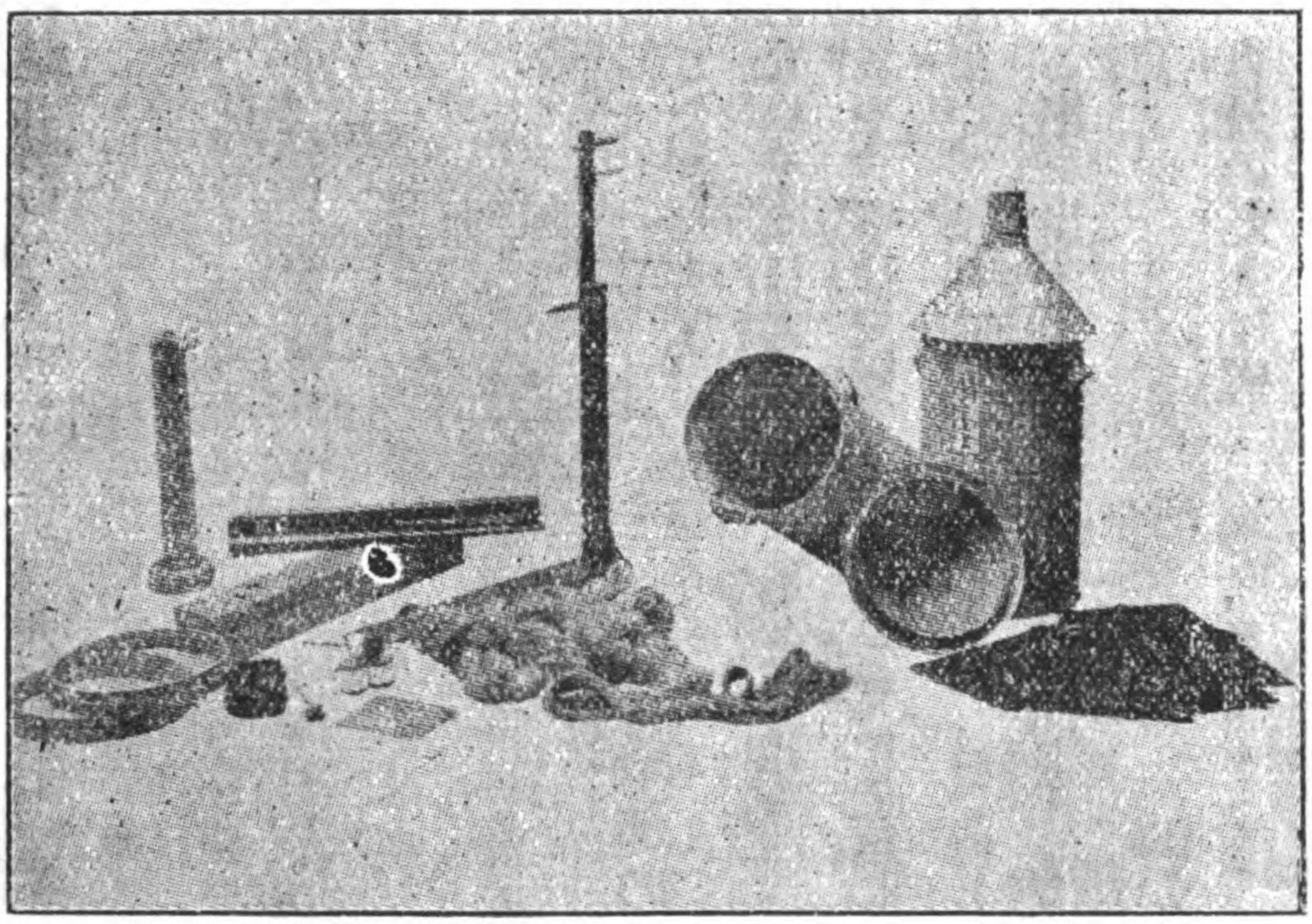
（ニ）、注込法、適當の方法で防染してある布に、染料を注ぎ込んで染めるので、手拭などがこの染め方です。

（ホ）、描染法、筆や刷毛で模様を描くのです。

（ヘ）、霧染法、染料を霧吹でふいてそめる方法。

染料の種類

之には種々な種類があります、素人が染めるのに都合のよいものは人造染料の中にあります、之は石炭瓦斯の副産物コールタールを原料として造つたものので、只今では獨逸を主として英、佛などで盛んに造られて居りますが、戰爭のため、それらの染料が日本に來なくなつたので今迄一反六七錢で染められたものが、二三十錢も出さないと出來なくなりました。この中で素人に便利な染料を申しますと、



絞り染機具の用附屬

（イ）直接染料、木綿や麻に最もよく染めつく染料ですから「直接」といふ名をつけたのです、此の染料の長所は、染め上げの簡單なこと、染めたものを摩擦つてもはげない事値段の安い事などです。短所としては洗濯日光に弱く色があまり鮮明しない事です。

（ロ）硫化染料、木綿をそめるのに適した染料で、絹や毛には不向きです、之で染めると日光にあてても安い、但し手際よくそめないと地質を弱くします、色は餘り鮮明しません。

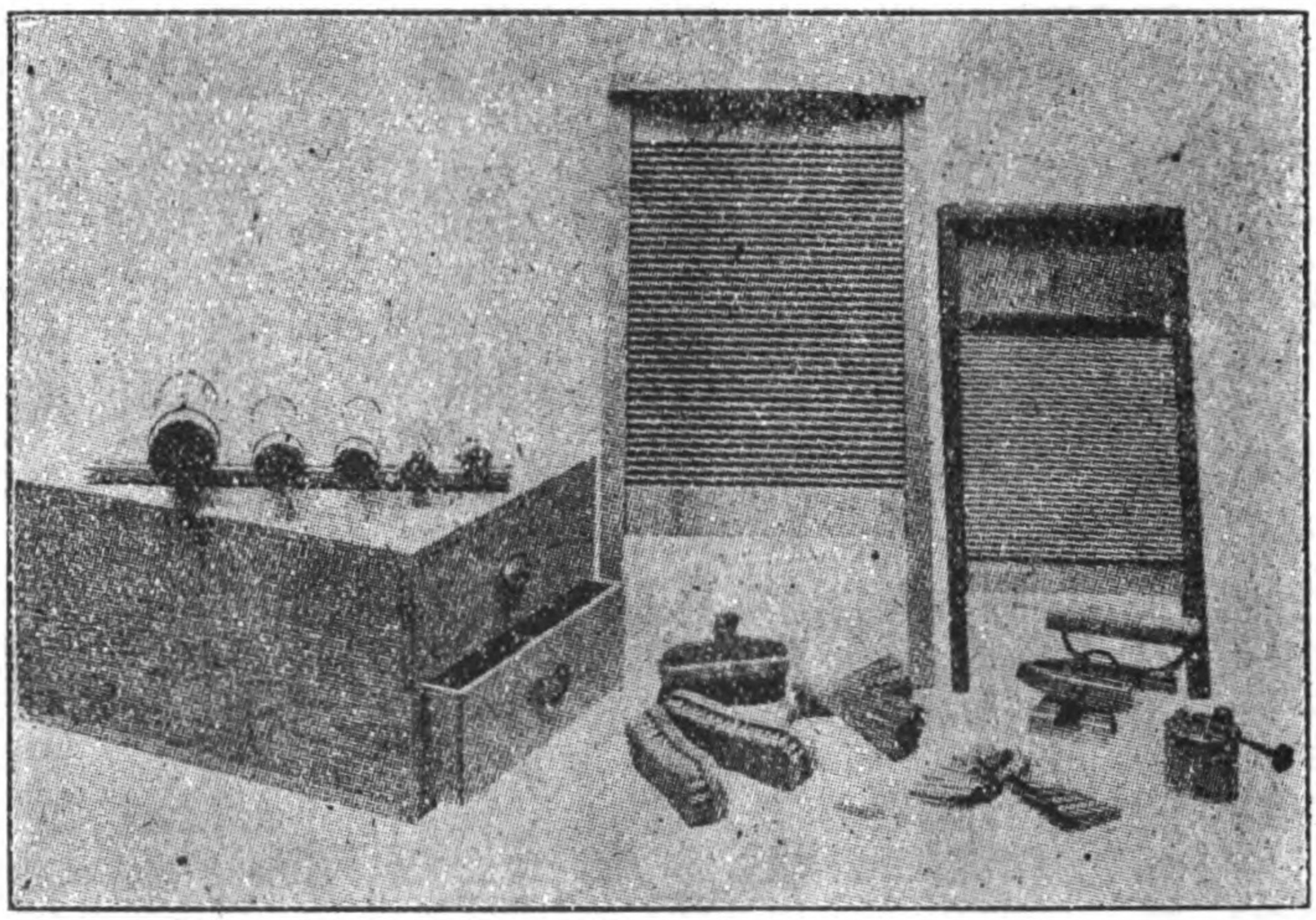
（ハ）鹽基性染料、絹や毛によい少しの分量で色がはつきり出ます。日光洗濯に弱く、又、注意しないと、班が出來る事があります。

（ニ）鹽性染料、毛織物に一番よい染め方が簡單で色がさめないが、石鹸など使ふと色がさめるので洗濯がきゝません。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

以上申述べましたやうに、染料にはいろ〳〵性質がありますから、染料屋に行つて買ひます時には、硫化染料の黒とか、酸性染料の赤とかいつて買はないと案外とんでもない失敗をしますから氣をつけなければなりません。買入れて仕舞ふ時には瓶のやうなものに入れて、直接に日にあてず、そして濕氣のない場所に置きたいものであります。

次に色止藥として、吐酒石、蓚酸、炭酸石灰、醋酸石灰、生石灰、洗濯ソーダ、重炭酸ソーダ、染め斑が出來ないやうに染料にまぜて使ふ藥には、硫酸ソーダ、食鹽、石鹼（各種の染料で絹をそめる時に用ふ）醋酸、酢、酒石酸、硫酸のても一度清水でそゝいで干します。



染物を洗濯するに用ふる器具

ある事を覺えて置いて戴きたうございます。之等は大方の藥屋に賣つてゐます。

又、木綿麻は石鹼などには強いが、酢のやうな酸いものには弱く、絹や毛は酢の類には強いが石鹼には弱いのですから、その邊の處ものみ込んで置く必要があります。

染める前の用意

木綿物ならば薄いソーダ水に三十分程浸して洗ひます。新しい木綿には石灰がついて居りますから、清い水でざぶざぶと洗ひ、別に四五升の水に盃に半分位酢を入れたなかに二十分程浸け、取り出し麻は、四五升の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

水にほんの少し洗濯ソーダを入れた中につけて三十分か一時間煮て、取り出して水でよく洗ひます。絹も同じであります。毛織物には脂肪がついて居りますが、ソーダの分量を前よりも少し多くします。洗濯しても白い色にならなかつたら、前に申した漂白の薬を地質をいためないやうに少し用ひます。

染料と薬の分量

以上の用意が出來たならば、いよ〳〵染め方にとりかゝりますが、染料と地質の關係で、染料やそれにまぜる薬の分量がちがつてまゐります、こんどはその分量と染法を申しませう。

(イ) 直接染料で木綿を染める時

染料	薄色	中程の色	濃色	紺か黑
ソーダ	五分	二匁	三又は四匁	七又は八匁
食鹽	一匁	二匁	四匁	七匁
染法、染料と薬とを別々に溶き、三四升の水の中に加へてよくまじつた時に布を入れて、かきまはしだん〳〵強く煮はじめ三十分位煮たゝせてから引あげて水あらひをして干します。	十匁	十二匁	十五匁	十七匁

(ロ) 硫化染料で木綿を染める時

染料	薄色	中程の色	濃色
硫化ソーダ	四匁	八匁	二十五匁
洗濯ソーダ	五匁	八匁	二十匁
食鹽	五匁	十匁	二十匁
染法、染料と薬などをよくまぜて熱湯を加へて溶かしたのち、溫湯三四升を入れたなかにそれを入れ木綿を浸して、だん〳〵煮たゝせ、四十分程してから引あげて水洗ひします。器は銅製のものはいけません。			

(ハ) 鹽基性染料で木綿をそめるとき

染料	薄色	中程の色	濃色
タンニン酸	一匁五分	五匁	八匁

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

吐酒石　五分　二匁五分　四匁

染法、木綿をタンニン酸の温液に浸し、二時間から十二時間位そのまゝにして引あげてしぼる、次にその木綿を吐酒石の温液に十分か三十分浸してから引あげて水洗ひします、それから染料液の少しを三四升の水にとかしたなかに布を入れてよくかきまはし浸み込ませ、引あげて、殘りの染料を加へて又布を入れ二三十分間煮て、とり出し水洗ひにします、鐵の鍋で煮てはいけません。

（二）直接染料で絹染

薄色	中程の色	濃色	紺か黑
染料　五分	二匁	三匁	七匁
氷錯酸　一匁	二匁	二匁	五匁
食鹽　三匁	四匁	五匁	七匁

染法、染料と食鹽とを別々にとき、水三四升の中に入れてから醋酸を入れ、別の水にしめして置いた布を入れて、だん〳〵煮はじめ煮え返る位に三十分程煮てから引あげて水洗します、酸性の染料でそめる時もこれと同じ位の分量でよろしうございます、又、毛織物をそめる時も之と同じです。

染料が高價なつたために近頃大層用ひる樣になつた天然藍の出し方をお話しませう。

藍百目について亞鉛末六十匁、石灰百八十匁をまぜ合せた中に熱湯三合を入れてよくかきまはし、又水を一升程入れてまぜる、そして蓋をして一夜置き翌朝になつてから好きな色合になる迄水を入れます液の面に紺色の泡が立ちます。その泡をかきまはさないやうにして、布をしづかに繰りながら入れます。

模樣の種類

こんどは眞個に染法に入ります。染法にはいろいろありまして、その方法によつて夫々異なつた面白い模樣が出來ます、そのなかに割合に手がかゝらず、そして面白い模樣の出來る方法をお話ませう。

（イ）柳しぼり、之は多く浴衣にいたします、丁度絣のやうな模樣でなか〳〵美しうございます。ま

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

づ布の一番端を持つて、手前の方に折り鶴の折紙をする時のやうに三角に折り端糸で縫ひます、そしてビール罎の底を頭に三角形の袋の中に入れて置く、それからあとの布を順々に三角形に折つて縫ひ、終つたならば、布を罎に卷くやうにして、罎をだんだんしごいてまゐります、すると布が繩のやうになります、その繩の上を木綿糸で適宜な荒さにぎりぎり卷あげ、染料液の中にひたし。引上げます。

（ロ）手綱しぼり、之は布を繩にぎり〳〵かたく卷きつけ、そのまゝ染料液の中につけますと、丁度手綱のやうなしぼりが出來ます。

（ハ）有栖川しぼり、布を縦に折つていくつかに引き結び、その儘染料液のなかに入れます、出來上がつたところは瀧縞のだんだら染のやうです。

（二）鹿子絞　布を小さい鍵針に引かけてしぼり適宜の大きさに糸でかたく結びます、一寸つまんで糸で結ひたやうです、鍵から離して、別の部分を又前と同じやうな方法で結びます、思ふだけ結びあげ、染料液の中に浸すのです。

（ホ）ふきぞめ、之は多く半襟などにいたします花なり蝶なりの模様を西洋紙を他の厚紙できりぬきはりつけます、そしてそれにびんつけ油塗つて布に適宜に吹き出します。染料液を霧吹きに入れ、布にして後、布を敷いた蒸やかて紙をはがし、よく乾かそれに代用されるもの籠に入れて（蒸籠でなくても程蒸します。であれば何でもよし）二十分

（ヘ）つぎ込み、手拭などはこの染法です。ふき染のやうにそめ出さうと思ふ型を切りぬき、布につけます。糊は、もちにあて、その周圍に糊をぬり合の湯のなかに入れて米粉一升に石灰一合を一升九ぬか一升と石灰二合をどろ〳〵になし、それに又、。糊のつかない部分にまぜどろりとさせたものです染料液を注ぎ込み、糊の上にを肩を一面につけて日向に干、乾いたら水ですつかり洗落します。

以上いろ〳〵そめ法を申しました、一つの布に同じ染法ばかりせずに、柳しぼりの所々にかの子絞をとばしたり、かの子絞りにつぎ込みで歌などそめぬいたり、夫れにいろ〳〵とりまぜて染ぬきますと棄やうと思つた浴衣や半襟が見違ふやうに美しくなります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

美人になる秘訣

あさみどり

□□白粉の目立つのはいけない

美人といはれたいのは誰しも同じ事でございます、出來るだけ美しく見えるやうに心がけたものであります。で此頃は美顔術などいつて、お化粧を商賣にしてゐる所が、彼方此方に澤山出來、また其處に通ふ婦人も隨分多くなつて來ました。然し考へて見るとは只一時間か二時間一寸奇麗に見えるだけです。人によつては、化粧をした女を見ると、いかにも自分が欺かれるかのやうな一種の侮辱を感ずる人さへあると申します又、實際顔ばかり白くて手足は眞黑なのなど見ると滑稽に思ひます お白粉をつけたかつけないか位にうつすりして置いた方がよろしうございませう、之にかけては日本人よりも西洋人がずつと上手で、自然の肌の色を巧に美しく見せる工夫をして居ります。

□□着物は調和が肝腎

次に誰しも目を止める着物はどんなのを來たら美しく見えるか、大方の人は値段の高い美しいものであつたらよいやうに考へて居るやうですが美しいにもさまざまの美しさがあります。眞個に美しい着物を着て居る人といふのは強ち

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

縮緬や友禅の着物を着てゐる人を申す事は出來ません、木綿の着物でも縮緬より美しく見せる事が出來るのです。まづ第一に帶や着物羽織、半襟、がそれ〴〵色や模樣の大きさの調和がとれて居なければ落第です。色の黑い人が白い半襟に黑い着物華な空色の羽織に赤い帶などしたのは滅茶々々な仕方といはなければなりません、鼠つぽい着物ならば羽織もそれと同じ系統の色のもの、半襟も同じやうな色合で模樣をパッと華でにしたのなどはまづ無難の配合でありませう。けれどもどんなに配合がとれてゐても、おばアさんでない限り、すつきりとした華な感を與へるのがよいと思ひます。

□□清く神々しい侯爵夫人

先頃前田侯爵夫人が西洋へまゐる時のお支度は之らの點に於て實にお上手に出來て居ると思ひました。見送りに東京驛に集つた貴婦人方を見ますと、藤色や紫紺、空色、薄綠などのそれは〳〵はでな裾模樣の着物に、ピカ〳〵金絲銀絲の輝く帶、頭には寶石などがキラ〳〵して居りました。其處へ靜かに歩んで來られた侯爵夫人を見ますと之は又何といふ事でございませう、セル地のやうな眞黑な洋服を輕げに着なし、帽子は黑味を帶びた紫色の花も飾らず只一本のピンを挿しただけ、胸からは純白な薄い木綿のレースがこぼれ出して居りました。白と黑のお仕度です。けれどもそれが實にさつぱりと上品で、五彩の色美しく着飾つた貴婦人方の中に、白百合のやうに際立つて美しく、神々しく見えたのでございます。

お化粧はと見るとつけたかどうかわからぬ位にうすく粉白粉がはいてありました、あまり凝りすぎたのよりは、斯樣に單純なそして調子の高い仕方で美しく見せた方がどんなにたのもしく美しいか知れません。

□□あまり凝ると失敗

凝りすぎて失敗した例を申しま

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

すと、あの大阪の名妓といはれてゐる八千代がある時締めてゐた帶でございます。それは黑地に金泥で土佐繪を描いたものであります黑地に金で土佐繪！　これだけ離して見ると實によくあります、けれども帶として用ひては不愉快なものです。

大體から申して近頃は昔とちがつて女も外を出歩く事が多くなつてゐますのですから、今迄のやうに部分的に凝つたものよりは、一寸一目見て全體の色どりがばらばらに見えないやうに、そして、いくらか晴れ〳〵しい色合にしたがよいと思ひます。

名高い女優の心得

けれども着物が人を美しく見せるのではありません、肝要なのは其人自身です。それも單にお化粧位では決しく美しく見えるのではありません。之はくど〳〵しく說くよりも、西洋で有名な女優達が「どうしたらあなたのやうに美人になれませうか」と云ふ質問に對する返事を借りてお話いたしませう。

ゼッシイ、ワキンタアといふ女優は、「清い空氣を吸ふ事と外に出て運動する事は、牛乳の風呂に入つたり、紅や白粉で顏を塗りたてるよりも、皮膚を美しくするものでありません。之は顏が綺麗になり、身體が丈夫になるばかりでなく、姿が大層優美になります」と申しました。又、クラリス、メエンといふ女優は、「美人になるには心配な事を胸に持つてゐてはいけません。出來るだけ氣を樂にするがよいのです」と。いつも清い愉快な心を持つてゐる人は、聲にも顏にも美しい光りが出ます。又、身體が丈夫であるといつもつや〳〵と元氣に美しく見えるものです。醫者などに美人になる秘傳をたづねますと、こんな藥をのめの、あんな藥を塗れのとは申しません皆、丈夫な身體と美しい心があれば自然美人になると申して居ります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

奇人北齋

三浦樂堂

□

葛飾北齋は世に名を得たる浮世繪の名匠。繪畫、彫刻、音樂、文章詩歌等所謂藝術界に於て名を得たる人々は大低初めから、何處にか天才の閃光があつて、それが世間から認みられ、多少の評判を立てられるのが通常でありますが、北齋は其初めに於ては誠に令聞のない、一向世間の愛顧を受けることの出來なかつた不幸な人でありました。久しい間埋れ木の、花も得咲かずに朽ち果てるかと、世の無情を託ちながらも、十九の年から四十八まで、三十年の永い月日を一日の如く切瑳琢磨の甲斐あつて、終に浮世の春に邂逅し、花を咲かせ實を結んだ名匠の苦心談。

北齋、通稱は中島鐵次郎。寶暦十年九月を以て江戸本所に生れました。父は中島伊勢と申し、德川氏の御用をも務めた程の大商人。北齋は其の長男と生れましたので、大人しくさへして居れば、何不自由のない幸福な身を以て、持つたが疾は幼い時から畫筆を持つが何よりの快樂。到頭十九の年に親に倍き家を捨て、其頃名高き浮世繪の大家勝川春章の門に入ることを得て、自分だけは大歡喜。天晴斯道の大

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家となり、一には親に乖いた不孝の罪を許されたく二つにはまた（下手の横好き、物に成らぬ）と嘲つた親戚の徒輩に、思ひ知らせてやりたしと一心不亂丹誠を凝らして勉強いたしました。

併し何事も局外から見る程樂なものはございません。素人ならば下手は普通、別段尤める人はなく、適に少し上手ならばヤンヤといつて騷がれますが一旦是れが本職となれば、巧者は當然、失策があれば容赦なく攻擊されるから堪りません。非常な意氣込みを以て斯道へ這入つた時の北齋の心では、三年か五年の後には忽ち大家名人になるつもりであつた所が、やればやる程難かしく、入れば入る程奥深く、名人大家は扨措いて、何年かゝつたら一人前になれるか解らなくなつてしまつたので、漸く斯道へ這入つて來たことを後悔いたすやうになりました。それかといつて負惜みの強い彼れの氣象としては、今更ら詫をして實家へ復り、赤い面をして親戚の人達に見へることは死んでも出來ないことでありました。

□

北齋畫を學んでより十年餘、早や三十の男盛りになりましたが、名前は薩張り現はれず從つて揮毫を賴む人は殆んどなく、本所石原の裏長屋に薫ぶつて兎もすれば米櫃を空にして、茶腹に一時を凌がねばならぬことさへ屢でございました。

一日北齋つく〳〵と思ふやう。

『俺程不運にも亦悲慘な男はあるまい。親に背いたといふものゝ、あれだけの身代に生れながら、何一つ道樂をしたことがあるでなし。箕裘の職業をしなかつたのは善くなからうが、偉いものになりさへすれば、どの道を行くも同じことゝ思ひつめて、永い間かうして一心になつて來たお蔭で腕は相當に上げたつもりだが、どうしたものか一向依賴者がなく隨分下手な奴が妻子を咬へて相應な生活をしてるのに、俺は身一つを持ちあぐねて、食つたり食はなかつたりは餘り情けない。愚痴のやうだが、神も佛も

七三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ない世の中だ。併し假令食はずに死ぬまでも、是れ程までに苦しんで來た斯道をやめて、馴れぬ仕事に移るのは嫌だ。

他に何か食ふだけの副業を探すまでだが、ハテ何をしたものであらふか。』

と考へましたが恰好な職業は思ひ浮びません。其れも其の筈。商賣をするには肝心の資本はなし。勞働をするには力量はなし。人に使はれるには頭が高過ぎるといふのですから、誠に難物でございます。

それでもまた其氣になれば、仕事は幾らもあるもので、北齋は到頭仕事を發見け出しました。それは七色唐辛子の呼賣でございました。

今日でも大道を大聲に呼んで歩く商賣は幾らもございますが、昔と違つて人智開けた今日は太鼓、笛ラッパ等の鳴物の力藉りますので、聲の好惡、節の巧拙などいふことは頓と構はなくなりました。それでも苗賣りだとか辻ト屋なぞは、どうしてもラッパや太鼓では趣がありません。

まして昔は呼賣り商人の生命は聲にあつたもの。聲の好惡と調子の工合は直ちに商賣に關はります。よく落語家が申す通り、こはれ物は調子を靜かに柔かく。生物活物は調子を高く勢ひよくやらなければいけません。この規則を逆まにして、こはれ物を賣る者が、下ッ腹に力をこめ、胴間聲を遠慮なく張り揚げて、而かも調子を刻んで口早に、(ランプ……ランプ、ホヤ、ホヤー、ランプ)なんてやつたのでは皆な破損物のやうで買手がありません。といつて生物や活物を賣る人が、さも倦怠相な調子で、(いわし、しこう。いゝ……わアし……しい……こう。)なぞとやつたのでは、苟も衞生を重んずる人は間違つても買いつこ御座いません。

七色屋の北齋が第一番に閉口垂れたのは、この呼聲でございます。一體世間を甘く見て人を人臭しとも思はぬ彼れではありましたが、根が大家のお坊チャン。手拭をスットコ冠りにして、人目を深く包んでも、(七色唐辛子！)といふ聲は容易には出ません

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

でした。

□

或日のこと。問屋から買ひ出して來た唐辛子を袋に詰めて居りますと。

『御免くだせエ、先生はお宅でせうか。御免くだせエ。』

と誰れやら訪ふものゝある樣子。殊に北齋を驚かしたのは、先生！といふ言葉でございます。ハテ珍らしい。唐辛子のお客ならよも先生とは呼ばぬ筈。北齋を畫工として訪ねて來たは何人？何の用？何は兎もあれ。こんな内職を見られちやア大變！第一畫工の品格に關はるッ。と急いで整頓やうと焦躁途端手を滑らして箱を轉覆したから堪りません。パッと揚る紅い煙！狹い座敷は忽ち唐辛子の焰に取り圍まれてしまいました。南無三と思つた時はもう遲く眼、口は鼻と紅い煙は遠慮なく這入つてくるので、北齋は涙と共に噎せ返り。ゴホン……ゴホン。ハクショイ！といふ狀態。漸く門口へ駈け出して開閉の惡い戸を明けると。

『眞つ平御免くだせエまし。』

客は年頃三十五六。ぞろりとした絹布に八端の平グケ、澁い風姿の。頭も輕く口も輕く。

客『先生！。實は隨分お尋ねしましたよ。大概此の邊と大方の見當は聞いて來たんですが、さぞかし立派なお住居だらうと思つたものですから……。』

客も流石にハッとして。

客『ヘエ……でもまアやつと分明ましたネ。なんでも畫間は唐辛子屋さんをなさるさうで……御精の出ますことで。』

何處で聞いたか何から何まで承知の模樣に、こんなことなら周章るんぢやアなかつたものをと可笑くなり。

北『してお訪ねの御用事は』

客『實はその……御迷惑でも一つ畫いて頂きたいんで。因由をいふと、私の隣りに滅法意地の惡い富豪

七五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

があるんですがネ。この獣類が常日頃から大面なんで、貧乏人はテンデ人間でねえつて風をしやアがるものですから、近所中で業を養やしているんでがすると今年は其家の餓鬼の初の節句なんでげしてネ家根の上へ素敵もねエ大きな鯉幟を樹てやアがつたんでそれを近所のものが見ると、坊主憎けりや袈裟までの譬で、あの鯉の面付が氣に喰はねえ。何とかしてあの鯉を凹ましてやりてえといふんで、お願に出た譯なんでがす、どうか先生、強い面の鐘鬼でも畫いて隣りの鯉を睨みすくめてやつてくだせえ。』

流石江戸ッ子、無邪氣な中に何とも言へぬ氣慨があると、北齋すつかり氣に入つてしまい。合點承知必ずともに精神をこめて希望に添ふやうなものを畫いてやらうと約束をして件の男をかへし。直ちに筆墨の用意に及び、氣を凝め、心を入れて畫き上げたのは墨繪の鐘鬼、怒らした眼、逆立てる髪、半面髭髯を以て埋めた偉丈夫が、剣を按じて立つたるさまは眞に鬼氣人に逼り、是れを見るもの盛夏尙肌の寒きを感ぜざるを得ぬ。北齋自身も近頃にない好い出來と思ひましたので、男の喜ぶ顏を想像して愉快な一夜を過ごしました。

翌日の午後。昨日の男はやつて參りまして。

客『先生！、出來て居りますかネ。』

北『おゝ。昨夜の中に出來てしまつた。見て氣にいつたら持つて行きなさい。』

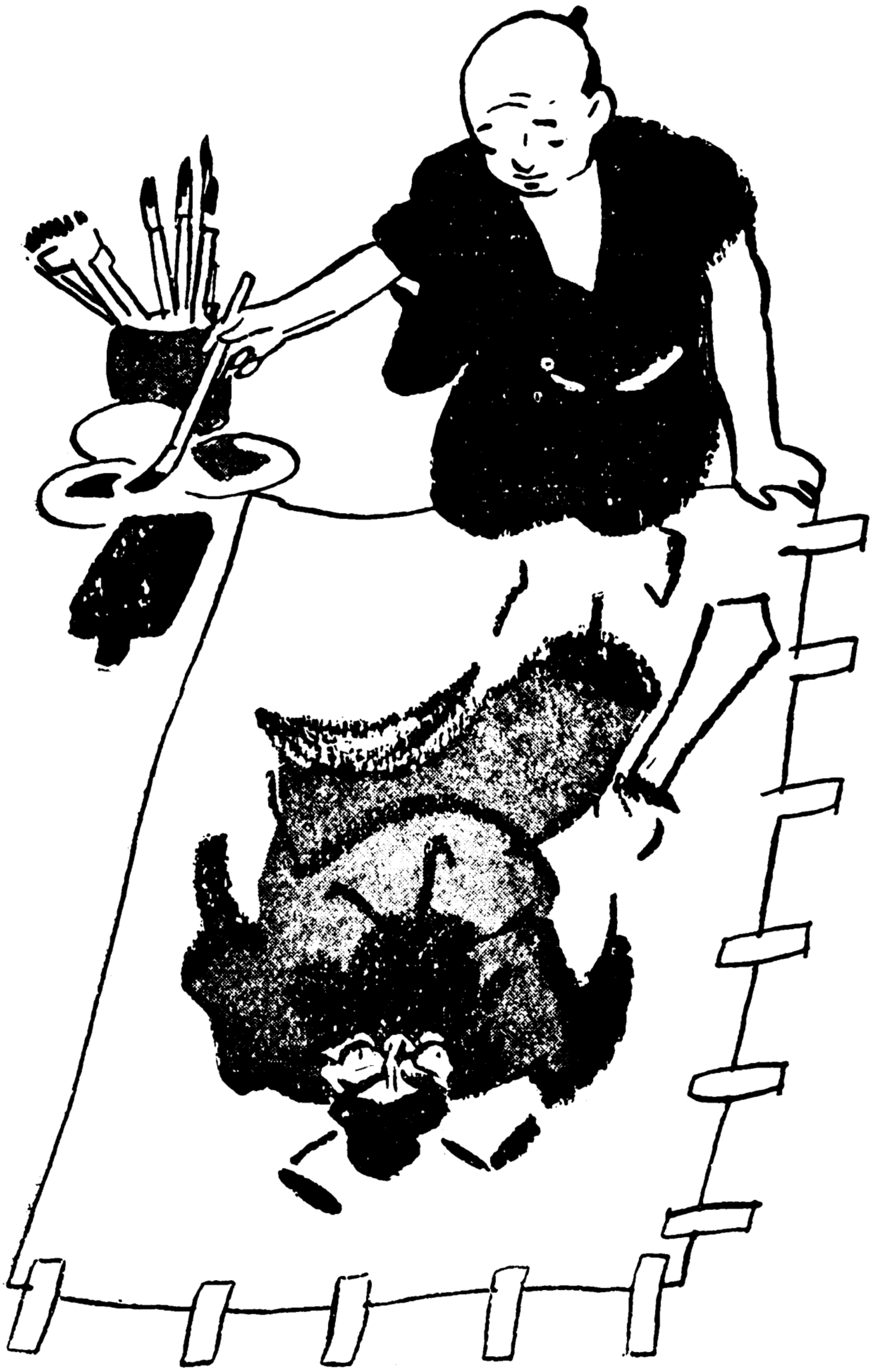
男は鐘鬼の繪を擴げてヂッと凝視て居りましたが感じ入つたやうに。

『先生、恐れ入りやした。何んともかとも言ひやうがねエ。これぢやア鯉ばかりぢやアねエ。隣りの餓鬼が見りやア蟲を起こしますぜ。ありがたうござりやした。』

幾ら褒めても褒め足りないといつた形。懷中へ手を入れて取り出した一封。背を向いて財布を出し、更に何金か感服料を付け足した。

客『こりやア誠になんですが、ホンの心持ちなんで……どうぞお納めなすつて頂きやす。』

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



北齋の出世作——鬼鍾馗の畫

七七

んみ、ものるすを事仕な派立ものくかを畫な派立っ
えりよ並人。すまりあでつ一けがろゝこ、神精な
すまり要が心苦もれ何はにのるすとうらなくら

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

數度禮を述べて歸つた後で。汚ないやうだが數日來の不印つゞき、米味噌の代にしやうと包みを解くとドサリと落ちたは二兩の金子。二朱あれば一人一ケ月の生計は足りたといふ時代のこと。二兩は大金でございます。北齋暫時言葉もなく、小判の面を凝視てましたが。

『あゝ誤つた。人に敎へられて初めて自分の價値を知る。一筆汚せば直ぐ是れだけの仕事の出來る腕をもちながら、生活のために心にもない唐辛子賣り我れながら愧づかしきことであつた。この二兩は神が自分に與れたもので二足の草鞋を穿くなとの敎訓に違ひない。今日限り何によらず副業なぞはやるべきでない。』

と固く決心いたすと早速、唐辛子の道具は拂つてしまい。專心丹精の道へ志しましたが、飽く迄不運な北齋はまだ世に知られる時が來ませんでした。

文化元年、北齋年四十八の時。有名なる音羽の護國寺に觀世音の開帳があつて、其の賑はひ未曾有と稱せられました。

曉の境内に黑山の群集。群集の中央には一本の高札が立てられてありました。

『もし、なんですかネ。こりやア。』

札の直ぐ前にゐた二十四五の勇みな若衆が、前垂角帶、四十格好の分別らしいのに聞くと。

商『なんですかつて。こゝに書いてあるぢやアございませんか。』

若衆は勃然として。

若『讀める位なら聞きやアしねえや。スリコ木奴！』

商『讀めないんですか！』

若『當然よ。憚りながら、無學の兄さんだア。』

商『ご尤もで。實は私もその爺さんサア。』

憚りながら無學の群衆はどッと許りに笑ひ出した。すると一名年若な武士が進み出で。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

武『この高札が讀めぬものがある樣子。僭越ながら拙者讀んで遣はす。是れはな、葛飾北齋といふ畫工が、今日午の刻に當寺の本堂で、百二十疊敷一ぱいの繪を書いて見せるといふのぢや。』

□『モシ〳〵、お武家さま。畫工の名前と刻限はわかりましたが、畫の大きさをモウ一遍どうか』

武『疊百二十疊の大きさぢや。』

□『眞實でござりまするか？』

武『間違ひはないッ！』

疊百二十疊大の大畫。群集の驚きは一方でなかつた。驚駭は忽ち好奇心を煽り、斯かる珍しいもの、見られるも、日頃信ずる觀世音さまの御利益。うつかり見損じて末代盡せぬ後悔の臍を噬むなと、我れ勝ちに今日畫界の席に宛てられた本堂目指して走せ集まりました。

當日出席の畫家は皆な當代に名ある人々。併し見物の目的は北齋の繪一つにある。

軈て午の刻。世話人は百二十疊一ぱいの紙を擴げ次いで可成大きな甕に墨汁八分目程入れたものが運ばれる。一同俄に鳴りを靜めて整然！、肅然！

所へ北齋は無造作にヅカ〳〵と出て來ました。其の扮裝はと見てあれば、向顱卷玉襷、裾をクルリと捲くり揚げた樣子は、鳥羽繪の涎くりが親の仇でも討つやうな姿。餘り此方が嚴肅だつた所へ、此の滑稽な姿を見せられたので、ドッと一時に惡落ちが參りました。

併し北齋は飽くまでも沈着拂つたもので、馬鹿者共め今に驚かして呉れやうからと、棕梠箒三本ほど束ねたものを筆に代へ、之れを墨壺の中へ突き込むと、それを持て彼方へ馳け此方に走り、暫時飛び廻つてゐる中に、何時しか紙面へ描き出されたのは、百二十疊大の達磨の半身像。技既に業に熟しきつた北齋が、沸くが如き感興を以て畫いたもの。俗人の風眼にも其の絶妙は否まれず、我れを忘れて褒めはやす群衆の聲は本堂も爲めに搖らぐかと思はれました。

七九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

この一擧で北齋の名は一時に天下に震ひ、一躍して畫界の重鎭と推さるゝに到りました。三冬の苦に堪へ忍んだ彼れは、漸く一陽來復の春に逢ふことが出來ました。

□

其頃歌舞伎役者の利者に尾上梅幸といふものがゞりました。或る時或る狂言に幽靈を演ずることになりましたが、日頃凝り性の人であつたので、どうかして眞物の幽靈のやうに演じたいといふので種々の人に就て其型を尋ねましたが、眞物の幽靈といふものを誰れも見たものがないので、梅幸が滿足する樣なことを敎へて呉れるものがありませんでした。

偶と梅幸の頭に浮んだのは北齋のこと。さうだ。名人北齋は幽靈の畫を得意とするとは豫て聞き及ぶ所。彼れに賴んで幽靈を寫して貰ひ、其れを手本として扮裝したら庶幾くは幽靈の氣分が出るだらう、さうだ！、さうだ！と獨り肯首き、弟子の一人を使者として北齋を呼びにやりました。

此時北齋は娘お榮と二人限り。石原の片隅に相變らずの借家住居。此のまたお榮が親に克く似た大の變りもの、女に生れて女の仕事が大嫌ひ、朝から晩まで繪筆を嘗めて居たといふ厄介な性。三度の食事も家で調理へるのは面倒臭いといふので、空腹なると親子手を携へて外へ出て懷中の都合次第、立派な料理屋にも行けば時には一膳めし屋の醬油樽に腰を据ゑることもあるといふ。抑も引越して來た當日より全三年も經つ今日まで、ついぞ一度掃除をしたことがないといふのだから、其住居の不潔なことも思はれませう。

かゝる處へ梅幸の弟子、尾上梅毒　そんな名前はありますまい　が尋ねて參りましたが、俗物の常といたして北齋の家が餘り汚いのでつい輕蔑の念を生じ。

梅毒「私は尾上梅幸の所から來ましたが、貴下に一つ幽靈の畫を書いて貰ひたいのだ。尤も金錢に糸目は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

つけないから成るたけ丁寧に畫いて貰ひたい。就ては師匠が一度貴下に懇親になつて置きたいので、籠をもつて、迎ひに來たから直ぐ仕度して一所に來て貰ひませう。』

高の知れた貧乏畫師、歌舞伎役者の梅幸が招きとあらば喜んで飛んで來るだらうといふ氣が、自ら人を馬鹿にした、態度となる。所が北齋は一代の變物眼中將軍なく、諸侯なし。況んや富豪をや。また況んや藝人をや。また〳〵況んや河原乞食をや。忽ち瘠癖玉は破裂して轟然たる音響と共に梅毒先生？の頭上に落ちた。

北『八釜しいやいッ？。天下の名人葛飾北齋は河原者の玩弄物ぢやアねえッ。家へ歸つて梅幸に言へッ北齋先生の畫が欲しかつたら、閾の外から這つて來て頼めと。』

梅毒先生？驚いたの、驚かないの！。空を飛んで家に歸り、梅幸に此のことを話すと。

梅『馬鹿野郎！。誰れがそんなことを言へといつた手前のやうな氣の利かねえ奴は、今日限り破門だッ併し北齋は流石に天下の北齋だ。よし是れから俺が行つて四ッん這になつてきよう。』

と籠を命じて北齋の門口まで來た梅幸は、其處で籠から下り四ッん匐になつて格子を潜り北齋に會つたので、北齋も梅幸の淡泊な氣象に惚れ込んで快く梅幸の頼みを容れ、其れより非常に親密な交際をいたしました。

□

十一代德川文恭院殿家齊公、御鷹野の歸途、淺草の傳法院に於て御小憩。其砌谷文晁、葛飾北齋の兩名を御前へ召されまして、何か認めて見せよとの御諚。

身の面目、家の譽れと深く喜んだ文晁が先づ進み出で、得意の山水に平凡ならぬ筆致を示すを御覧ぜられて悉く御滿足。

入れ交つて北齋が進み出でますと、文晁が北齋の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

袖を引いて、微かな聲で

文『貴顯の御前、必ずともに慎むでな。よいかッ』

文晃北齋は當代畫界の二明星。年齒も甲乙なしの同齡。意氣投合、肝膽相照して兄弟の交はりをいたして居りましたので。北齋が日頃の氣象若し間違ひを生じてはと注意を與へた文晃の親切。

北『大丈夫！。心得たッ！。』

是れも低聲でかう答へて莞爾と微笑み。席に就くと彼れは得意の人物畫に、多年鍛へた腕の冴へを發揮しましたので。將軍は愈々御滿足。

將『北齋！、今一つ所望ぢやッ！』

すると北齋は何の躊躇もなく、

北『はつ……心得ました。』

と御受けをいたして置いて座を立ちましたが、暫時して再び舊の座へ戻つた北齋の腰には、何やら怪しげな風呂敷包みが結びつけられ、其の中には何か連りにピク〳〵動いて居りますので。何だらうと近侍の人々は怪訝顔。獨り友達思ひの文晃はハラ〳〵いたして居りました。

北齋はやをら口を聞き。

北『恐れながら此度御目を汚しまするは、龍田山の秋景色にござります。』

言ひ終ると刷毛を取り、紙一面を青の一色で塗り潰してしまひましたので、ハテ何を畫くことかと一同畫面に氣を取られてゐると、北齋は忽ち刷毛を其處へ投じ、腰なる風呂敷を解き初めました。其の中から出たのは一羽の鷄。鳴き叫ぶ鳥の羽翼を捕へて北齋は其の足蹼に紅い繪具を塗りつけました。サテこそ奇人、また何か始めたぞ！お場所柄間違ひをせねばよいがと思ひ案ずる文晃は生きた心地はいたしません。近侍の人々はと見れば之れ亦、何をするかと眼を張り瞳凝らし、若しも無禮があつたなら其の場を立たせず斬捨てんと刀に手をかける氣の早い連中さへありました。

北『それッ！』

と叫んで北齋が手を放つと、忽ち鳥は紙の上を駈

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

けて庭へとび下り、嚮て何處へか逃げて行つてしまひましたが、鳥の歩いた紅い足跡は青い色の上に印して宛然秋の野に散る紅葉の風情！。工まずして自然と面白き名匠の靈腕に、將軍は魂を奪はれし如く茫然として居られましたが、やがて兩名には手厚き待遇をくだし置かれ、三枚の畫は盡く御手許に納められました。

□

嘉永二年四月十三日。九十歳の長壽を以て病歿いたした北齋の生涯には、奇行逸話の傳ふべきもの極めて多く、なか〳〵一回や二回では御紹介いたしきれませんので今回はこれにて筆を擱きますが、唯見遁し聞き遁すことの出來ないのは此の名匠が臨終の一語。

北齋が彌々最後の息を引き取らうといふ時に、枕頭に居た娘お榮が。

『おとつさん！。何か言ひ置くことはなくつて。』

『未練がましい遺言などがあるもんかッ。唯若し自由になるならモウ五年生きたかつた。そうすりやどうにか一人前の畫工になるんだがな』

といはれたさうでございます。往來天分の豊かな人が十八歳志を立てゝより、九十歳身を終るまで研究して、それでまだ一人前にはなつてゐなかつた筈の心がけ。遠大の志！。不斷の研鑽！。學ばねばならぬことだと思ひます。ご退窟さま。

■お汁の加減

夕御餐にお汁を拵へました。『光子さんや。ちよいと味加減を見て頂戴よ。』と御母さんが仰云ますと、光子さん、早速一口も二口もお汁を吸つて一向默つてゐます。『まア光子さん、お加減は？』つて重ねて仰云ますと、光子さんは急に狼狽へた泣聲を立てゝ、『アラ母さん、大變よ、妾、どんな加減か忘れつちまつたわ。』

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ルチアア物語

會館東京倶樂部
主任辯士　島田嶺月

今から三百年位前の伊太利と云ふ國に起つた哀れな物語であります。綺麗な湖水、涼しい青葉に圍まれた街の人々は或る時靜かであつた心を荒たゝせし、口々に罵りながら市長の邸宅へ暴れ込みました其人達はお天氣が惡くつて農産物が不作だつたので食べる事が出來ません。所でとう〳〵市長を打殺せと云つて騷いでゐるのです、夜は夜で暴徒の一隊は酒場に入つて醉つぱらつては怒鳴つてゐます。

『なあおい兄弟人間食へなくなつちや何をするかわからねえや。』

『左樣とも、此地球が火の海になつてよ、人間と云ふ人間はみんな燒け死んだがいゝや』なぞと恐ろしい事を云つてゐます。其處へひよつ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

こゝ入つて來たのは青年レンッオです。レンッオは山陰の隣町に住んでゐた男で、絲とり女工のルチアと云ふ娘さんとお互に深く云ひ交した交情でありまして、明日にも婚禮しやうと思つてゐましたが、ロドリゴと云ふ御役人にルチアが惚られたばかりにさま〳〵と苦勞して、ポーロと呼ぶ名高い大僧正のお計らひで、命だけは助かつてゐるものゝ、ルチアは淋しい或るお寺へ殘つてレンッオは時節の來る迄知らぬ旅路を彷ふ事となつたのであります。命迄もと愛し合つた可愛いゝルチアと悲しい別れをしたレンッオの心は、丁度食べられなくなつて亂暴する人達の氣持とぴつたり合ひまして、酒呑仲間になつて、『俺は今度の一揆の旗頭だ』てな嘘を云つて大威張でゐます。

『左樣ですか、それは什麼も御苦勞です。』とあつて人達はレンッオにへい〳〵し、大變御馳走しましたレンッオはいゝ氣持になつて、とう〳〵其處へ眠つて仕舞ひ、自分が王樣になつて可愛いルチアを呼び寄せて、樂しい月日を送つてゐると夢見てゐる所へお役人がどか〳〵と入つて來て、

『一揆の張本人覺悟しろ。』と御役所へ引立つて行きます。

『いゝえ違ひます。私はそんなものぢやありません』とレンッオは云つたけれども追付きません、ちつとした氣まぐれに嘘を云つて威張つて見た爲め、とんでもないひどい目に逢はうとしてゐます。所が之れを見た町の人達が、あゝ俺等のお頭が役所へ連れられて行く。あの人を助けずに置かれるものかと大勢集つて來て、とう〳〵レンッオを奪ひ返し、

『さあお頭樣、此町に居ては危うございます。暫時旅へ行つて下さい。』といくらかのお金を呉れました。レンッオはお金を貰つて舟に乘つて又行衞の知れぬ旅へと志しました。美しい夜です、キラ〳〵と星の影を寫して紆行つて行く波頭を眺めながらも

『おゝ俺はこんなに苦勞してゐる。可愛いルチアは女の事、俺よりも猶ほ苦勞してゐるであらう、可哀

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

相だ。』と思つて男ながらも涙ぐんでゐます。

此時お寺へ殘されたルチアはどんな生活をしてゐたでありませう。

ルチアはレンツオが心配したやうに大變苦勞をしてゐるのです。ルチアを横戀慕した惡い役人のロドルゴが家來に命令して、ルチアをお寺から誘拐はせたのです。其家來と云ふは人民から惡魔のやうに思はれてゐる髭のどつさり生えてゐるお爺さんです髭のぢゞいはルチアを逃げられない宅の中へ閉ぢこめて、朝に晩に、ロドルゴの心に從へと責めます。

『こらツルチアよく考へて見ろ、お前の郎人と云ふは高の知れた勞働者、ロドルゴ樣は此町で一二と云はれる偉いお役人樣だ。ロドルゴ樣の心に從へば爲たい事は爲たい放題、榮耀榮華しもどこ迄も厭だ厭だと强情張るなら、仕方がないから俺樣の力を見せてやらうか。』と云つて、鬼のやうな眼を恐ろしくひんむいて髭はルチアを睨みました。ルチアは此時始めて口を開いて、

『私は卑しい女工ではありますが、曲つた事は露ばかりもいたしません、神樣は正しい人を護つて呉れます。』と云つて、恐れげもなく髭の顏を見返しました。

神樣は正しい人を護つて呉れます！

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

髭は此言葉を聞きまして思はずはつといたしました。此弱々しい乙女子でも正しい道の爲めには惡魔のやうな此俺も恐れない。おゝ強い力よと思つてルチアを見ますと、信仰の深いルチアの眼は火のやうに輝いて凝乎と自分をみつめてゐます。

神様は正しい人を護つて呉れます！

あゝ左様だ、俺は間違つてゐた。俺は曲つた道を歩いてゐた。おゝ神様！

と流石の髭も悔悟の涙をはら〳〵と流しました。正しい道を歩くと云ふ事は尊い事です、町人に惡魔のやうに思はれてゐる男も、ルチアの正しい光の爲めに其惡い暗闇のやうな心を照されたのです。心の明るくなつた髭の爺は早速ルチアを其阿母さんの手許へ送り返しました。ルチアと阿母さんの喜びはまあどんなでしたらう。それにしても思ひ出されるのは大事の許婚のレンツオの事です。今頃はどこにどうしてゐらつしやいますやら、あゝ早く逢ひたいと思つて母と子は抱き合つて又泣きました。

此時レンツオは什麼してゐましたらう。

レンツオは此時旅から旅へと彷つてゐましたが、とう〳〵ルチアの事が忘れられず、生れ故郷近く歸つて來ました。丁度此時此國の町々へ外國人が入つて來て、恐ろしいペスト病を殘して行きました。町中至る所に慘じい騷動が起つてゐます。熱病になつても我子を母親は離すまいとしますが、病氣の子供は什麼しても病院に連れて行かねばなりません。夫の死體に犇と抱きついて泣いてゐる妻もあれば、橋の袂で獨りぼつちうん〳〵唸つてゐる病人もあります。病人を運ぶ車は死體のやうに病人を車の上へ積み重ねて必死になつて病院へ運んでゐます。車に抱きついて阿母さんが行くなら私も連れて行つて下さいと泣き叫ぶ娘もあれば、狂人のやうになつて車の後を追ふ男もあります。ルチアやレンツオを苦しめたあの惡い役人のロドルゴもとう〳〵熱病にかゝりました。左様なると常日頃情け容赦もなく家來等を叱り飛ばした罰は覿面、誰一人親身になつて介抱す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

るものもなく、惡魔の主人には惡魔の家來、荒々しく主人を擔架に投け乘せて病院へ運んで行きました。

此騷動の最中にレンツオが歸つて來たのだから堪まりません、知つてゐる人があつても振向いて呉れる人は無く、宿を求めても謝絶されて仕舞ひます。それぱかりでなく遂には此男は外國人である、今度の熱病を持つて來て自分等を苦しめたのは此男に違ひないと間違へられ大勢の人に追ひかけられました。

レンツオは方々逃廻りとう〳〵逃場を失つて熱病人の車の上へ飛び乘りました。人達も熱病を恐れて追ふのを止ましたから、有難い助かつたと思ひレンツオは病院に行つて病人の爲に働く事となりました

或る日の事、慘たらしい病人の間を歩きながら、もしも此中に可愛いルチアは混つてゐはせぬかと思つてゐましたが、ふと昔自分達を助けて呉れたボーロ大僧正を見付けました。

「ボーロ大僧正樣！」と駆け寄ると、

『おゝレンツオ、お前は什麼して此處にゐなさる。』

『はい〳〵お話もありますが、何と云ふむごたらしい病人でせう。』

『ふむ。』と大僧正は靜かに眼を閉ぢて、

『天の刑罰だ、人間どもが自分勝手ばかりするやうになると、時々神樣が人間社會に災を下し給のだ。人間の心を正しく成す爲め、正しくない事をすると其爲めに乾度災害の來る事を知らしめ給ふのだ。』と嚴かに云はれました。此時、惡人のロドルゴは此病院の一室で苦しい叫びを發しながら死んで仕舞ひました。此時に又死者を葬る壯嚴な行列が通ります。レンツオがふと見ると、こはいかに、其行列の中に大切の大切の可愛いルチアが混つてゐます、ルチアの方でも片時も忘れた事のないレンツオを見たのですから兩人ともはつと思ひまして、ばら〳〵と言葉もなく駆け寄つて、犇と抱き合ひました。これから邪魔をした惡人のロドルゴも死んだ後で、相愛し合つた兩人は、ボーロ大僧正の立合で神に誓つて清く美しい夫婦となりました。

暖かい臥床のうち、睦じい寢物語に、其頃の苦しさ悲しさも今は樂しい思ひ出の種、間もなく可愛い小兒さへ儲けて他人の見る目も羨しい一生を送つたと云ふ、伊太利の國はルチア物語、これをもつて殘念ながら罐りといたします。

――（紫魂）――

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

内外時事

はなしのたね

坂本正雄

■女の勞働の法律

獨逸の西普魯西では今度婦人並に少年をして農作物の收穫に强制的に服務せしむる法律が發布されました。此の命令を拒む者は一ヶ年の禁錮か又は七十五磅（一磅は我國の約十圓）の罰金に處せられるのであります、これは何故恁んなことになつたかと云ふと。申す迄もなく、戰爭の爲めに多くの男子は戰場に赴き、國内に人が尠くなつたから、内に居て勞働に從事する者が足りなくなつて婦人や子供に迄頼まなければならぬ事になつたのであります。

■陞爵と授爵

天皇陛下には去る七月十四日、宮中鳳凰の間に於て、大隈首相以下に、左の如く爵記並に勳章の親授式を行はせられました。

依勳功特陞授侯爵　正二位勳一等伯爵　大隈重信

依勳功特陞授伯爵　正二位勳一等功一級子爵　長谷川好道

依勳功特陞授子爵　正三位勳一等男爵　加藤高明
　　從三位勳一等法學博士男爵　本野一郎
　　從一位勳一等男爵　石井菊次郎

依勳功特授男爵　正三位勳一等功一級　神尾光臣
　　從三位勳一等功二級　島村速雄
　　正六位勳一等功三級　八代六郎
　　正四位勳一等功二級　加藤定吉

■名譽の看護婦

大正三四年事變に際し、野戰衛生隊及び海軍病院

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

等に在つて、傷病將卒の救護に從事しました日本赤十字社の看護婦百四十九名は勳七等以下それ〴〵行賞がありました。

■いよ〳〵工場法實施

女子供が助かる

この九月一日から愈々、『工場法』の施行と云ふことになります、工場法と云ふのは明治四十四年に法律となつて發布せられましたが、それが今日迄實施にならなかつたのであります。此法律を實施するのには別に細かい規則が必要だと云ふので、政府は八月三日を以て『工場法施行令』をも發布になりました、その規則を見ますると當時十五人以上職工を使つて居る工場で、女子供の夜業を禁じ、又一日に十二時間以上働いてはならぬこと、一ヶ月に二回以上休みを與へることになつて居ります。併し規則には幾多の例外が設けられてありまして、例へば菓子、清酒、醤油、酢、味噌の製造、行李、簾、籠等の製造、被服、足袋、其の他布帛類の裁縫工場等では此の法令の適用を受けぬことになつて居ります、又單に幼少年工に對する制限と申しまするけれども、その子供が男子は十五歳以上の者である場合には、何等此の規則の適用を受くるに及ばないと云ふのですから、女子供保護の程度は實に僅かなるものであります。

年齡に拘らず、苟くも工場で働いて居ました者が仕事中に其仕事の爲めに死亡した場合には、工場主は其職工の遺族に向つて、其職工かとつて居た日給の百七十日分以上を支拂はなければならぬやうになりました。そこで一日四十錢もらつて居た女工さんが自分の大した過ちでなくして器械なんかの爲めに負傷して死んだと致しまするは、會社からは四十錢日給の百七十日分すなはち六十八圓だけ其死者の遺族へやらなければなりません。更に葬式料として金

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

十圓以上出さねばなりません處で茲に注意しなくてはならぬ事柄があります。それは其の遺族扶助料として會社から來る金の事ですが、例へば一人の職工が死んで會社からは其人の賃金が一日一圓であれば百七十圓持つてくるのですが、それを受取る人は誰であるかと云ふと、差當り其職人の妻であります。然るに内縁の妻では多分其扶助料金を受くる資格が無いと思ひますから、勞働者の細君たるものは宜しく注意なさらなければなりません、自分の良君は仕事の爲めに討死を遂げた、扶助料は他の親戚の者にムザ〳〵と奪られたと云ふのでは感心しません、全く途方に暮るゝばかりであります、ですから内縁の妻なんテ云ふ事は早く止して、何時でも結婚した際には直ぐ役場の方へ届ける、又子供が出來た場合も同じ事で、すぐに戸籍の方を明瞭として置くことに心掛けることが肝腎であります。

次に仕事をして居つて一生自用を辨ずる能はざる者、一生働くことの出來ないやうな負傷をした場合は如何なるかと云ふと、日給の百七十日分以上を工場から出すのであります。又仕事の負傷の爲めに、今迄の仕事が出來なくなつた者、女子が顔に傷をして醜くなつた場合等には、賃金の百日分以上を支給せられます。

勇ましき夫婦

近頃英國で嘆賞されてゐる無名の一夫婦があります、其良人といふのは年俸六千圓を得て、可なり立派な暮らしをしてゐたのでありますが、愛國心の強い其妻に強られ、先頃其地位も月給も投げ擲て志願兵となつて戰爭に出陣しました。ところが別に貯蓄もなかつたものですから、妻は直ちに其家をたゝんで今日では唯だ自分の良人の戰功の便りを樂みにして僅な生活を立てゝ居ると云ふことです。斯かる例は目今英吉利などでは澤山あるさうですが、軍國の婦人は東も西も一樣に同じだと見えます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

友愛詩壇

夏はゆく

咲子

夏よ、行く夏よ、
青い空に顫ふ空氣の亂れ
追懷の夢につゝまれた丘の木立の
甘い綠のなかに
夕を歌ふかん〳〵蟬の
その聲も哀れに……。
あゝ夏は行く、夏は行く、
森の影から出た風が
いま汝の後姿を
吹き送る――。
綠したゝる沼のほとり
花やかな夕日が波に揉まれ揉まれて
赤い梢のよそぎ
小鳥が歌ふ「追懷」の譜も
夏よ、ゆく夏よ、
水に漂ふ夏の影よ、
小波にゆら〳〵と
仄白い花は
沼の水面に漂ふ
あはれ漂泊せる花も
汝の姿を見送つて居る――。

八月七日夜

みそらの花

北海道　愛子

蟲の鳴く音に夜はふけて
眠りをさそふ水の音
心しづかに流れゆく
思ひは遠き故郷に
月かげ早も落ち行きて
風なき窓の暗の色
悲しむなかれ世の夏は
散り行く青葉と諸共に
昨日の夢となりぬれど
見ずやエデンの空高く
やさしき光とことはに
ほゝ笑む星の花ばゝし

九二

友愛歌壇

働く人の家

横濱にて　とく子

今日も又雨に困りてお亭主が
お手傳ひする手内職かな。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

寄宿の窓

程ヶ谷支部　月見草

母思ひ寄宿の窓に身をよせて
月照る夜半に蟲の音をきく

秋

淺草專賣局　てる子

暮れかゝる秋の夕べの淋しさを
覺えてわれはふるさとを思ふ

女工さん

府下請地　よし子

星かげをあふぎて出し女工さんの
月になるまで働けるかな

女工さんのふし面白く歌ふ頃
暮れ行く空に夕鐘のなる

打ち連れて工場へ急く女工さんの
姿なつかし心地よき朝

松蟲

東京芝區仲門前町　君塚ハマ子

秋の夜をわが物がほに聲高く
歌ふ松蟲いとゞ哀れに

秋の田

東京府下南千住
東京毛織物株式會社　關谷かれ

千町田に黄金の色の波立ちて
皇御國の豐をぞ鳴る

たそがれの雲の行衛を眺めつゝ
故郷思へば山路遠けれ

夏の森蟬の音聞けば故郷の
清き流れの水音なつかし。

初秋

芝區三田四國町　百合子

何となくたゞ淋しさの襲ひきて
獨り泣くなり初秋の夜半

懸賞募集

一、文章の投書は一行十五字詰四十行を越えない事

一、和歌は五首以内。短詩は一編。俳句は十句以内

一、一口噺。童話等隨意

一、家の持ち方。廢物利用法。本會に對する等の考案

締切　毎月五日。

賞品　秀逸に五十錢以上の品物。

用紙　なるべく友愛婦人用原稿用紙。

（原稿用紙は百枚實費十四錢で本部で賦かちます）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

八月度入會者（八百三名）

賛助婦人會員

三浦たみ　高橋カネ　齋藤ミヨ　樂子　木村サト（吹谷分會）　今井キミ（吹谷分會）　ミヨ　小林ヨシ　トミ　野田ツル　エ　牧野フサ　鳴田ヨシ　金澤タカ　小林ヨネ　太田ルイ　クミ　佐藤ヨシ　ハル　宮下ミヨ　ノブ　藤藤ノブ　内藤ヨシ　香川ヨシ　キヨ　近藤ヨシ　ミヨ　宮本ヨシ　ノブ　千葉ヨシ　山本ヨシ　ン　鈴木ヨシ　宮本ヨシ　武昌子　富田ヨシ　佐藤ヨシ　鈴木ヨシ　三輪ヨシ　原ヨシ　ソマ　ヤサ　ヤ　笠井　瀧澤　井澤　原ヨシ　ヨフ　リク　上原　高橋　矢野　渡邊　ハハ　ナナ　ヨ　伊藤　石遠藤　橋藤　本ヤス　ン　佐ノ　々セ　深ノ　木ス　瀬ト　カ　コ　ヨ　ウ　品ラ　恩田　田　所佐　鹽藤　菊所　宮支　山内　石本　川ハ　ミヨ　近カ　ミネ　野ヨ　カみ　ハや　ヨル　ネ横　ウ田　め天　の野　ミツ　ノ船　岡渡　マ本　邊サ　シツ　ゲ村　ノ和　きみ　伊藤　けい　子　渡邊　メ北　ミ大　柴　ス　ト　ス　ン　ク　サ　子　ク　ル　川さ　子橋　田ト　藤藤　津カ　メ阿　ハツ　近せ　ワ　ヨシ　藤イ　阿ミ　只成　所仁　藤直　ス屬　坂内　鵜沼　サト（吹谷分會）　キミ（吹谷分會）

渡邊　齋藤　松島　梅代　篠田　大場　小林　高橋　藤卷　藤ヨ　岩キ　ヒシ　ミト　ツズ　ク サ　ネ　ヨ　木　倉　ヨ　ト　ノ　ク　ヨ　ノ安　町村　島　村　シ　手　ミ　ミ　ル　ツ　マ　ヨ　吾　本　伊藤　天野　所吉　嬬高　齋坂　藤越　ハオ　橋崎　訓ヨ　藤ハ　ハ　ル　前ト　瓜藤　伊藤　橋支　岡支　野支　藤キ　ハ　ツ　ミ　ツ　イ　エ　小菊　澤中　地三　林田　ス　は　ら　ゴ　ム　宮澤　會社　若月　タイ　子　井　キ　ヨ　ノ　ト　ク　ヨ　ノ　ト　ク　ヨ　ノ　ト　ク

富田コマツ、田中チサメ

稲久保若ヨシ子、富平子井、喜多城西
平山子本、早川小島小
岡ヨネ子、ミ小ち高林支
加藤井飯島田鶴守原酒井部
き島や志かさう、ト橋フ
水子ふ、た、み、く、ん、し藤子平子村子く、せ伊、い福は鈴み松、ミ田子マ、モ川子
地め中つ野ほ熊保岡菅け原つ後り宮子川ら原ろ子原子崎君本子り島子す子ふ、た島や志かさう田鶴守原酒井部
島山利宇、川
高楊山ヒロ、田中靜枝、黒野
ミエ、佐藤タカヨ、佐々木ハルヨ、
つま子き、子細子ふ子田、石子澤、渡子野、子本、井、と、子江子往子川、い小多、城
須、野、み、さ森京、ま柳邊、せ伊、い福は鈴み松、守、原、ミ小ち島、小
藤五き林子小ち田子吉つ澤は松い藤加ち田つ木子本小き市支酒キ田子ト高林支
ぺ十よ八、野子よ、川子たる浦子つ藤子菊子も、せ林よ川部井子マ、モ橋フ部
ん嵐子重住榮、れ鈴も、か子は、れな、江、と小いと子と、サ岩子フ
子し、子吉子日子木と朝子、ま高子ほ小子中子栗子め、き、デ田、デ
、づ北、き、崎、由子倉、芝子橋、子松、川、龍、子宮子、ハ木子上
中子澤藤ん加き森子、は高房、磯大、菊石榮土子渡、下、ル本、野
田、み倉子藤く田、小な井野平子塚羽子崎子屋、邊山榮龜、ト小衣
ま田のあ、せ子み平池子き子林、は毛、り、た稻靜田子田、ミ沼子
つ中子き木き、つ林梅、く、き白る田岩よ荒か生枝き、玉、キ、
子な、よ村子加子く子加子分よ井子も崎子井のき子ん高枝、ン安
、か脇子ゆ、藤、わ、藤、部子よ、とし、房、み、子地子、ツ石子岡
清子坂、き林と河子新ま中た、し山子づ畑子箱子牧、と、ク清々崎、俊
水、順伊子きら原、見す島み大子本、子山、島、田田し澤、マ原子菊松子
せ中子藤、よ子と信み子た子久、な幡、た菊う清敏部子田、子ヤ、枝井

藤本ヨ橋キ高佐本トウメ場イジ寺高タノ中戸淵フセ河谷ヒ新、原藤谷遠操ノ梅伊飯子千山保
曲キ、シ、松藤田エメ、キチ、田金ケ、村タ澤ク、原ハサ沼、千トカ藤、ア、藤塚、葉田ト
シシ小ミ石リキサジ、鈴ヨ、坂コヒノ茹キキヤ、河チツヨコ、代クネア渡、長松ク野キケキ
ドヨ野イ田トエヨ、橋木、高本トサ、部ン、ス岩野ヨ、、ギ、子、、サ邊平谷、ニ地ノイ、
ノ、ト、ヨ、、、川本キ三橋ス、コ乳シ、阿、間カウ中品ク保、中平、ス出川高、マエ、渡
、澤ク雁シ高倉山田トク村トト千、井ズ菊戸品ミネ、澤田、土森山林田エヤ小橋鈴ス、石邊
管入イ部エ山谷本ハキ、タラ、葉西リ子地ハ田サ、松ソマ佐ケフ昇ロ邊、ス夜キ木、櫻塚ナ
野タ、フ、ヨモタナ、若マ、梅コ澤ネ、ツルキチ赤本ヨスタ谷ク、カヨ岡、、ンセ上庭ツツ
モケ中ク青シトカ、蓑林キ沼津ヨツ、板ゲ、ク、石カ、、木支子高、シ村石小、ツ原スルノ
ト、野ヨ木エ、、中島コ、倉リ、ル千津、沼、半サン鈴落ヒ部、橋内、ハ垣宮荒、千ゲ子、
、小モ、キ、佐飯里ハウ小ヒセ石、葉イ仙倉伊田ク、木合サ、黒キ田佐ルマキ井石代、、片
横山リ伊ヨ馬藤川タル、松サ、毋野ヨネ庭ミ藤キラ小ノセシ田ンミ生、サン元渡、川松岡
尾田ノ藤シ場ハサケ、土イチ今田上シ、キイシワ、野ヨン、ナ、ネヤ岸、、、ソ森口永シ
キサ、ミ、ヨナク、井屋セ、野ハタ、石ヨ、ン、矢ウ、、進ツ本、スミ高伊青ノトカソゲ
リト金ワ高シヨ、阿田キノ木タツミ千田ミ星、志吹メ浦高藤郷栗、ヨ橋藤野、クツデヨ
、、田ヨ木、、鈴部ハノ、村ケミ、葉ト、野鷗子カノ野木ア八田添、ミソカ本、、、、
渡中ヤ、キ渡高木キツエ高ロノ、澤ナク伊谷ハ田ル、ハハキ重シ田鈴ヨメメ郷數櫛片森
邊島ス星ク邊石キヨ、、橋ク、齋田ツ、藤キルコ、藤ナツ、子ゲ花木、、、八野田岡菊
キセ、ト、サキミ子井高ハ、山藤トヨ沼トヨ、ン内田、、安、、、サ黒黒萩重トヨテ子
ヨキ松ク高ツヨノ、川橋ジ千寺フク、澤メセ白、山キ大岩海上齋熊ダ江澤野、シネル・

早ムキ坂モ佐ト、長村ト、佐上メ藤中ツ湯山ユ鬼怒川ミ武田ユ
母本ナツ、田ツ、ミイ佐切サ佐シキキサ佐ワ、藤ト、ハハ、池チ、、、ハハ、長村ト、文神田藤カ、兵本、、京、松大エ本、、寺河都原田阪、ツ前相庫子須戸鈴村キン岩田ト三櫻高原ナル大坂上メ佐國ヤス、藤
マ、ヨ、ヤ、ク子藤敷ワ、、藤ト、ク武キツ、マシナマ佐相ヨマエ中ツ、ア、イ代ヨシト鈴木ツ、ヤキネ、ミ
野田シノ長澤エ齋大松野ヨマ母本ムキ坂ハヒゲ、瀬キ、藤西本マ、、田ナツ、ナロ、片ヒツ佐シキキサ佐切ミミイ佐モ富み、れ、ヨ、武井デ、藤ノクク子藤敷ワ、、藤ト、ヨ、エ島エイ、代、シ島エイ、櫻れ、ヤエ、ク、や、て、エ、、、、京、松大エ本、、兵文、神、田藤カ、池チ、、、、ハハ、長村ト、
廣田、ハヒゲ、瀬キ、藤西本マ、、田ナツ、ナロ、片ヒツ佐シキキサ佐切ミミイ佐モ
み、富、ヨ、ヤエ、シ島エイ、櫻れ、ヨ、武井デ、藤ノクク子藤敷ワ、、藤ト、
安高ツ、ヤエ、代、シ島エイ、櫻れ、ヨ、武井デ、藤ノクク子藤敷ワ、、藤ト、
安高ツ、ヤエ、代、シ島エイ、櫻れ、ヨ、武井デ、藤ノクク子藤敷ワ、、藤ト、
須高ツ、ヤエ、代、シ島エイ、櫻れ、ヨ、武井デ、藤ノクク子藤敷ワ、、藤ト、
岡藤ツ、ヤエ、代、シ島エイ、櫻れ、ヨ、武井デ、藤ノクク子藤敷ワ、、藤ト、
日野タ本エ野藤、ヨ、ヤエ、シ島エイ、櫻れ、ヨ、武井デ、藤ノクク子藤敷ワ、、藤ト、
鹽田見内繁ツ、ヨ、ヤエ、シ島エイ、櫻れ、ヨ、武井デ、藤ノクク子藤敷ワ、、藤ト、
須田島田見内繁ツ、ヨ、ヤエ、シ島エイ、櫻れ、ヨ、武井デ、藤ノクク子藤敷ワ、、藤ト、
安田カすはキ繁ツ、ヨ、ヤエ、シ島エイ、櫻れ、ヨ、武井デ、藤ノクク子藤敷ワ、、藤ト、
鹽田エてやク代、シ島エイ、櫻れ、ヨ、武井デ、藤ノクク子藤敷ワ、、藤ト、
、、、、

編輯局より

■もう秋ですね、大分暮しよくなりました、皆様定めし御元氣でならつしやいませう。氣持のいゝ折に一番うんと働きませうね、けれども又氣候の變り目に、うつかりすると病氣につけこまれます故、お身體はせい〳〵お氣をつけてくださいまし。

■お蔭様で八月に會員になられた方は御通知下さいましただけで八百人あります。お通知下さらぬ方が多ほどございますのでみんなでは三千人近くであらうと思ひます。東京モスリン會社の篠田ハマ子様及び深澤タミ子様は、大變お力添へ下さいまして有難うございました。他にも熱心に御盡し下さいました方々が多いのでありますが、どうぞ其方々の御芳名を本部へ御通知下さいますやうに支部の御方々にお願ひいたします。支部のお方々にも實際多大の御盡力を仰ぎまして實に有難うございました。御禮申上げ略儀ながら紙上で厚くます。

■相談事があつたら御し〳〵本部へ御通知或は御出で下さい、人の手本となる遠慮なくどう時にもお知らせを願ひます。私等の會は全く世の中の爲めを思つて出來た會であります皆様もどうぞ世の中の爲めを思つて此上ともお力添ひ下さいまして、會員をお力添下さいました方には屹度お殖して戴きたいと思ひます。特に禮を致したいと思つてます。

友愛倶樂部

●小母さんが此雜誌は大變爲めになる本だと被仰つたので早速入會しましたわ、皆様どうぞよろしくお願ひいたします。（大島町菊枝）

●記者様私俳句を投書したいと思ひますがよろしうございますか（大崎町高野ノブ）

▲よろしうございます。お送り下さい。（記者）

●皆様私は片田舎に住んでゐます不束ものでありますが、友愛婦人と云ふ懐しいお友達が出來て、これからは淋しくあるまいと喜んでゐます、どうぞ皆様お見捨てなく御交際を願ひます。それから記者様私等の附近には友愛會の支部がありませんので什麼したらよろしうございませう。（新潟縣中魚沼郡十日町在林ざく）

▲御近所の本屋でお買求め下さい、もしも本屋になかつたら本部へ直接御注文下さいまし。お金を送るには振替貯金が一番安くて安全です。本部の振替貯金の口座番號は東京三一五七番です、おわかりにならない事があつたら郵便局へお聞き下さい、郵便局では親切に教へて呉れます。（記者）

●友愛婦人！　何と云ふ慕しい名前でせうね。友愛婦人！（武藏野の一隅にて君子）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

月刊雜誌『友愛婦人』

▲代金は總て前金を申受ます。

▲御送金は振替貯金郵便爲替郵便切手代用の三種ある

▲振替貯金は尤も簡便確實であります。拂込用紙は郵便局で無代で呉れます。

▲振替貯金の口座番號は東京三一五七番です。

▲郵便の爲替の時は『受取人宿所氏名指定欄』に東京芝區友愛會本部と御書き下さい。

▲切手代用は一割増の事。

▲着金の時は直ちに送本し別に受領證を出しません。

▲御送金の報知、註文、問合は販賣部宛に願ひます。

▲御轉居の時は新舊兩方の住所を御書き下さい。

御注意

▲友愛會には此の「友愛婦人」より外に「勞働及産業」と云ふ機關雜誌もありますし、又時々單行の書物も出版致します。

▲友愛會本部へ御送金の際は金額の細別を詳しく御認め下さい、例へば

一金拾圓也

内譯　一金八圓也　友愛婦人百册代
　　一金貳圓也　徽章二十五個代

と云ふ風にして、振替ならば通信文記載欄へ、小爲替などの時は明細書を同封して下さい。

定價

册數	定價	郵稅	合計
一册	十錢	一錢	十一錢
半ヶ年分六册	六十錢	三錢	六十三錢
一ヶ年分十二册	一圓二十錢	無料	一圓二十錢

廣告料

等級	四半頁	一頁
特等		三十圓
一等	八圓	十三圓二十五圓
二等	七圓	十一圓十二圓
三等	五圓	九圓十五圓

大正五年九月號
大正五年九月一日　每月一回發行【第二號】

發行兼編輯人　東京市芝區三田四國町二番地六號　鈴木文治

印刷人　東京市芝區愛宕町三丁目二番地　淺野榮作

印刷所　東京市芝區愛宕町三丁目二番地　東洋印刷株式會社

發行所　東京市芝區三田四國町二番地　友愛會本部

振替東京三一五七
電話芝五八五五

不許複製

發賣所

東京堂　上田屋　同文館
北隆館　東海堂　良明堂
稻葉書店　有斐閣　雜誌店
有明館　三田堂　文影堂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大正五年七月二十二日第三種郵便物認可
大正五年八月二十五日印刷納本（九月號）
（毎月一回一日發行）『友愛婦人』第二號
定價金十錢 郵稅一錢

九月十五日より
懸賞裾模様陳列
抹茶及煎茶器陳列會
東京
三越呉服店

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA